

## ○玉川大学学則

昭和24年4月1日制定

## 改正

昭和27年4月1日	昭和29年4月1日
昭和30年4月1日	昭和31年4月1日
昭和33年4月1日	昭和35年4月1日
昭和37年4月1日	昭和39年4月1日
昭和42年4月1日	昭和43年4月1日
昭和45年4月1日	昭和46年4月1日
昭和47年4月1日	昭和48年4月1日
昭和49年4月1日	昭和50年4月1日
昭和51年4月1日	昭和52年4月1日
昭和53年4月1日	昭和54年4月1日
昭和55年4月1日	昭和56年4月1日
昭和57年4月1日	昭和58年4月1日
昭和59年4月1日	昭和60年4月1日
昭和61年4月1日	昭和62年4月1日
昭和63年4月1日	平成元年4月1日
平成2年4月1日	平成3年4月1日
平成3年7月1日	平成4年4月1日
平成5年4月1日	平成6年4月1日
平成7年4月1日	平成8年4月1日
平成9年4月1日	平成10年4月1日
平成11年4月1日	平成12年4月1日
平成13年4月1日	平成14年4月1日
平成14年10月1日	平成15年4月1日
平成16年4月1日	平成17年4月1日
平成18年4月1日	平成19年4月1日
平成20年4月1日	平成21年4月1日
平成22年4月1日	平成23年4月1日
平成24年4月1日	平成25年4月1日
平成26年4月1日	平成27年4月1日
平成28年4月1日	平成29年4月1日
平成30年4月1日	平成31年4月1日
令和2年4月1日	令和3年4月1日
令和4年4月1日	令和5年4月1日（案）

## 玉川大学学則

## 第1章 目的及び使命

## (目的及び使命)

第1条 本大学は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、更にキリストの教えに従い、玉川学園建学の理想にかんがみ、「全人教育」をもって教育精神とし、広い教養と深い専門の学術の理論及び応用を教授する。宗教、芸術教育を重んじ魂を醇化し、浄らかな情操を養成し、厳粛な道義心を涵養することをもって人格を陶冶し、併せて人類の幸福と世界の文化の進展に寄与するものとする。

2 本大学の各学部についての人材養成等教育研究に係る目的は、別表第1に定める。

## (自己点検及び評価)

第2条 本大学は、その教育研究水準の維持向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

る。

- 2 前項の自己点検及び評価に関する細目は別にこれを定める。
- 3 本大学の授業及び研究指導の内容・方法の改善を図るため、組織的な研修・研究を実施する目的で、玉川大学FD委員会規程を別に定める。

## 第2章 学部・学科

(学部)

第3条 本大学に文学部、農学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、リベラルアーツ学部、観光学部を置く。

(学科等)

第4条 文学部に国語教育学科及び英語教育学科、農学部生産農学科、環境農学科及び先端食農学科、工学部に情報通信工学科、ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科及びデザインサイエンス学科、経営学部国際経営学科、教育学部に教育学科及び乳幼児発達学科、芸術学部音楽学科、アート・デザイン学科及び演劇・舞踊学科、リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科、観光学部に観光学科を置く。

- 2 教育学部教育学科に通信教育課程を置く。
- 3 通信教育課程に関しては、別に定める玉川大学教育学部教育学科通信教育課程規程による。

## 第3章 大学院

(大学院)

第5条 本大学に大学院を置く。

- 2 大学院に関しては、別に定める玉川大学大学院学則による。

## 第4章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第6条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 学期は学年を2期に分け、それぞれの学期を1セメスターとする。期間については、教授会及び玉川大学部長会（以下「大学部長会」という。）の議を経て学長がこれを定める。
- 3 教育上の必要があるときは、夏季休業及び春季休業の期間に特別学期を設けることができる。

(休業日)

第7条 本大学の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (2) 日曜日
- (3) 夏季休業日
- (4) 冬季休業日
- (5) 春季休業日

- 2 前項第3号から第5号の休業日の期間は、別に定める。
- 3 第1項各号に規定する以外の休業日については、教授会及び大学部長会の議を経て学長がこれを定める。

## 第5章 学部学科別定員

(定員)

第8条 本大学の定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	140人		560人
国語教育学科	60人		240人
英語教育学科	80人		320人
農学部	295人		1,180人
生産農学科	155人		620人
環境農学科	70人		280人
先端食農学科	70人		280人
工学部	240人		960人

情報通信工学科	60人		240人
ソフトウェアサイエンス学科	60人		240人
マネジメントサイエンス学科	60人		240人
デザインサイエンス学科	60人		240人
経営学部	130人		520人
国際経営学科	130人		520人
教育学部	295人		1,180人
教育学科	220人		880人
乳幼児発達学科	75人		300人
芸術学部	270人		1,080人
音楽学科	80人		320人
アート・デザイン学科	100人		400人
演劇・舞踊学科	90人		360人
リベラルアーツ学部	160人		640人
リベラルアーツ学科	160人		640人
観光学部	120人		480人
観光学科	120人		480人
小計	1,650人		6,600人
教育学部			
教育学科通信教育課程	1,500人		6,000人
合計	3,150人		12,600人

## 第6章 修業年限及び教育課程

### (修業年限)

第9条 本大学の修業年限は、4年とする。なお、在学年数は、8年を超えることはできない。

2 編入学生の修業年限は、3年次編入にあつては2年、2年次編入にあつては3年とし、在学年数はそれぞれ4年、6年を超えることはできない。

### (授業科目)

第10条 授業科目は、ユニバーシティ・スタンダード科目（玉川教育・FYE科目群、人文科学科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、学際科目群、言語表現科目群、教職関連科目群、資格関連科目群）、学部学科関連科目に区分し、必修科目及び選択科目に分ける。授業科目名及び単位数は、別表第2—①のとおりとする。

### (授業科目及び単位数)

第11条 各学部の修業年限の間に履修しなければならない授業科目及び単位数については、次のとおりとする。なお、細部については学生要覧による。

(1) ユニバーシティ・スタンダード科目（玉川教育・FYE科目群）より7単位

(2) ユニバーシティ・スタンダード科目（人文科学科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、学際科目群、言語表現科目群、教職関連科目群、資格関連科目群）については、各学部学科の履修規定による。

(3) 学部学科関連科目については、各学部学科の履修規定による。

2 教育上特に必要と認めるときは、本大学大学院及び専攻科の授業科目を履修させることができる。

3 教育職員免許状の授与を受けようとする学生は、教育職員免許法に基づき、同法第4条に定める免許状の種類に応じて、教育職員免許法施行規則に規定するそれぞれの科目及び単位数を修得しなければならない。

4 本大学で修得できる教育職員免許状の種類及び教科は、別表第3—①のとおりとする。

5 児童福祉法による保育士の資格を得ようとする学生は児童福祉法施行規則に規定する教科目及び単位数を修得しなければならない。

6 学校図書館法に基づく司書教諭、図書館法に基づく司書、社会教育法に基づく社会教育主事又は博物館法に基づく学芸員の資格を得ようとする者はそれぞれの法令に規定する科目及び単位数を修

得しなければならない。

- 7 食品衛生法に基づく食品衛生管理者、同法施行令に基づく食品衛生監視員の資格を得ようとする者はそれぞれの法令に規定する科目及び単位数を修得しなければならない。

(授業の方法等)

第12条 授業は講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣の定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(学修時間及び単位)

第13条 各授業科目の単位数は、各学部教授会において定めるものとする。

- 2 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、30時間又は45時間の授業をもって1単位とする。

- 3 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(警告制度)

第14条 学生の学修の質の維持及び向上を図るために、警告制度を定める。

- 2 前項の細部については学生要覧による。

(進級条件及び進度チェック)

第15条 教育上必要と認められた場合は、各学部学科において進級条件及び進度チェックを定めることができる。

- 2 前項については学生要覧による。

#### 第7章 単位の授与、卒業の要件及び学士

(単位の認定)

第16条 授業科目の単位の認定は、試験による。

- 2 試験の種類は次のとおりとし、その種類に応じて行う。
- (1) 平常試験は、必要に応じ適宜行う。
- (2) 定期試験は、学期末の定期試験期間内に行う。
- (3) 追試験は、やむを得ない理由により定期試験を受けることのできなかつた者のためにのみ追試験期間内に行う。
- (4) 単位認定試験は成績評価保留（インコンプリート）の者のためにのみ所定の期間内に行う。
- 3 試験の方法は、筆記、口述、レポート又は実技によるものとする。
- 4 試験の成績の評点は、S（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、F（59～0点）の5種とし、S、A、B、Cを合格、Fを不合格とする。また、授業科目によってはP（60点以上）を合格、F（59点以下）を不合格とすることができる。
- 5 定期試験及び単位認定試験は、別に定める本大学試験規程によって実施する。

(単位の授与)

第17条 前条の試験に合格した学生には、第13条所定の授業科目の単位を与える。

(他大学における授業科目の履修及び修得単位の認定)

第18条 本大学が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学とあらかじめ協議の上、当該大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項により履修した授業科目の単位は、60単位を超えない範囲で本大学において履修修得した単位として認定することができる。

(短期大学等における修得単位の認定)

第19条 本大学が教育上有益であると認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修について、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることの出来る単位数は、前条第2項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(既修得単位の認定)

第20条 学生が本大学入学前に大学又は短期大学において修得した単位(既修得単位)について本大学が教育上有益と認めるときは、本大学において履修修得した単位として認定することができる。

ただし、この認定に関連して修業年限の短縮は行わない。

2 前項による単位の認定は、第18条、第29条第4項による単位認定と合わせて60単位を超えない範囲で行うものとする。

3 前2項に定める単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(卒業の要件及び学士)

第21条 卒業の要件は、4年以上在学し、第11条第1項各号に定める単位を含め、124単位以上を累積GPA2.00以上の成績で修得することとする。

2 第1項に定める以外の卒業の要件については、学生要覧による。

3 卒業の決定は、第1項及び前項の要件を満たした学生に対し、教授会の議を経て学長が行う。

4 前項により卒業が決定した者には、玉川大学学位規程に基づき、卒業した学部に応じ学士の学位を授与し「学位記」を交付する。

第8章 入学、転学部・転学科、編入学、転入学、留学、休学、復学、退学、除籍及び再入学  
(入学の時期)

第22条 入学の時期は、学期の初めとする。

(入学の資格)

第23条 本大学に入学の資格を有する者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(入学の志願)

第24条 本大学に入学を志願する者は、入学志願書、出身高等学校又は中等教育学校の調査書、その他、入学試験実施要項で指定する関係書類に、別表第4—①に定める入学検定料を添えて提出しなければならない。ただし、出身高等学校又は中等教育学校の調査書については、該当する入学資格により、入学試験実施要項で指定する他の証明書等の提出をもって代えることができる。

(入学のための誓約書)

第25条 入学を許可された者は、本大学所定の様式に従って、保証人と連署の誓約書を提出しなければならない。

(保証人)

第26条 保証人は、親権者又は学生の3親等以内の成年者で、独立の生計を営む者又はこれにかわるべき者とする。

2 保証人は、次の各号の全てにおいて、学生の責任を負うものとする。

(1) 各在籍学年の未納の学費等納付金の納付及び本学に損害を与えた場合の賠償金の納付（極度額については別に定める。）

- (2) 学生の身分異動の同意
- (3) 学生の緊急時の連絡対応
- (4) その他、学生の生活と教育に関すること

(転学部・転学科)

第27条 本大学の学生が他の学部・学科へ転学部・転学科を志望するときは、転学部・転学科希望願を提出して許可を受けるものとし、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

(編入学)

第28条 他の大学等に在学した者で、次の各号の一に該当する者が本大学に編入学（転入学）を希望するときは、選考の上入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者（編入学）
- (2) 短期大学を卒業した者（編入学）
- (3) 高等専門学校を卒業した者（編入学）
- (4) 他の大学に在学している者（転入学）

2 本大学に編入学を志願する者は、編入学志願書、卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書、成績証明書、その他編入学試験実施要項で指定する関係書類、転入学を志願する者は、転入学志願書、在学証明書、成績証明書、その他転入学試験実施要項で指定する関係書類に、別表第4—①に定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

3 編入学（転入学）前の既修得単位の認定、編入（転入）学年及び入学後の履修科目については、各学部教授会において決定する。

4 編入（転入）学生の授業料等は別表第4—①（ただし、入学金を除く）にかかわらず、編入（転入）学科の編入（転入）学年と同学年の入学時の授業料等を適用する。ただし、玉川学園女子短期大学及び本大学からの編入生は入学金を徴収しない。

5 本大学から他の大学等へ編入学又は転入学を志望する学生は、退学願を提出して許可を受けるものとする。

(留学)

第29条 本大学が教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学へ留学することを認めることがある。

2 前項による留学期間は、原則として1年以内とする。

3 留学期間は、在学年数に算入する。

4 留学によって修得した単位は、教授会の議を経て、第18条第2項に準じ認定することができる。

5 留学期間中の授業料等については、別表第4—①に定める。

6 留学に関する事項は別に定める。

(休学)

第30条 疾病その他の理由によって2か月以上修学のできない学生は、保証人連署の上願い出て、許可を得た上で休学することができる。

2 休学期間は、当該年度限りとする。ただし、疾病等やむを得ないと認められる場合には、願い出により翌年度に延長を許可することができる。

3 休学期間は、卒業に所要の在学年数には算入しない。ただし、休学期間は、通算して4年を超えることはできない。

4 休学期間中の在籍料については、玉川大学休学に関する在籍料取扱要領による。

(復学)

第31条 休学の理由がやんだときは、その旨を復学願に記し、保証人連署の上願い出て、許可を得て復学することができる。

(退学)

第32条 疾病その他の理由によって退学しようとする者は、保証人連署の上願い出て、許可を得た上で退学することができる。

(除籍)

第33条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- (1) 第9条に規定する在学年数を経て、なお所定の課程を修了できない者

- (2) 学費の納付を怠り、督促を受けても、なお納付しない者
- (3) 第30条第3項に規定する休学期間の満了日に達しても、なお就学できない者
- (4) 休学期間の延長又は復学の手続きを怠った者
- (5) 死亡又は行方不明者

(再入学)

第34条 本大学を途中で退学した者（依願退学者）又は除籍者（学費未納による除籍者）が再入学を願い出たときは、欠員のある場合に限り、選考の上、入学を許可することができる。

2 再入学に関する事項は玉川大学再入学に関する規程による。

(他の学校における在学の禁止)

第35条 本大学の学生は、同時に学校教育法による他の学校に在学することはできない。

(入学等の決定)

第36条 入学、転学部・転学科、編入学、転入学、留学、休学、復学、除籍及び再入学の許可並びに承認は教授会の議を経て、学長がこれを決定する。

#### 第9章 賞罰

(表彰)

第37条 本大学学生で、品行方正、学術優秀な者、また学生の模範となるべき行いをした者は、教授会の議を経て、これを賞することができる。

2 前項に定める学生表彰に関する事項は、玉川大学学生表彰規程による。

(懲戒)

第38条 本大学学則に違背し、又は学生の本分に反する行為のあった者は、別に定める玉川大学学生処分規程によって懲戒する。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

2 停学は、確定期限を付す有期の停学及び確定期限を付さない無期の停学とする。

3 停学の期間が1か月以上にわたるときは、その期間は、第9条の期間に算入し、第21条の卒業の要件として在学すべき期間に算入しない。

(退学処分)

第39条 次の各号の一に該当する学生は、教授会の議を経て、これを退学に処することができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反したと認められる者

#### 第10章 授業料、入学金、奨学金その他

(授業料等)

第40条 本大学の授業料・教育研究諸料・施設設備金及び入学金（以下「授業料等」という。）、入学検定料は、別表第4—①のとおりとする。

2 既に納入した授業料等は、原則としてこれを返還しない。

3 所定の期日までに、正当な理由がなく、授業料等を納入しない学生は除籍することができる。

(奨学金)

第41条 本大学学生で成績優秀な者、成績優秀かつ経済的に修学が困難な者があるときは、選考の上、奨学金を給付することができる。

2 奨学金に関する事項は、玉川大学奨学金規程による。

#### 第11章 教職員組織

(教職員)

第42条 本大学に次の教職員を置く。

学長、学部長、教授、准教授、助教、講師、助手及び事務職員。

2 前項のほか、次の教職員を置くことができる。

副学長、学部長、助教、技術職員及びその他の教職員。

#### 第12章 大学部長会及び教授会

(大学部長会)

第43条 本大学に、大学部長会を置く。

2 大学部長会は、学長がこれを招集開会して、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり

意見を述べるものとする。

- (1) 教育、研究及びこれに関連する人事に関する基本方針等、その運営における全学的な事項
  - (2) 教授会の審議に関する基本的共通的な事項
  - (3) 各種委員会に関する事項
  - (4) 学位の授与に関する事項
  - (5) 本大学学則、その他関係規程等の制定・改廃及び運用に関する事項
  - (6) 学長の諮問に関する事項
  - (7) 教育研究活動等点検調査委員会の自己点検・評価結果に基づく改善に関する事項
  - (8) その他本大学の運営に属する必要と認められる重要な事項
- 3 大学部長会の運営については、別に定める玉川大学部長会運営規程による。  
(教授会)

第44条 各学部それぞれ教授会を置く。

- 2 教授会は、その学部の専任教授をもって組織する。
- 3 教授会は審議事項について必要があるとき、准教授、講師、助教及びその他必要な教職員を出席させることができる。
- 4 教授会は、定例に学部長がこれを招集する。ただし、学長が必要と認めたときは、これを招集することができる。
- 5 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。
  - (1) 学生の入学、卒業
  - (2) 学位の授与
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 6 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下「学長等」という）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 7 教授会の運営については、玉川大学教授会等運営規程による。  
(全学教授会)

第45条 学長が必要と認めたときは、又は教授会から特に要求があったときは、学長は全学教授会を招集することができる。

- 2 全学教授会は全学の専任教授をもって組織する。
- 3 全学教授会は審議事項について必要があるとき、准教授、講師、助教及びその他必要な教職員を出席させることができる。
- 4 全学教授会は、学長が特に必要と認めた本大学の重要事項を審議する。  
(各種委員会等)

第46条 学長が必要と認めたとき、各種委員会等を組織し、それぞれの専門分野について審議研究することができる。なお、細部については、玉川大学教授会等運営規程による。

### 第13章 専攻科

(専攻科)

第47条 本大学に次の専攻科及び専攻を置く。

芸術専攻科 芸術専攻

- 2 専攻科は玉川大学の建学の精神に則り、学部・学科の教育の基礎の上に、精深な専門の理論及び応用の研究指導を行い、専門的技能者を養成し、もって文化の進展に寄与することを目的とする。  
(専攻科の定員)

第48条 専攻科の定員は次のとおりとする。

芸術専攻科 芸術専攻 10人

(専攻科の修業年限)

第49条 専攻科の修業年限は、1年とする。ただし、在学年数は2年を超えることはできない。

(専攻科の授業科目等)

第50条 専攻科の授業科目及び履修方法は、別表第2—②のとおりとする。

- 2 教育職員免許状の授与を受けようとする者は、その免許状の種類・教科に応じて、教育職員免許



法に定められた単位を修得しなければならない。

3 専攻科で修得できる教育職員免許状の種類及び教科は、別表第3—②のとおりとする。

(専攻科の修了の要件)

第51条 専攻科修了の要件は、本専攻科に1年以上在学し、前項第50条の規定に基づいて授業科目を履修し、30単位以上を修得しなければならない。

2 前項の要件を満たした者には、修了証書を授与する。

(専攻科の入学資格等)

第52条 本専攻科に入学できる者は、次の各号の一に該当し、かつ、所定の入学試験に合格した者とする。

(1) 大学を卒業した者

(2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(3) 文部科学大臣の指定した者

(4) 本大学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 入学を許可された者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

3 入学の時期は、毎年4月とする。

(専攻科の授業料等)

第53条 本専攻科の授業料、教育研究諸料、施設設備金及び入学金、入学検定料は、別表第4—②のとおりとする。

(専攻科教授会)

第54条 専攻科の学事を運営するために、専攻科教授会を置く。

2 専攻科教授会は、次の教員をもって組織する。

(1) 専攻科主任

(2) 当該学部長

(3) 専攻科担当教授及び准教授

3 専攻科教授会は審議事項について必要があるとき、准教授、講師、助教及びその他必要な教職員を出席させることができる。

4 専攻科教授会は、第44条第5項の教授会の審議事項について、専攻科に係る事項について審議する。

(大学学則の準用)

第55条 専攻科に関して本章に定める以外のことについては、本大学学則の各条項による。

#### 第14章 教育学術情報図書館、教育博物館、研究所等に関する事項

(教育学術情報図書館)

第56条 本大学に玉川大学教育学術情報図書館を置く。

2 本大学の教職員及び学生は、別に定める教育学術情報図書館規程に従って図書を閲覧することができる。

(教育博物館)

第57条 本大学に教育博物館を置く。

2 教育博物館に関する規程は、別にこれを定める。

(学術研究所)

第58条 本大学に学術研究所を置く。

2 学術研究所に関する規程は、別にこれを定める。

(脳科学研究所)

第59条 本大学に脳科学研究所を置く。

2 脳科学研究所に関する規程は、別にこれを定める。

(量子情報科学研究所)

第60条 本大学に量子情報科学研究所を置く。

2 量子情報科学研究所に関する規程は、別にこれを定める。

(教師教育リサーチセンター)

第61条 本大学に教師教育リサーチセンターを置く。

2 教師教育リサーチセンターに関する規程は、別にこれを定める。

(国際教育センター)

第62条 本大学に国際教育センターを置く。

2 国際教育センターに関する規程は、別にこれを定める。

(ELFセンター)

第63条 本大学にELFセンターを置く。

2 ELFセンターに関する規程は、別にこれを定める。

(TAPセンター)

第64条 本大学にTAPセンターを置く。

2 TAPセンターに関する規程は、別にこれを定める。

(農場及び工場等)

第65条 本大学に試験場、農場・演習林及び工場を置く。

2 農場及び工場に関する規程は、別にこれを定める。

(全人教育研究センター及び健康教育研究センター)

第66条 本大学教育学部に全人教育研究センター及び健康教育研究センターを置く。

2 全人教育研究センター及び健康教育研究センターに関する規程は、別にこれを定める。

第15章 委託生、科目等履修生、聴講生、研究生及び外国人学生に関する事項

(委託生)

第67条 政府又は他の機関から委託された者は、定員にさしつかえがなければ、受講を許可することがある。

(科目等履修生及び聴講生)

第68条 本大学で開講する授業科目のうち、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、教授会の議を経て、科目等履修生又は聴講生として履修を許可することができる。

2 科目等履修生として履修した授業科目の単位の授与については、第16条を準用する。ただし、第23条に掲げる資格を有する者に限る。

3 科目等履修生及び聴講生の事項については、玉川大学科目等履修生及び聴講生に関する取扱要領による。

(研究生)

第69条 本大学で特定の課題について研究をすすめようとする希望する者があるときは、教授会の議を経て、研究生として在籍を許可することができる。ただし、玉川大学大学院学則第22条に掲げる資格を有する者に限る。

2 研究生の事項については、玉川大学研究生に関する取扱要領による。

(委託生に関する事項の適用除外)

第70条 委託生、科目等履修生、聴講生及び研究生には、第21条を適用しない。

(委託生等の納付金)

第71条 委託生、科目等履修生、聴講生及び研究生は、科目等履修料、聴講料又は在籍料を納付しなければならない。

2 科目等履修料及び聴講料は、1単位につき講義・演習科目33,000円、実験科目35,000円とする。

3 在籍料及び選考料については、別に定める。

(外国人学生)

第72条 外国人で本大学に入学を希望する者があるときは、在日本外国公館の証明書がある者に限り、外国人学生として特別に入学を許可することがある。

(委託生等に関する事項の大学学則の準用)

第73条 委託生、科目等履修生、聴講生、研究生及び外国人学生に関しては、本大学学則を準用する。

第16章 公開講座

(公開講座)

第74条 本大学は、時期によって公開講座を開くことができる。

2 公開講座に関する規程は、別にこれを定める。

第17章 免許法認定講習、免許法認定通信教育

(免許法認定講習、免許法認定通信教育)

第75条 本大学は、免許法認定講習、免許法認定通信教育を開くことができる。

2 免許法認定講習、免許法認定通信教育に関する規程は、別にこれを定める。

第18章 保健センター 健康院

(保健センター 健康院)

第76条 本大学に保健センター 健康院を置く。

2 保健センター 健康院に関する規程は、別に定める。

附 則

この学則は、昭和24年4月1日から施行する。

附 則 (昭和27年4月1日)

この学則は、昭和27年4月1日から施行する。

附 則 (昭和29年4月1日)

この学則は、昭和29年4月1日から施行する。

附 則 (昭和30年4月1日)

この学則は、昭和30年4月1日から施行する。

附 則 (昭和31年4月1日)

この学則は、昭和31年4月1日から施行する。

附 則 (昭和33年4月1日)

この学則は、昭和33年4月1日から施行する。

附 則 (昭和35年4月1日)

この学則は、昭和35年4月1日から施行する。

附 則 (昭和37年4月1日)

この学則は、昭和37年4月1日から施行する。

附 則 (昭和39年4月1日)

この学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 (昭和42年4月1日)

この学則は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則 (昭和43年4月1日)

この学則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則 (昭和45年4月1日)

この学則は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則 (昭和46年4月1日)

この学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則 (昭和47年4月1日)

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則 (昭和48年4月1日)

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則 (昭和49年4月1日)

この学則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則 (昭和50年4月1日)

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則 (昭和51年4月1日)

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず、昭和51年度から昭和53年度までの間、文学部教育学科、英米文学科、外国語学科、芸術学科と農学部農学科、農芸化学科の総定員は次のとおりとする。

学部・学科	総定員		
	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
文学部	1,800人	2,000人	2,200人
教育学科	450人	500人	550人
英米文学科	450人	500人	550人

外国語学科	450人	500人	550人
芸術学科	450人	500人	550人
農学部	400人	480人	560人
農学科	200人	240人	280人
農芸化学科	200人	240人	280人
計	2,200人	2,480人	2,760人

附 則（昭和52年4月1日）

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（昭和53年4月1日）

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年4月1日）

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和55年4月1日）

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和56年4月1日）

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年4月1日）

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日）

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年4月1日）

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年4月1日）

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年4月1日）

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年4月1日）

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年4月1日）

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず昭和63年度から昭和65年度までの間、工学部情報通信工学科の総定員は次のとおりとする。

	昭和63年度	昭和64年度	昭和65年度
総定員	230人	260人	290人

附 則（平成元年4月1日）

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成2年4月1日）

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成3年4月1日）

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則（平成3年7月1日）

この学則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則（平成4年4月1日）

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	学部・学科	入学定員	学部・学科	入学定員
文学部	840人	農学部	220人	工学部	400人
教育学科	210人	農学科	110人	機械工学科	100人

英米文学科	210人	農芸化学科	110人	電子工学科	100人
外国語学科	210人			情報通信工学科	100人
芸術学科	210人			経営工学科	100人

附 則（平成5年4月1日）

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成6年4月1日）

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成7年4月1日）

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年4月1日）

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年4月1日）

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年4月1日）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年4月1日）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成12年4月1日）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科	入学定員				
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
文学部	840人	800人	770人	770人	750人
教育学科	210人	200人	190人	190人	180人
英米文学科	210人	210人	210人	210人	210人
外国語学科	210人	200人	190人	190人	180人
芸術学科	210人	190人	180人	180人	180人
農学部	220人	220人	210人	210人	200人
農学科	110人	110人	105人	105人	100人
農芸化学科	110人	110人	105人	105人	100人
工学部	360人	360人	360人	320人	320人
機械工学科	90人	90人	90人	80人	80人
電子工学科	90人	90人	90人	80人	80人
情報通信工学科	90人	90人	90人	80人	80人
経営工学科	90人	90人	90人	80人	80人
計	1,420人	1,380人	1,340人	1,300人	1,270人

附 則（平成13年4月1日）

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

2 （農学部の農学科ならびに農芸化学科の存続に関する経過措置）

農学部の農学科ならびに農芸化学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成13年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学なくなるまでの間、存続するものとする。

また、第9条の規定にかかわらず平成13年度から16年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学部	740人	3,260人	710人	3,130人	710人	3,000人	690人	2,850人
教育学科	200人	830人	190人	810人	190人	790人	180人	760人
英米文学科	150人	780人	150人	720人	150人	660人	150人	600人
外国語学科	200人	830人	190人	810人	190人	790人	180人	760人

芸術学科	190人	820人	180人	790人	180人	760人	180人	730人
農学部	220人	880人	210人	870人	210人	860人	200人	840人
生物資源学科	110人	440人	105人	435人	105人	430人	100人	420人
応用生物化学 科	110人	440人	105人	435人	105人	430人	100人	420人
工学部	360人	1,520人	360人	1,480人	320人	1,400人	320人	1,360人
機械工学科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
電子工学科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
情報通信工学 科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
経営工学科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
経営学部	180人	180人	180人	360人	180人	570人	180人	780人
国際経営学科	180人	180人	180人	360人	180人	570人	180人	780人
計	1,500人	5,840人	1,460人	5,840人	1,420人	5,830人	1,390人	5,830人

附 則（平成14年4月1日）

- この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- （文学部の教育学科、英米文学科、外国語学科ならびに芸術学科の存続に関する経過措置）  
文学部の教育学科、英米文学科、外国語学科ならびに芸術学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成14年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第9条の規定にかかわらず平成14年度から平成16年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成14年度			平成15年度			平成16年度		
	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員
文学部	280人	40人	2,700人	280人	40人	2,140人	280人	40人	1,620人
人間学科	80人	10人	80人	80人	10人	160人	80人	10人	250人
国際言語文化学科	200人	30人	200人	200人	30人	400人	200人	30人	630人
教育学科	—	—	620人	—	—	410人	—	—	200人
英米文学科	—	—	570人	—	—	360人	—	—	150人
外国語学科	—	—	620人	—	—	410人	—	—	200人
芸術学科	—	—	610人	—	—	400人	—	—	190人
農学部	220人	—	880人	220人	—	880人	220人	—	880人
生物資源学科	110人	—	440人	110人	—	440人	110人	—	440人
応用生物化学科	110人	—	440人	110人	—	440人	110人	—	440人
工学部	360人	—	1,480人	320人	—	1,400人	320人	—	1,360人
機械工学科	90人	—	370人	80人	—	350人	80人	—	340人
電子工学科	90人	—	370人	80人	—	350人	80人	—	340人
情報通信工学科	90人	—	370人	80人	—	350人	80人	—	340人
経営工学科	90人	—	370人	80人	—	350人	80人	—	340人
経営学部	180人	30人	360人	180人	30人	570人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	360人	180人	30人	570人	180人	30人	780人
教育学部	200人	—	200人	200人	—	400人	200人	—	600人
教育学科	200人	—	200人	200人	—	400人	200人	—	600人
芸術学部	190人	—	190人	190人	—	380人	190人	—	570人
パフォーマンス・ アーツ学科	110人	—	110人	110人	—	220人	110人	—	330人

ビジュアル・アーツ学科	80人		80人	80人		160人	80人		240人
計	1,430人	70人	5,810人	1,390人	70人	5,770人	1,390人	70人	5,810人

附 則（平成14年10月1日）

この学則は、平成14年10月1日から施行する。

この学則の施行に伴い「玉川大学専攻科通則（昭和54年制定）」を廃止する。

附 則（平成15年4月1日）

1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

2 第8条の規定にかかわらず平成15年度から平成17年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	435人		2,295人	435人	40人	1,930人	435人	50人	1,675人
人間学科	80人		160人	80人	10人	250人	80人	10人	340人
国際言語文化学科	200人		400人	200人	30人	630人	200人	30人	860人
リベラルアーツ学科	155人		155人	155人		310人	155人	10人	475人
教育学科	—		410人	—		200人	—		—
英米文学科	—		360人	—		150人	—		—
外国語学科	—		410人	—		200人	—		—
芸術学科	—		400人	—		190人	—		—
農学部	220人		880人	220人		880人	220人		880人
生物資源学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
応用生物化学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
工学部	320人		1,400人	320人		1,360人	320人		1,320人
機械工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
電子工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
情報通信工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
経営工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
経営学部	180人	30人	570人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	570人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
教育学部	250人		450人	250人		700人	250人		950人
教育学科	200人		400人	200人		600人	200人		800人
乳幼児発達学科	50人		50人	50人		100人	50人		150人
芸術学部	190人		380人	190人		570人	190人		760人
パフォーマンス・アーツ学科	110人		220人	110人		330人	110人		440人
ビジュアル・アーツ学科	80人		160人	80人		240人	80人		320人
計	1,595人	30人	5,975人	1,595人	70人	6,220人	1,595人	80人	6,365人

附 則（平成16年4月1日）

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

2 （工学部の機械工学科、電子工学科、情報通信工学科ならびに経営工学科の存続に関する経過措置）

工学部の機械工学科、電子工学科、情報通信工学科ならびに経営工学科は、改正後の学則第4条の規定に係わらず平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、

存続するものとする。

また、第8条の規定に係わらず平成16年度から平成18年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成16年度			平成17年度			平成18年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	435人	40人	1,930人	435人	50人	1,675人	435人	50人	1,840人
人間学科	80人	10人	250人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
国際言語文化学科	200人	30人	630人	200人	30人	860人	200人	30人	860人
リベラルアーツ学科	155人	—	310人	155人	10人	475人	155人	10人	640人
教育学科	—	—	200人	—	—	—	—	—	—
英米文学科	—	—	150人	—	—	—	—	—	—
外国語学科	—	—	200人	—	—	—	—	—	—
芸術学科	—	—	190人	—	—	—	—	—	—
農学部	220人	—	880人	220人	—	880人	220人	—	880人
生物資源学科	130人	—	460人	130人	—	480人	130人	—	500人
応用生物化学科	90人	—	420人	90人	—	400人	90人	—	380人
工学部	320人	—	1,360人	320人	—	1,320人	320人	—	1,280人
機械システム学科	80人	—	80人	80人	—	160人	80人	—	240人
知能情報システム学科	90人	—	90人	90人	—	180人	90人	—	270人
メディアネットワーク学科	80人	—	80人	80人	—	160人	80人	—	240人
マネジメントサイエンス学科	70人	—	70人	70人	—	140人	70人	—	210人
機械工学科	—	—	260人	—	—	170人	—	—	80人
電子工学科	—	—	260人	—	—	170人	—	—	80人
情報通信工学科	—	—	260人	—	—	170人	—	—	80人
経営工学科	—	—	260人	—	—	170人	—	—	80人
経営学部	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
教育学部	250人	—	700人	250人	—	950人	250人	—	1,000人
教育学科	200人	—	600人	200人	—	800人	200人	—	800人
乳幼児発達学科	50人	—	100人	50人	—	150人	50人	—	200人
芸術学部	190人	—	570人	190人	—	760人	190人	—	760人
パフォーマンス・アーツ学科	110人	—	330人	110人	—	440人	110人	—	440人
ビジュアル・アーツ学科	80人	—	240人	80人	—	320人	80人	—	320人
計	1,595人	70人	6,220人	1,595人	80人	6,365人	1,595人	80人	6,540人

附 則（平成17年4月1日）

1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

2 （農学部の応用生物化学科の存続に関する経過措置）

農学部の応用生物化学科は、改正後の学則第4条の規定に係わらず平成17年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定に係わらず平成17年度から平成19年度までの間の定員は次のとおりとする。







		(3年次)			(3年次)			(3年次)	
文学部	210人	40人	1,535人	210人	20人	1,280人	210人	20人	1,035人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人		260人	130人	10人	400人	130人	10人	540人
リベラルアーツ学科	—		475人	—		310人	—		155人
国際言語文化学科	—	30人	460人	—		230人	—		—
農学部	250人		970人	250人		1,000人	250人		1,000人
生物資源学科	90人		400人	90人		360人	90人		360人
生物環境システム学科	60人		180人	60人		240人	60人		240人
生命化学科	100人		300人	100人		400人	100人		400人
応用生物化学科	—		90人	—		—	—		—
工学部	320人		1,280人	320人		1,280人	320人		1,280人
機械システム学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
知能情報システム学科	90人		360人	90人		360人	90人		360人
メディアネットワーク学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
マネジメントサイエンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
経営学部	195人		765人	195人		750人	195人		765人
国際経営学科	115人		685人	115人		590人	115人		525人
観光経営学科	80人		80人	80人		160人	80人		240人
教育学部	250人		1,000人	250人		1,000人	250人		1,000人
教育学科	200人		800人	200人		800人	200人		800人
乳幼児発達学科	50人		200人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	260人		900人	260人		970人	260人		1,040人
パフォーマンス・アーツ学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
メディア・アーツ学科	70人		140人	70人		210人	70人		280人
ビジュアル・アーツ学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
リベラルアーツ学部	160人		160人	160人		320人	160人		480人
リベラルアーツ学科	160人		160人	160人		320人	160人		480人
計	1,645人	40人	6,610人	1,645人	20人	6,600人	1,645人	20人	6,600人

附 則（平成20年4月1日）

- この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- （工学部機械システム学科、知能情報システム学科ならびにメディアネットワーク学科の存続に関する経過措置）

工学部機械システム学科、知能情報システム学科ならびにメディアネットワーク学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成20年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定にかかわらず平成20年度から平成22年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成20年度	平成21年度	平成22年度
-------	--------	--------	--------

	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	210人	20人	1,280人	210人	20人	1,035人	210人	20人	880人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人	10人	400人	130人	10人	540人	130人	10人	540人
リベラルアーツ学科	—	—	310人	—	—	155人	—	—	—
国際言語文化学科	—	—	230人	—	—	—	—	—	—
農学部	250人	—	1,000人	250人	—	1,000人	250人	—	1,000人
生物資源学科	90人	—	360人	90人	—	360人	90人	—	360人
生物環境システム学科	60人	—	240人	60人	—	240人	60人	—	240人
生命化学科	100人	—	400人	100人	—	400人	100人	—	400人
工学部	240人	—	1,200人	240人	—	1,120人	240人	—	1,040人
機械情報システム学科	100人	—	100人	100人	—	200人	100人	—	300人
ソフトウェアサイエンス学科	70人	—	70人	70人	—	140人	70人	—	210人
マネジメントサイエンス学科	70人	—	280人	70人	—	280人	70人	—	280人
機械システム学科	—	—	240人	—	—	160人	—	—	80人
知能情報システム学科	—	—	270人	—	—	180人	—	—	90人
メディアネットワーク学科	—	—	240人	—	—	160人	—	—	80人
経営学部	220人	—	775人	220人	—	815人	220人	—	855人
国際経営学科	130人	—	605人	130人	—	555人	130人	—	505人
観光経営学科	90人	—	170人	90人	—	260人	90人	—	350人
教育学部	290人	—	1,040人	290人	—	1,080人	290人	—	1,120人
教育学科	240人	—	840人	240人	—	880人	240人	—	920人
乳幼児発達学科	50人	—	200人	50人	—	200人	50人	—	200人
芸術学部	270人	—	980人	270人	—	1,060人	270人	—	1,070人
パフォーマンス・アーツ学科	120人	—	450人	120人	—	460人	120人	—	470人
メディア・アーツ学科	70人	—	210人	70人	—	280人	70人	—	280人
ビジュアル・アーツ学科	80人	—	320人	80人	—	320人	80人	—	320人
リベラルアーツ学部	160人	—	320人	160人	—	480人	160人	—	640人
リベラルアーツ学科	160人	—	320人	160人	—	480人	160人	—	640人
計	1,640人	20人	6,595人	1,640人	20人	6,590人	1,640人	20人	6,605人

附 則（平成21年4月1日）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月1日）

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月1日）

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年4月1日）

1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

2 （経営学部観光経営学科の存続に関する経過措置）

経営学部観光経営学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成25年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定にかかわらず平成25年度から平成27年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員
文学部	210人	20人	880人	210人	20人	880人	210人	20人	880人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人	10人	540人	130人	10人	540人	130人	10人	540人
農学部	250人		1,000人	250人		1,000人	250人		1,000人
生物資源学科	90人		360人	90人		360人	90人		360人
生物環境システム 学科	60人		240人	60人		240人	60人		240人
生命化学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
工学部	240人		960人	240人		960人	240人		960人
機械情報システム 学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
ソフトウェアサイ エンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
マネジメントサイ エンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
経営学部	130人		790人	130人		700人	130人		610人
国際経営学科	130人		520人	130人		520人	130人		520人
観光経営学科	—		270人	—		180人	—		90人
教育学部	290人		1,160人	290人		1,160人	290人		1,160人
教育学科	240人		960人	240人		960人	240人		960人
乳幼児発達学科	50人		200人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	270人		1,080人	270人		1,080人	270人		1,080人
パフォーミング・ アーツ学科	120人		480人	120人		480人	120人		480人
メディア・アーツ 学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
ビジュアル・アー ツ学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
リベラルアーツ学部	160人		640人	160人		640人	160人		640人
リベラルアーツ学 科	160人		640人	160人		640人	160人		640人
観光学部	90人		90人	90人		180人	90人		270人
観光学科	90人		90人	90人		180人	90人		270人
計	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人

## 附 則（平成26年4月1日）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 （芸術学部メディア・アーツ学科及びビジュアル・アーツ学科の存続に関する経過措置）  
芸術学部メディア・アーツ学科及びビジュアル・アーツ学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成26年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
また、第8条の規定にかかわらず平成26年度から平成28年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員
文学部	210人	20人	880人	210人	20人	880人	210人	20人	880人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人	10人	540人	130人	10人	540人	130人	10人	540人
農学部	250人		1,000人	250人		1,000人	250人		1,000人
生物資源学科	90人		360人	90人		360人	90人		360人
生物環境システム 学科	60人		240人	60人		240人	60人		240人
生命化学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
工学部	240人		960人	240人		960人	240人		960人
機械情報システム 学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
ソフトウェアサイ エンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
マネジメントサイ エンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
経営学部	130人		700人	130人		610人	130人		520人
国際経営学科	130人		520人	130人		520人	130人		520人
観光経営学科	—		180人	—		90人	—		—
教育学部	290人		1,160人	290人		1,160人	290人		1,160人
教育学科	240人		960人	240人		960人	240人		960人
乳幼児発達学科	50人		200人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	270人		1,080人	270人		1,080人	270人		1,080人
パフォーミング・ アーツ学科	130人		490人	130人		500人	130人		510人
メディア・アーツ 学科	—		210人	—		140人	—		70人
ビジュアル・アー ツ学科	—		240人	—		160人	—		80人
メディア・デザイ ン学科	90人		90人	90人		180人	90人		270人
芸術教育学科	50人		50人	50人		100人	50人		150人
音楽コース	30人		30人	30人		60人	30人		90人
美術・工芸コー ス	20人		20人	20人		40人	20人		60人
リベラルアーツ学部	160人		640人	160人		640人	160人		640人
リベラルアーツ学 科	160人		640人	160人		640人	160人		640人

観光学部	90人		180人	90人		270人	90人	360人	
観光学科	90人		180人	90人		270人	90人	360人	
計	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人

附 則（平成27年4月1日）

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- （文学部比較文化学科の存続に関する経過措置）

文学部比較文化学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成27年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定にかかわらず平成27年度から平成29年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員
文学部	160人	—	810人	160人	—	740人	160人	—	690人
人間学科	80人	—	330人	80人	—	320人	80人	—	320人
比較文化学科	—	—	400人	—	—	260人	—	—	130人
英語教育学科	80人		80人	80人		160人	80人		240人
農学部	285人		1,035人	285人		1,070人	285人		1,105人
生物資源学科	105人		375人	105人		390人	105人		405人
生物環境システム学科	70人		250人	70人		260人	70人		270人
生命化学科	110人		410人	110人		420人	110人		430人
工学部	240人		960人	240人		960人	240人		960人
機械情報システム学科	60人		360人	60人		320人	60人		280人
ソフトウェアサイエンス学科	60人		270人	60人		260人	60人		250人
マネジメントサイエンス学科	60人		270人	60人		260人	60人		250人
エンジニアリングデザイン学科	60人		60人	60人		120人	60人		180人
経営学部	130人		610人	130人		520人	130人		520人
国際経営学科	130人		520人	130人		520人	130人		520人
観光経営学科	—		90人	—		—	—		—
教育学部	315人		1,185人	315人		1,210人	315人		1,235人
教育学科	240人		960人	240人		960人	240人		960人
乳幼児発達学科	75人		225人	75人		250人	75人		275人
芸術学部	270人		1,080人	270人		1,080人	270人		1,080人
パフォーマンス・アーツ学科	130人		500人	130人		510人	130人		520人
メディア・アーツ学科	—		140人	—		70人	—		—
ビジュアル・アーツ学科	—		160人	—		80人	—		—
メディア・デザイン学科	90人		180人	90人		270人	90人		360人
芸術教育学科	50人		100人	50人		150人	50人		200人

音楽コース	30人	60人	30人	90人	30人	120人
美術・工芸コース	20人	40人	20人	60人	20人	80人
リベラルアーツ学部	160人	640人	160人	640人	160人	640人
リベラルアーツ学科	160人	640人	160人	640人	160人	640人
観光学部	90人	270人	90人	360人	90人	360人
観光学科	90人	270人	90人	360人	90人	360人
計	1,650人	—	6,590人	1,650人	—	6,590人

附 則（平成28年4月1日）

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29年4月1日）

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- （文学部人間学科、農学部生物資源学科、生物環境システム学科及び生命化学科ならびに工学部機械情報システム学科の存続に関する経過措置）

文学部人間学科、農学部生物資源学科、生物環境システム学科及び生命化学科ならびに工学部機械情報システム学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成29年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定にかかわらず平成29年度から平成31年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員
文学部	140人		670人	140人		600人	140人		580人
国語教育学科	60人		60人	60人		120人	60人		180人
人間学科	—		240人	—		160人	—		80人
比較文化学科	—		130人	—		—	—		—
英語教育学科	80人		240人	80人		320人	80人		320人
農学部	305人		1,125人	305人		1,180人	305人		1,200人
生産農学科	165人		165人	165人		330人	165人		495人
環境農学科	70人		70人	70人		140人	70人		210人
先端食農学科	70人		70人	70人		140人	70人		210人
生物資源学科	—		300人	—		210人	—		105人
生物環境システム学科	—		200人	—		140人	—		70人
生命化学科	—		320人	—		220人	—		110人
工学部	240人		960人	240人		960人	240人		960人
情報通信工学科	60人		60人	60人		120人	60人		180人
機械情報システム学科	—		220人	—		120人	—		60人
ソフトウェアサイエンス学科	60人		250人	60人		240人	60人		240人
マネジメントサイエンス学科	60人		250人	60人		240人	60人		240人
エンジニアリングデザイン学科	60人		180人	60人		240人	60人		240人
経営学部	130人		520人	130人		520人	130人		520人



国際経営学科	130人	520人	130人	520人	130人	520人
教育学部	315人	1,235人	315人	1,260人	315人	1,260人
教育学科	240人	960人	240人	960人	240人	960人
乳幼児発達学科	75人	275人	75人	300人	75人	300人
芸術学部	270人	1,080人	270人	1,080人	270人	1,080人
パフォーミング・ アーツ学科	130人	520人	130人	520人	130人	520人
メディア・デザイ ン学科	90人	360人	90人	360人	90人	360人
芸術教育学科	50人	200人	50人	200人	50人	200人
音楽コース	30人	120人	30人	120人	30人	120人
美術・工芸コー ス	20人	80人	20人	80人	20人	80人
リベラルアーツ学部	160人	640人	160人	640人	160人	640人
リベラルアーツ学 科	160人	640人	160人	640人	160人	640人
観光学部	90人	360人	90人	360人	90人	360人
観光学科	90人	360人	90人	360人	90人	360人
計	1,650人	— 6,590人	1,650人	— 6,600人	1,650人	— 6,600人

附 則（平成30年4月1日）

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年4月1日）

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日）

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年4月1日）

1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。

2 （芸術学部パフォーミング・アーツ学科、メディア・デザイン学科及び芸術教育学科の存続に関する経過措置）

芸術学部パフォーミング・アーツ学科、メディア・デザイン学科及び芸術教育学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず令和3年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定にかかわらず令和3年度から令和5年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員
文学部	140人		560人	140人		560人	140人		560人
国語教育学科	60人		240人	60人		240人	60人		240人
英語教育学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
農学部	295人		1,210人	295人		1,200人	295人		1,190人
生産農学科	155人		650人	155人		640人	155人		630人
環境農学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
先端食農学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
工学部	240人		960人	240人		960人	240人		960人
情報通信工学科	60人		240人	60人		240人	60人		240人
ソフトウェアサイ	60人		240人	60人		240人	60人		240人

エンス学科 マネジメントサイ エンス学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
エンジニアリング デザイン学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
経営学部	130人	520人	130人	520人	130人	520人
国際経営学科	130人	520人	130人	520人	130人	520人
教育学部	295人	1,240人	295人	1,220人	295人	1,200人
教育学科	220人	940人	220人	920人	220人	900人
乳幼児発達学科	75人	300人	75人	300人	75人	300人
芸術学部	270人	1,080人	270人	1,080人	270人	1,080人
音楽学科	80人	80人	80人	160人	80人	240人
アート・デザイン 学科	100人	100人	100人	200人	100人	300人
演劇・舞踊学科	90人	90人	90人	180人	90人	270人
パフォーミング・ アーツ学科	—	390人	—	260人	—	130人
メディア・デザイ ン学科	—	270人	—	180人	—	90人
芸術教育学科	—	150人	—	100人	—	50人
音楽コース	—	90人	—	60人	—	30人
美術・工芸コー ス	—	60人	—	40人	—	20人
リベラルアーツ学部	160人	640人	160人	640人	160人	640人
リベラルアーツ学 科	160人	640人	160人	640人	160人	640人
観光学部	120人	390人	120人	420人	120人	450人
観光学科	120人	390人	120人	420人	120人	450人
計	1,650人	— 6,600人	1,650人	— 6,600人	1,650人	— 6,600人

附 則（令和4年4月1日）

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和5年4月1日）

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- （工学部エンジニアリングデザイン学科の存続に関する経過措置）  
工学部エンジニアリングデザイン学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず令和5年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
また、第8条の規定にかかわらず令和5年度から令和7年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員	入学定員	編入学定員 （3年次）	収容定員
文学部	140人		560人	140人		560人	140人		560人
国語教育学科	60人		240人	60人		240人	60人		240人
英語教育学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
農学部	295人		1,190人	295人		1,180人	295人		1,180人
生産農学科	155人		630人	155人		620人	155人		620人
環境農学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人

先端食農学科	70人	280人	70人	280人	70人	280人
工学部	240人	960人	240人	960人	240人	960人
情報通信工学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
ソフトウェアサイ エンス学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
マネジメントサイ エンス学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
エンジニアリング デザイン学科	—	180人	—	120人	—	60人
デザインサイエン ス学科	60人	60人	60人	120人	60人	180人
経営学部	130人	520人	130人	520人	130人	520人
国際経営学科	130人	520人	130人	520人	130人	520人
教育学部	295人	1,200人	295人	1,180人	295人	1,180人
教育学科	220人	900人	220人	880人	220人	880人
乳幼児発達学科	75人	300人	75人	300人	75人	300人
芸術学部	270人	1,080人	270人	1,080人	270人	1,080人
音楽学科	80人	240人	80人	320人	80人	320人
アート・デザイン 学科	100人	300人	100人	400人	100人	400人
演劇・舞踊学科	90人	270人	90人	360人	90人	360人
パフォーマンス・ アーツ学科	—	130人	—	—	—	—
メディア・デザイ ン学科	—	90人	—	—	—	—
芸術教育学科	—	50人	—	—	—	—
音楽コース	—	30人	—	—	—	—
美術・工芸コー ス	—	20人	—	—	—	—
リベラルアーツ学部	160人	640人	160人	640人	160人	640人
リベラルアーツ学 科	160人	640人	160人	640人	160人	640人
観光学部	120人	450人	120人	480人	120人	480人
観光学科	120人	450人	120人	480人	120人	480人
計	1,650人	—6,600人	1,650人	—6,600人	1,650人	—6,600人

## 別表第1

## 人材養成等教育研究に係る目的

## 文学部

文学部は、全人教育の理念のもと、国際社会の一員として社会に貢献できる言語運用能力と言語技術、および論理的思考力と柔軟な対応力を備えた人材養成を目指している。そのため、言語・文化に関する専門的知識、言語運用能力（日本語・英語）、論理的思考力というグローバル社会の基礎力を育成するための学科構成およびカリキュラム編成を行っている。

国語教育学科は、国際社会の一員であるとの自覚をもち、物事を論理的かつ批判的に思考する力を身につけ、日本語の特質について深い理解を有し、的確な言語運用能力によってグローバル社会に貢献できる人材を養成することを目的として、「言語表現コース」と「国語教員養成コース」を置く。

「言語表現コース」では、豊かな言語観・文化観と確実な言語技術を有し、論理的・批判的思考を基盤にグローバルな社会に貢献することができる人材を、「国語教員養成コース」では、

社会で必要とされる実践的な国語の能力と言語文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の教育機関における国語教育に貢献することができる人材を養成する。

英語教育学科は、「英語教員養成コース」と「E L Fコミュニケーションコース」の2領域で構成され、グローバル化に伴う言語や文化の多様化に対応できる資質・能力を育成することを目指し、国際コミュニケーションのための英語運用能力を身につけることを共通目標としている。「英語教員養成コース」では、英語教員に求められる豊かな言語観・文化観と指導力を、「E L Fコミュニケーションコース」では、国際共通語としての英語コミュニケーション能力を育成し、積極的に国際社会に貢献することのできる人材を養成する。

#### 農学部

農学部は、これからの日本に求められる国際競争力の維持・向上、活力ある地域社会の構築という重要課題に「農学」という「食」、「環境」、「健康」に直結する学問領域を通じて、果敢に取り組み、問題を発見・解決する意欲と実行力のある人材の養成を目的とする。実物教育、総合的・学際的視点、国際性、倫理観の4つを重視する教育・研究を展開し、「生産農学」、「環境農学」、「先端食農」という広い視野で農学全般を捉えることを特色とする。これらを通じ、科学の基本である「なぜ？」という鋭い視点を持つ知的好奇心旺盛な人材育成を達成する。

生産農学科は、あらゆる生物を人間生活の貴重な「資源」としてとらえ、生物の持つ機能や特性を分子から個体の視点で追究できる人材の養成を行う。具体的には、有用微生物や有用天然物の探索、遺伝子組換え・昆虫の飼育・植物の栽培などの理論と技術を学修後、新機能の開発に結びつく研究を進める。これらの学修を通じて「生命の尊厳」・「他の生物との共存」などの倫理観を培い、食と農の安全安心に貢献できる人材育成を目指す。また、生産農学科は教員を養成するプログラムを設けており、中学・高等学校（理科）及び高等学校（農業）教員を育成する。

環境農学科は、「環境」を中心に「自然、農業、社会のつながり」をよく理解し、国際性と地域性の多様なセンスを兼ね備え、「持続可能な開発目標、SDGs」の達成に貢献できる人材の養成を行う。具体的には、農学に関する分野・諸問題に強い興味や取り組む意欲を持ち、理論的学修と実践的・体験型学修を組み合わせた「環境」理解に基づいて、さまざまな問題解決に必要な主体性と協調性を身につけた人材を育成する。

先端食農学科は、食料や食品の安全性や信頼性に関心が高まる中、既存の農業を越えた新たな食料生産のしくみや食品の機能性、食品製造にかかわる専門的な知識と実践的な能力を身に付けた人材を養成することを目的とする。植物工場や陸上養殖など最先端のシステム化された食料生産に関する知識や能力を修得し、また食品の機能性や安全性、食品の製造・加工に関する知識や能力を習熟できる学修環境の提供を通じて、食料生産、食品加工の現場で活躍できる人材を養成する。

#### 工学部

工学部では全人教育の下、人間力を備えたモノづくりの実践的技術者を育成することをミッションとしている。教育研究に取り組む学部の基本的なスタンスとして、「技術者は、技術の進歩を追求する技術者である前に、人間であることを希求すること」「失敗を恐れず人生の開拓者として絶えず夢に挑戦する技術者であること」「現状の正しい認識の上に、常に将来を見据えた前向きな姿勢で迅速な改革に取り組むこと」を前提に実技教育、労作教育を展開する。また自然尊重、地球環境に留意し環境教育を実践する。その結果、社会人として十分な品格を持った人間性豊かで、コミュニケーション力、問題発見・解決能力を備え、環境にも配慮した新たな価値を創造できる技術者の育成に努める。

情報通信工学科では、人と人をつなぐコミュニケーション能力と技術を身につけ、現代のグローバルな情報化社会で活躍できる正しい倫理観をもつ人材を育成する。特に、社会におけるさまざまな物やシステムの情報制御技術、対人サービスのための知能ロボット、クラウドコンピューティングにおけるビッグデータ解析などのデータサイエンス、情報セキュリティおよび高速通信技術といった、時代に即した技術イノベーションの基礎を学ぶ。

ソフトウェアサイエンス学科では、現代社会のインフラストラクチャーとして、生活に不可

欠なコンピュータやネットワークを支えるソフトウェア技術を習得した高度情報社会を支える技術者を育成する。教育目標は、ソフトウェア技術およびこれによって実現している身近な携帯電話、ゲーム機、デジカメ、ビデオ、家電製品、自動車などのさまざまな技術を、総合的に修得し、健全な技術として発展させられる見識を持った全人的技術者を育成することにある。

マネジメントサイエンス学科では、教育目標として科学的なアプローチを中心に激変する企業経営に対応できる人材育成を目指している。さらに実践的な経営者・技術者として必要な倫理観を備えた人材の育成、問題発見能力、問題解決能力、評価能力を備える人材の育成を目指している。また社会が求める新たな価値創造のできる実践的な経営者・管理者・技術者の知識が獲得できるように教育プロセスの改善を教員が推進する。

デザインサイエンス学科は、解が一つに定まらない社会の課題に対し、機械工学分野を中心とした科学、技術を活用して、実現可能な解を見つけることができる「デザイン能力」を有する技術者の育成を目的とする。物理学や数学のような自然科学および人間中心の社会を実現する工学に関する学問と、様々な社会科学・人文科学の知識・技術を融合し、社会の一員として地球環境・人類にとって有益となる社会の仕組みや製品を科学的な視点によって生み出すことができる人材を育成する。

情報通信工学科、ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科、デザインサイエンス学科は、数学教員養成プログラムを持つ。1年次から数学を専門として学び、数学の深い知識と幅広い教授法を身につけた数学教員を養成する。

#### 経営学部

経済・社会のグローバル化により、すでに海外進出をしている企業だけでなく国内市場を相手にしてきた企業も基本的な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動することを前提にした経営を考える必要がある。世界の各地域には企業経営やビジネス慣行における独自性が残っているが、グローバル化の進展でそれらの標準化が急速に進んでおり、その動きを背景にして世界の経営学教育も日々進歩し標準化が進展している。またグローバル化の波はトランスナショナル企業を出現させ、国内においては生産の海外移転を加速させている。競争に耐えられない企業が整理される一方で、新たな成長の牽引役となる企業がイノベーションを生み出していくことが喫緊の課題となっている。

経営学部では国際経営学科に3つのコースを設けて専門性を高めると同時に世界標準で主要科目の学修を進めることで、グローバル化に主体的に取り組む実践力と情報発信できる英語コミュニケーション力を修得し、ビジネスを通して社会の要請に応え世界に貢献できる人材の養成を目指す。

#### 教育学部

教育学部は、全人教育の理念に基づき、幅広い知識と理解の深化、社会の変化やニーズに対応できる総合的かつ汎用的な技能や諸能力の体得、平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる態度・志向性の涵養、そして専攻する分野における幅広く深い専門力、創造的思考力、実践的指導力の醸成を目指す人材養成等の教育研究を行うことで、人間や社会への理解や敬愛、規範意識・倫理観、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ、それらを総合的に活用し自ら課題を解決する能力等を有する教員・保育士ならびに社会人を世に輩出する。

教育学科は、玉川教師訓を踏まえ、主として幼稚園、小・中・高等学校教育に関する専門的知識・技能、実践的な指導力を併せ持つ教員の養成とともに、教育関連分野をはじめとする幅広い分野に貢献できる人材の養成を目指す。

乳幼児発達学科は、玉川教師訓を踏まえ、教育・保育に関する専門的知識・技能、実践的な指導力を併せ持つ教員・保育士の養成とともに、社会のニーズに応えられる子育て支援に関わる人材の養成を目指す。

#### 芸術学部

芸術学部は、本学創立の理念である全人教育のもと、全人的な人格陶冶と総合大学における芸術学部の特色を生かした芸術教育を目指している。芸術の各専門領域における理論と技能を体系的・実践的に学び、創造力・論理的思考力・マネジメント能力・協働力を培い、実行力と人間力を兼ね備えた「芸術による社会貢献」を推進しうる人材の養成を目的とする。

音楽学科は、音楽の体系的理解に基づき、現代社会における「上演芸術」及び音楽教育の役割を学修し、音楽における総合的実践力、コミュニケーション力及びマネジメント力を有して社会に貢献できる人材を養成する。

アート・デザイン学科は、予測困難な未来において、美術、デザインおよびメディアアートの役割を理解し、多文化・異分野と関連させ、共に新しい発想や芸術表現に挑戦し、問題を解決するプロセスに参画できる人材を養成する。

演劇・舞踊学科は、上演芸術の理論や歴史および創造プロセスを多角的に学修し、上演芸術の価値および社会における使命や役割について説くことができ、創造の現場および社会に貢献する人材を養成する。

#### リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学部では、「幅広く深い教養および総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する」ための教育を推進し、将来のキャリア形成を意識しながら、「学際的教養教育」かつ「知の基盤」の充実を図ることを目指しています。さらに、価値観の多様化・複雑化した現代社会では、時代の変化に柔軟に対応しつつ、調和の取れたコミュニケーション能力のある人材が求められており、その実現に向けて、実験・実習・調査・フィールドワークなどの体験型学修を積極的に取り入れ、地域や企業との連携を図り、社会的経験を積みながら「コミュニティの知的リーダー」となる人材の育成に努めています。具体的には、次のような学生を育てていくことを心掛けています。

- (1) 広い視野、判断力、考え抜く問題解決能力があり、積極的かつ協力して社会に関わっていけるコミュニティのリーダーになれる人。
- (2) 基礎基本を土台に専門性を身につけ、様々なプロジェクトを実践・推進できる人。
- (3) 英語力・日本語力・デジタルコミュニケーション力があり、わが国の文化を様々なかたちで世界に発信できる人。
- (4) 生涯教育を可能にする「ラーニング・コミュニティ」を意識し、生涯にわたり学び続ける気持ちを持ち、社会にその知識を還元・推進できる人。

#### 観光学部

観光学部ではグローバル時代におけるツーリズムを通じて、社会の持続的発展に広く貢献できる人材の養成を目指す。

具体的には、組織経営の知識、情報分析力、課題発見力、問題解決力、異文化適応力、コミュニケーション能力を駆使してツーリズムの意義と役割及び諸課題を洞察し、持続的に成長・発展する社会の実現に貢献できる人材を養成する。

ツーリズムと組織経営について、その基礎基本となる知識を体系的に学修し、そこで修得した知見を基に、幅広い観点からツーリズムという現象の意義や役割を理解する。さらに現状の諸課題を社会科学的な方法論に基づいて認識し、社会の持続的な成長や発展につながる解決策を提示できる能力を培う。

グローバル時代の観光・ホスピタリティ産業にあつては、国際共通語としての英語力はコミュニケーション能力の一部として必須であるとの前提にたち、その高度な運用力の修得を図る。また、自らの歴史や文化、伝統のアイデンティティを十分に理解した上で、異文化理解・適応力に代表される多様な価値観と共生できる力を培う教育・研究を行う。

教育課程は、「ツーリズムと組織経営全般に関する知識」を体系的に修得させることと、「英語運用力」の向上を図ることを主軸として編成されている。この教育課程を通して、「人的ネットワークを構築する力」「情報分析力」「異文化理解・適応力」「社会的責任と倫理観」「洞察力と問題解決力」などを身につけた「国の内外でツーリズムと社会の持続可能な発展に貢献できる人材」を養成する。

別表第2-①

## ユニバーシティ・スタンダード科目

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
玉川教育・FYE科目群	一年次セミナー 101	2	必修	
	一年次セミナー 102	2	必修	
	玉川の教育	0.3	必修	
	健康教育	1	必修	
	音楽 I	0.7	必修	
	音楽 II	1	必修	
	全人教育論	2	選択	
	二年次セミナー 201	2	選択	
	二年次セミナー 202	2	選択	
	三年次セミナー 301	2	選択	
	三年次セミナー 302	2	選択	
ピアリーダー	2	選択		
人文科学科目群	文化人類学	2	選択	
	民俗学入門	2	選択	
	美術史	2	選択	
	ことばと文化	2	選択	
	比較文化論	2	選択	
	日本文学	2	選択	
	外国文学	2	選択	
	歴史 (世界)	2	選択	
	歴史 (日本)	2	選択	
	音楽史	2	選択	
	哲学	2	選択	
	倫理学	2	選択	
	ロジック	2	選択	
	科学史	2	選択	
	宗教学	2	選択	
	世界の宗教と文化	2	選択	
	演劇史	2	選択	
	キリスト教学	2	選択	
	英語学	2	選択	
	日本語学	2	選択	
	日本学入門	2	選択	
	Japanology	2	選択	
	Japanese Pop Culture	2	選択	
Modern Japanese History	2	選択		
East Asian History	2	選択		
Issues in Japanese Studies A	2	選択		
Issues in Japanese Studies B	2	選択		
人文科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1	選択		
人文科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1	選択		
名著講読 (人文科学)	1	選択		
社会科学科目群	会計学	2	選択	
	コミュニケーション論	2	選択	
	Academic Communication	2	選択	
	経済学 (国際経済を含む。)	2	選択	
	国際関係論	2	選択	
	市民社会と法	2	選択	
	経営学	2	選択	
	マーケティング	2	選択	
	政治学 (国際政治を含む。)	2	選択	
	ポリティカル・サイエンス	2	選択	
	心理学	2	選択	
	社会学	2	選択	
	ボランティア概論	2	選択	
	現代社会の教育課題	2	選択	
	科学技術社会論	2	選択	
	観光学入門	2	選択	

## 教育の基礎的理解に関する科目等

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
社会科学科目群	社会科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1	選択	
	社会科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1	選択	
	名著講読 (社会科学)	1	選択	
自然科学科目群	情報科学入門	2	選択	
	ネットワーク入門	2	選択	
	データ処理	2	選択	
	マルチメディア表現	2	選択	
	化学入門	2	選択	
	生物学入門	2	選択	
	環境科学	2	選択	
	数学入門	2	選択	
	解析学入門	2	選択	
	代数学入門	2	選択	
	統計学入門	2	選択	
	物理学入門	2	選択	
	実践の物理学	2	選択	
	科学入門	2	選択	
	地球科学	2	選択	
	エネルギー科学	2	選択	
	宇宙科学	2	選択	
	STEM入門 (科学と社会)	2	選択	
	人工知能と社会	2	選択	
	自然科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1	選択	
自然科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1	選択		
名著講読 (自然科学)	1	選択		
学際科目群	ミクロ脳科学	2	選択	
	マクロ脳科学	2	選択	
	健康スポーツ理論	2	選択	
	生涯スポーツ演習	2	選択	
	環境教育	2	選択	
	スポーツ史	2	選択	
	栄養学	2	選択	
	病理学	2	選択	
	マスメディアと社会	2	選択	
	現代文化論	2	選択	
	プレゼンテーションスキル	2	選択	
	Presentation Skills in English	2	選択	
	複合領域研究 201~299	各2	選択	
	情報倫理と社会	2	選択	
	数理・データサイエンス・AIリテラシー	2	選択	
	野外教育	2	選択	
	TAPファシリテーション I	2	選択	
	TAPファシリテーション II	2	選択	
	環境教育ワークショップ I	2	選択	
	環境教育ワークショップ II	2	選択	
	コーオプ・プログラム	2	選択	
	キャリア・マネジメント	2	選択	
	海外留学入門	2	選択	
	インターンシップ A	2	選択	
	インターンシップ B	2	選択	
	インターンシップ C	1	選択	
	インターンシップ D	1	選択	
SAE (海外留学・研修) プログラム A	1	選択		
SAE (海外留学・研修) プログラム B	1	選択		
SAE (海外留学・研修) プログラム C	2	選択		
SAE (海外留学・研修) プログラム D	2	選択		
SAE (海外留学・研修) プログラム E	3	選択		

## ユニバーシティ・スタンダード科目


教育の基礎的理解に関する科目等

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
学 際 科 目 群	SAE (海外留学・研修) プログラム F	3	選択	
	SAE (海外留学・研修) プログラム G	4	選択	
	SAE (海外留学・研修) プログラム H	4	選択	
	SAE (海外留学・研修) プログラム I	5	選択	
	SAE (海外留学・研修) プログラム J	5	選択	
	国際研究 A	2	選択	
	国際研究 B	2	選択	
	国際研究 C	2	選択	
	国際研究 D	3	選択	
	国際研究 E	4	選択	
	国際研究 F	5	選択	
	Japan Studies Overseas A	2	選択	
	Japan Studies Overseas B	2	選択	
	Japan Studies Overseas C	2	選択	
	フィールドワーク A	2	選択	
	フィールドワーク B	2	選択	
	フィールドワーク C	2	選択	
	地域創生プロジェクト A	1	選択	
	地域創生プロジェクト B	1	選択	
	地域創生プロジェクト C	2	選択	
地域創生プロジェクト D	2	選択		
地域創生プロジェクト E	3	選択		
地域創生プロジェクト F	3	選択		
言 語 表 現 科 目 群	ELF Introduction (A)	2	選択	
	ELF Introduction (B)	2	選択	
	ELF Introduction (C)	2	選択	
	BELF 初級	2	選択	
	ELF Communication for Teachers	2	選択	
	ELF Foundation (A)	2	選択	
	ELF Foundation (B)	2	選択	
	ELF Foundation (C)	2	選択	
	BELF 初中級	2	選択	
	ELF & Global Communication (A)	2	選択	
	ELF & Global Communication (B)	2	選択	
	ELF Academic Literacy 中級	2	選択	
	BELF 中級	2	選択	
	ELF & Global Leadership (A)	2	選択	
	ELF & Global Leadership (B)	2	選択	
	ELF Academic Literacy 上級	2	選択	
	BELF 上級	2	選択	
	日本語表現 101	2	選択	
	日本語表現 102	2	選択	
	フランス語 101	2	選択	
	フランス語 102	2	選択	
	ドイツ語 101	2	選択	
	ドイツ語 102	2	選択	
	スペイン語 101	2	選択	
スペイン語 102	2	選択		
中国語 101	2	選択		
中国語 102	2	選択		
教 職 関 連 科 目 群	日本国憲法	2	選択	
	体育	1	選択	
	教育原理	2	選択	
	教職概論	2	選択	
	学習・発達論	2	選択	
	教育の制度と経営	2	選択	

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教 職 関 連 科 目 群	教育哲学	2	選択	
	発達心理学	2	選択	
	教育心理学	2	選択	
	教育社会学	2	選択	
	教育方法・技術論	1	選択	
	ICT活用の理論と実践	1	選択	
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	選択	
	教育インターンシップ A	2	選択	
	教育インターンシップ B	2	選択	
	教育インターンシップ C	1	選択	
	教育インターンシップ D	1	選択	
	特別支援教育	1	選択	
	特別活動の理論と方法	1	選択	
	道徳教育の理論と方法	2	選択	
	精神保健	2	選択	
	生命と性の教育	2	選択	
	異文化理解と教育	2	選択	
	教育課程編成論	2	選択	
	生徒・進路指導の理論と方法	2	選択	
	教育相談の理論と方法	2	選択	
教職演習 A	1	選択		
教職演習 B	1	選択		
教育実習 (中・高)	5	選択		
教育実習 (高等学校)	3	選択		
教育実習 (副)	3	選択		
教職実践演習	2	選択		
資 格 関 連 科 目 群	学校経営と学校図書館	2	選択	
	学校図書館メディアの構成	2	選択	
	学習指導と学校図書館	2	選択	
	読書と豊かな人間性	2	選択	
	情報メディアの活用	2	選択	
	生涯学習概論	2	選択	
	図書館概論	2	選択	
	図書館情報技術論	2	選択	
	図書館制度・経営論	2	選択	
	図書館サービス概論	2	選択	
	情報サービス論	2	選択	
	児童サービス論	2	選択	
	情報サービス演習 A	1	選択	
	情報サービス演習 B	1	選択	
	情報サービス演習 C	2	選択	
	図書館情報資源概論	2	選択	
	情報資源組織論	2	選択	
	情報資源組織演習 A	1	選択	
	情報資源組織演習 B	1	選択	
	情報資源組織演習 C	2	選択	
	図書館情報資源特論	1	選択	
	図書・図書館史	1	選択	
	図書館施設論	1	選択	
	生涯学習と生涯教育	2	選択	
	生涯学習支援論 A	2	選択	
	生涯学習支援論 B	2	選択	
	社会教育経営論 A	2	選択	
社会教育経営論 B	2	選択		
社会教育実習	2	選択		
社会教育課題研究	2	選択		
社会体育論	2	選択		



## ユニバーシティ・スタンダード科目

 教育の基礎的理解に関する科目等

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
資格 関連 科目 群	博物館概論	2	選択	
	博物館経営論	2	選択	
	博物館資料論	2	選択	
	博物館資料保存論	2	選択	
	博物館展示論	2	選択	
	博物館教育論	2	選択	
	博物館情報・メディア論	2	選択	
	博物館実習	3	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①  
国語教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		国語 教員	言語 表現	
言語表現入門 A	2	必修	必修	
日本文学概論	2	必修	必修	
言語表現入門 B	2	必修	必修	
学術情報リテラシー	2	選択	選択	
キャリアナビゲーション	1	選択	選択	
現代社会の諸問題	2	選択	必修	
日本文学史	2	必修	選択	
漢文学	2	必修	選択	
日本語文法論 I	2	必修	選択	
日本語文法論 II	2	選択	選択	
日本古典文学演習	2	必修	選択	
日本近代文学演習	2	選択	選択	
書写	2	必修	選択	
国語科指導法 I	2	必修	選択	
異文化間コミュニケーション	2	選択	選択	
世界文学	2	選択	選択	
メディアと文化表現	2	選択	選択	
ロジカルシンキング	2	選択	必修	
クリティカルシンキング	2	選択	必修	
クリティカルリーディング	2	選択	必修	
議論ストラテジー	2	選択	必修	
スクールインターンシップ A	2	選択	選択	
スクールインターンシップ B	2	選択	選択	
インターンシップ A	2	選択	選択	
インターンシップ B	1	選択	選択	
インターンシップ C	2	選択	選択	
インターンシップ D	1	選択	選択	
キャリアセミナー A	2	必修	必修	
国語科指導法 II	2	必修	選択	
日本語語彙論	2	選択	選択	
キャリアセミナー B	2	必修	必修	
日本古典文学研究	2	選択	選択	
日本近代文学研究	2	選択	選択	
日本語史	2	選択	選択	
日本語学演習	2	選択	選択	
日本語音韻論	2	選択	選択	
ランゲージアーツセミナー A	2	選択	選択	
ランゲージアーツセミナー B	2	選択	選択	
教育現場研究	2	選択	選択	
現代思想と言語	2	選択	選択	
テクノロジーと言語	2	選択	選択	
英語で読む日本文学	2	選択	選択	
広告と言語	2	選択	選択	

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		国語 教員	言語 表現	
プレゼンテーション技法	2	選択	選択	
情報編集デザイン	2	選択	選択	
読み書きの認知と指導	2	選択	選択	
スクールインターンシップ C	2	選択	選択	
スクールインターンシップ D	2	選択	選択	
国語科指導法 III	2	選択	選択	
国語科指導法 IV	2	選択	選択	
レトリック探究	2	選択	選択	
音声表現法研究	2	選択	選択	
日本語学研究	2	選択	選択	
言語表現教育研究	2	選択	選択	
批評理論	2	選択	選択	
ランゲージアーツセミナー C	2	選択	選択	
ランゲージアーツセミナー D	2	選択	選択	
ランゲージアーツプロジェクト	2	選択	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①  
英語教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		英語 教員	E L F	
Basic Academic English Skills A	2	必修	必修	
English Phonetics	1	必修	必修	
Overseas Study A	2	選択	選択	
Overseas Study B	2	選択	選択	
Overseas Study C	2	選択	選択	
Basic Academic English Skills B	2	必修	必修	
日本語表現演習	2	選択	必修	
English Grammar	2	必修	必修	
World Studies	2	必修	必修	
Pre-departure Seminar	1	必修	必修	
Introduction to Language Studies	2	必修	必修	
英語科指導法 I	2	選択	選択	
British and American Literature	2	必修	必修	
Internship A	2	選択	選択	
Internship B	2	選択	選択	
Internship C	2	選択	選択	
School Internship A	2	選択	選択	
School Internship B	2	選択	選択	
School Internship C	2	選択	選択	
English for Intercultural Communication A	4	選択	選択	
Intercultural Communication A	4	選択	選択	
English for General Communication A	2	選択	選択	
English for General Communication B	2	選択	選択	
Integrated English Language Skills	2	選択	選択	
Academic English Skills A	2	選択	選択	
English for Intercultural Communication B	4	選択	選択	
Intercultural Communication B	4	選択	選択	
Studies in ELT	4	選択	選択	
Studies in ELF Communication	4	選択	選択	

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		英語 教員	E L F	
Academic English Skills B	2	選択	選択	
English for Writing Research Papers	2	選択	選択	
Strategies for Global Communication	2	選択	選択	
English in Global Contexts	2	必修	必修	
Multiculturalism in English-speaking Areas	2	必修	必修	
英語科指導法 II	4	選択	選択	
Global Communication	2	選択	選択	
Current Issues in Applied Linguistics	2	選択	選択	
Regional Studies	2	選択	選択	
Research Seminar A	2	必修	必修	
Language Testing	2	選択	選択	
Special Studies in American Literature	2	選択	選択	
Language Teaching in Asia	2	選択	選択	
Language and Society	2	選択	選択	
Speaking Workshop	2	選択	選択	
Special Studies in British Literature	2	選択	選択	
Issues in Second Language Acquisition	2	選択	選択	
Issues in Applied Linguistics	2	選択	選択	
Issues in International Mobility A	2	選択	選択	
Project Management Workshop	2	選択	選択	
Research Seminar B	1	必修	必修	
英語科指導法 III	2	選択	選択	
Issues in International Mobility B	2	選択	選択	
Issues in English Linguistics	2	選択	選択	
Research Seminar C	2	必修	必修	
Teaching English to Children	2	選択	選択	
Language through Contemporary English Literature	2	選択	選択	
Career English	2	選択	選択	
Senior Project	2	必修	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①  
生産農学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
化学 A	2	必修	
生物学 A	2	必修	
生物統計学 A	2	必修	
科学と教育	2	必修	
環境と農業	2	必修	
基礎生物学実験	2	必修	
生産農学セミナー	1	必修	
化学 B	2	必修	
生物学 B	2	必修	
基礎化学実験	2	必修	
フィールド実習 A	2	必修	
有機化学 A	2	必修	
分析化学	2	必修	
生態学	2	必修	
農業マーケティング論	2	選択	
植物形態学	2	選択	
昆虫資源学	2	選択	
細胞生物学	2	選択	
生物多様性論	2	選択	
応用動物利用学	2	選択	
フィールド実習 B	2	選択	
有機化学 B	2	選択	
物理学	2	選択	
理科指導法 I	2	選択	
職業指導 (農業) I	2	選択	
農業科指導法 I	2	選択	
生化学	2	必修	
生物統計学 B	2	必修	
生物化学実験	2	必修	
分子生物学	2	必修	
分類学	2	選択	
動物生理学	2	選択	
動物行動学	2	選択	
作物学	2	選択	
微生物学	2	選択	
脳と動物	2	選択	
地学	2	選択	
地学実験	1	選択	
物理学実験	1	選択	
理科指導法 II	2	選択	
職業指導 (農業) II	2	選択	
農業科指導法 II	2	選択	
樹木学	2	選択	
専門実験・実習 A	2	必修	
応用微生物学	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
ゲノム科学	2	選択	
植物病理学	2	選択	
分子構造解析論	2	選択	
緑地保全学	2	選択	
食品製造	2	選択	
野外活動指導法	2	選択	
理科指導法 III	2	選択	
遺伝子工学	2	選択	
専門実験・実習 B	2	必修	
生産農学演習 A	2	必修	
天然物化学	2	選択	
植物育種学	2	選択	
昆虫学	2	選択	
果樹園芸学	2	選択	
畜産学	2	選択	
有機合成化学	2	選択	
植物生理学	2	選択	
フィールド実習 C	2	選択	
生物実験スキル	2	選択	
化学実験スキル	2	選択	
食品製造実習	1	選択	
理科指導法 IV	2	選択	
農薬化学	2	選択	
生産農学演習 B	2	必修	
卒業研究 A	2	必修	
生産農学演習 C	2	必修	
卒業研究 B	2	必修	
卒業研究論文	2	選択	
教材研究	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## 生産農学科 中・高 (理科教育コース)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	生産農学科理科教育コース科目	1年次	基礎生物学実験	2
化学 B			2	必修
生物学 B			2	必修
基礎化学実験			2	必修
有機化学 A			2	必修
2年次		分析化学	2	選択
		細胞生物学	2	選択
		物理学	2	必修
		理科指導法 I	2	必修
		生化学	2	必修
		生物統計学 B	2	必修
		分子生物学	2	選択
		動物行動学	2	選択
		地学	2	必修
		地学実験	1	必修
物理学実験		1	必修	
理科指導法 II	2	必修		
3年次	理科指導法 III	2	必修	
	生物実験スキル	2	選択	
	化学実験スキル	2	選択	
	理科指導法 IV	2	必修	
小計 (21科目)			40	—
生産農学科理科教育コース関連科目	1年次	化学 A	2	選択
		生物学 A	2	選択
		生物統計学 A	2	選択
		科学と教育	2	選択
	2年次	生態学	2	選択
		生物多様性論	2	選択
		脳と動物	2	選択
	3年次	ゲノム科学	2	選択
		分子構造解析論	2	選択
		天然物化学	2	選択
		有機合成化学	2	選択
	4年次	教材研究	2	必修
小計 (12科目)			24	—

理科の「教科及び教科の指導法に関する科目」

理科の関連科目

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	1年次	環境と農業	2	選択
生産農学セミナー		1	必修	
フィールド実習 A		2	必修	
2年次	農業マーケティング論	2	選択	
	植物形態学	2	選択	
	昆虫資源学	2	選択	
	応用動物利用学	2	選択	
	フィールド実習 B	2	選択	
	有機化学 B	—	—	
	職業指導 (農業) I	2	選択	
	農業科指導法 I	2	選択	
	生物化学実験	—	—	
	分類学	2	選択	
	動物生理学	2	選択	
	作物学	2	選択	
	微生物学	2	選択	
	職業指導 (農業) II	2	選択	
	農業科指導法 II	2	選択	
樹木学	2	選択		
3年次	専門実験・実習 A	—	—	
	応用微生物学	2	選択	
	植物病理学	2	選択	
	緑地保全学	2	選択	
	食品製造	2	選択	
	野外活動指導法	2	選択	
	遺伝子工学	2	選択	
	専門実験・実習 B	—	—	
	生産農学演習 A	—	—	
	植物育種学	2	選択	
	昆虫学	2	選択	
	果樹園芸学	2	選択	
	畜産学	2	選択	
	植物生理学	2	選択	
フィールド実習 C	2	選択		
食品製造実習	1	選択		
農薬化学	2	選択		
4年次	生産農学演習 B	—	—	
	卒業研究 A	—	—	
	生産農学演習 C	—	—	
	卒業研究 B	—	—	
	卒業研究論文	—	—	
小計 (41科目)			60	—


農業の「教科及び教科の指導法に関する科目」


農業の関連科目

別表第2-①


## 生産農学科 高（農業教育コース）


	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	生産農学科農業教育コース科目	1年次	環境と農業	2
フィールド実習 A			2	必修
2年次		農業マーケティング論	2	選択
		応用動物利用学	2	選択
		フィールド実習 B	2	選択
		職業指導（農業） I	2	必修
		農業科指導法 I	2	必修
		分類学	2	選択
		動物生理学	2	選択
		作物学	2	選択
3年次		職業指導（農業） II	2	選択
		農業科指導法 II	2	必修
		樹木学	2	選択
		植物病理学	2	選択
	緑地保全学	2	選択	
	食品製造	2	選択	
	野外活動指導法	2	選択	
	遺伝子工学	2	選択	
生産農学科農業教育コース 関連科目	1年次	科学と教育	2	選択
		植物形態学	2	選択
	2年次	昆虫資源学	2	選択
		微生物学	2	選択
		脳と動物	2	選択
	3年次	応用微生物学	2	選択
		昆虫学	2	選択
		畜産学	2	選択
4年次	教材研究	2	必修	
小計（24科目）			47	—
小計（9科目）			18	—

 農業の「教科及び教科の指導法に関する科目」

 農業の関連科目

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	生産農学科農業教育コース以外の科目	1年次	化学 A	2
生物学 A			2	選択
生物統計学 A			2	選択
基礎生物学実験			2	必修
生産農学セミナー			1	必修
化学 B			2	必修
生物学 B			2	必修
基礎化学実験			2	必修
有機化学 A		2	必修	
2年次		分析化学	2	選択
		生態学	2	選択
		細胞生物学	2	選択
		生物多様性論	2	選択
		有機化学 B	—	—
	物理学	2	選択	
	理科指導法 I	2	選択	
	生化学	2	必修	
	生物統計学 B	2	必修	
	生物化学実験	—	—	
	分子生物学	2	選択	
	動物行動学	2	選択	
地学	2	選択		
地学実験	1	選択		
物理学実験	1	選択		
理科指導法 II	2	選択		
3年次	専門実験・実習 A	—	—	
	ゲノム科学	2	選択	
	分子構造解析論	2	選択	
	理科指導法 III	2	選択	
	専門実験・実習 B	—	—	
	生産農学演習 A	—	—	
	天然物化学	2	選択	
	有機合成化学	2	選択	
	生物実験スキル	2	選択	
	化学実験スキル	2	選択	
理科指導法 IV	2	選択		
4年次	生産農学演習 B	—	—	
	卒業研究 A	—	—	
	生産農学演習 C	—	—	
	卒業研究 B	—	—	
	卒業研究論文	—	—	
小計（41科目）			59	—

 理科の「教科及び教科の指導法に関する科目」

 理科の関連科目

別表第2-①

## 生産農学科 (理科教育コース・農業教育コースを除く)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件	
	生産農学科科目(理科教育コース・農業教育コースを除く)	1年次	化学 A	2	必修
生物学 A			2	必修	
生物統計学 A			2	必修	
科学と教育			2	必修	
環境と農業			2	必修	
基礎生物学実験			2	必修	
生産農学セミナー			1	必修	
化学 B			2	必修	
生物学 B			2	必修	
基礎化学実験			2	必修	
フィールド実習 A			2	必修	
有機化学 A			2	必修	
小計 (12科目)			23	—	
2年次		分析化学	2	必修	
		生態学	2	必修	
		農業マーケティング論	2	選択	
		植物形態学	2	選択	
		昆虫資源学	2	選択	
		細胞生物学	2	選択	
		生物多様性論	2	選択	
		応用動物利用学	2	選択	
		フィールド実習 B	2	選択	
		有機化学 B	2	選択	
		物理学	—	—	
		理科指導演法 I	—	—	
		職業指導 (農業) I	—	—	
		農業科指導演法 I	—	—	
		生化学	2	必修	
		生物統計学 B	2	必修	
		生物化学実験	2	必修	
		分子生物学	2	必修	
	分類学	2	選択		
	動物生理学	2	選択		
動物行動学	2	選択			
作物学	2	選択			
微生物学	2	選択			
脳と動物	2	選択			
地学	—	—			
地学実験	—	—			
物理学実験	—	—			
理科指導演法 II	—	—			
職業指導 (農業) II	—	—			
農業科指導演法 II	—	—			
樹木学	2	選択			
小計 (31科目)			42	—	

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	生産農学科科目(理科教育コース・農業教育コースを除く)	3年次	専門実験・実習 A	2
応用微生物学			2	選択
ゲノム科学			2	選択
植物病理学			2	選択
分子構造解析論			2	選択
緑地保全学			2	選択
食品製造			—	—
野外活動指導演法			—	—
理科指導演法 III			—	—
遺伝子工学			2	選択
専門実験・実習 B			2	必修
生産農学演習 A			2	必修
天然物化学			2	選択
植物育種学			2	選択
昆虫学			2	選択
果樹園芸学			2	選択
畜産学			2	選択
有機合成化学			2	選択
植物生理学			2	選択
フィールド実習 C			2	選択
生物実験スキル		—	—	
化学実験スキル		—	—	
食品製造実習		—	—	
理科指導演法 IV		—	—	
農業化学		2	選択	
小計 (25科目)			36	—
4年次	生産農学演習 B	2	必修	
	卒業研究 A	2	必修	
	生産農学演習 C	2	必修	
	卒業研究 B	2	必修	
	卒業研究論文	2	選択	
教材研究	—	—		
小計 (6科目)			10	—

別表第2-①  
環境農学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
農業と自然環境	2	必修	
Intensive English A	2	必修	
農場実習 A	1	必修	
環境と生態	2	必修	
環境農学概論	2	必修	
Intensive English B	2	必修	
基礎生物学実験	2	必修	
農場実習 B	2	必修	
Regional Environmental Studies	2	選択	
Plant Science	2	選択	
Ecology	2	選択	
Natural Resource Management	2	選択	
General English A	4	選択	
General English B	4	選択	
環境農学実験	2	必修	
土壌生態学	2	必修	
自然環境保全学	2	選択	
生物環境物理学	2	選択	
地理学	2	選択	
環境と法令	2	選択	
野生動物学	2	選択	
分類学	2	選択	
環境倫理学	2	選択	
生物統計学	2	必修	
農場実習 C	2	必修	
環境マネジメント論	2	選択	
農学国際協力	2	選択	
持続的農業論	2	必修	
地球環境科学	2	必修	
Practical English for Science	2	選択	
緑地生態学	2	必修	
領域演習 A	4	必修	
コミュニケーションスキル	2	選択	
農業マーケティング論	2	選択	
野外安全教育	2	選択	
Comprehensive Agri-Environmental Studies	2	必修	
卒業研究 A	2	必修	
領域演習 B	2	必修	
卒業研究 B	2	必修	
卒業研究 C	2	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による



別表第2-①  
先端食農学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
基礎化学実験	2	必修	
フィールド管理実習 A	2	必修	
先端食農セミナー	1	必修	
化学	2	必修	
生物学	2	必修	
有機化学 A	2	必修	
分析化学	2	必修	
基礎生物学実験	2	必修	
生物化学 A	2	必修	
微生物学	2	必修	
先端食農実習	2	必修	
園芸学	2	選択	
水産学	2	選択	
有機化学 B	2	選択	
食品製造科学	2	選択	
生物化学 B	2	必修	
先端食農実験	2	必修	
植物栄養学	2	選択	
食品機能化学	2	選択	
生物統計学	2	選択	
養殖学	2	選択	
生物化学 C	2	必修	
専門領域研究 A	2	必修	
食品衛生学	2	選択	
栄養生理化学	2	選択	
養蜂学	2	選択	
食品加工実習	2	選択	
専門領域研究 B	2	必修	
応用栄養学	2	選択	
畜産物利用学	2	選択	
植物生理学	2	選択	
農薬化学	2	選択	
公衆衛生学	2	選択	
フィールド管理実習 B	2	選択	
先端食農演習 A	2	必修	
卒業研究 A	4	必修	
先端食農演習 B	2	必修	
卒業研究 B	4	必修	
卒業研究論文	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①  
情報通信工学科科目



授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
チャンピオンシップ	1	必修	
基礎工学演習	2	選択	
代数学 I	2	必修	
解析学 I	2	必修	
数学演習 I	2	選択	
数学演習 II	2	選択	
物理学 I	2	選択	
コミュニケーション科学の世界	2	必修	
プログラミング I	2	必修	
情報システム入門	2	選択	
電気回路入門	2	必修	
ロボットプロジェクト A	1	選択	
ロボット入門	1	選択	
プログラミング II	2	必修	
デジタルシチズンシップ	2	必修	
解析学 II	2	選択	
科学技術英語	2	選択	
センサ工学	2	必修	
交流回路	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
工学倫理	1	選択	
熱と流れの力学	2	選択	
インテリジェントデバイス入門	2	必修	
情報工学実験	1	必修	
基礎物理学実験	2	選択	
通信システム	2	選択	
フーリエ解析	2	選択	
データサイエンス入門	2	選択	
工業科指導法 I	2	選択	
工業科指導法 II	2	選択	
サイエンスイングリッシュ	4	選択	
数学科指導法 I	2	選択	
数学科指導法 II	2	選択	
微分方程式 I	2	選択	
複素解析 I	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
微分方程式 II	2	選択	
電磁気学	2	選択	
幾何学 I	2	選択	
インターフェース工学	2	選択	
ロボットプロジェクト B	1	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
キャリアデザイン	2	選択	
数値解析プログラミング	2	選択	
コミュニケーションロボット工学	2	選択	
ブレインサイエンス	2	選択	
インテリジェントデバイス実験 I	1	必修	
通信工学	2	選択	
応用電子物性	2	選択	
データサイエンス I	2	選択	
エネルギー工学	2	選択	
応用工学演習	1	選択	
インターンシップ I	1	選択	
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	
インターンシップ IV	1	選択	
ロボットプログラミング	2	選択	
インテリジェントデバイス実験 II	2	選択	
情報理論	2	選択	
データサイエンス II	2	選択	
スマートエネルギー	2	選択	
レーダ工学	2	選択	
生体情報工学	2	選択	
職業指導 (工業) I	2	選択	
職業指導 (工業) II	2	選択	
複素解析 II	2	選択	
代数学 II	2	選択	
数学科指導法 III	2	選択	
数学科指導法 IV	2	選択	
人工知能	4	選択	
インテリジェントデバイス実験 III	2	選択	
量子セキュリティ	2	選択	
ビッグデータ解析	2	選択	
幾何学 II	2	選択	
光通信工学	4	選択	
研究室セミナー	2	選択	
卒業プロジェクト	4	必修	



※履修方法の詳細は学生要覧による

情報通信工学科 中・高 (数学教育コース)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	情報通信工学科数学教育コース科目	1年次	代数学 I	2
解析学 I			2	必修
プログラミング I			2	必修
2年次		プログラミング II	2	必修
		解析学 II	2	選択
		確率統計学 I	2	必修
		フーリエ解析	2	選択
		数学科指導法 I	2	必修
		数学科指導法 II	2	必修
		微分方程式 I	2	選択
		複素解析 I	2	選択
		確率統計学 II	2	選択
		微分方程式 II	2	選択
幾何学 I		2	必修	
3年次		数値解析プログラミング	2	選択
		データサイエンス I	2	選択
		データサイエンス II	2	選択
		複素解析 II	2	選択
		代数学 II	2	選択
		数学科指導法 III	2	必修
		数学科指導法 IV	2	必修
4年次		ビッグデータ解析	2	選択
		幾何学 II	2	選択
計 (23科目)			46	—
数学教育コース関連科目	2年次	デジタルシチズンシップ	2	必修
	3年次	応用工学演習	1	選択
		インターンシップ I	1	選択
		インターンシップ II	1	選択
		インターンシップ III	1	選択
		インターンシップ IV	1	選択
		レーダ工学	2	選択
	生体情報工学	2	選択	
	4年次	量子セキュリティ	2	選択
		光通信工学	4	選択
計 (10科目)			17	—

 数学の「教科及び教科の指導法に関する科目」  
 数学の関連科目

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	情報通信工学科数学教育コース以外の科目	1年次	チャンピオンシップ	1
基礎工学演習			2	選択
数学演習 I			2	選択
数学演習 II			2	選択
物理学 I			2	選択
コミュニケーション科学の世界			2	必修
情報システム入門			2	選択
電気回路入門			2	必修
ロボットプロジェクト A			1	選択
ロボット入門			1	選択
2年次		科学技術英語	2	選択
		センサ工学	2	必修
		交流回路	2	選択
		工学倫理	1	選択
	熱と流れの力学	2	選択	
	インテリジェントデバイス入門	2	必修	
	情報工学実験	1	必修	
	基礎物理学実験	2	選択	
	通信システム	2	選択	
	データサイエンス入門	2	選択	
工業科指導法 I	2	選択		
工業科指導法 II	2	選択		
サイエンスイングリッシュ	4	選択		
電磁気学	2	選択		
インターフェース工学	2	選択		
ロボットプロジェクト B	1	選択		
3年次	キャリアデザイン	2	選択	
	コミュニケーションロボット工学	2	選択	
	ブレインサイエンス	2	選択	
	インテリジェントデバイス実験 I	1	必修	
	通信工学	2	選択	
	応用電子物性	2	選択	
	エネルギー工学	2	選択	
	ロボットプログラミング	2	選択	
	インテリジェントデバイス実験 II	2	選択	
	情報理論	2	選択	
	スマートエネルギー	2	選択	
	職業指導 (工業) I	2	選択	
	職業指導 (工業) II	2	選択	
4年次	人工知能	4	選択	
	インテリジェントデバイス実験 III	2	選択	
	研究室セミナー	2	選択	
	卒業プロジェクト	4	必修	
計 (43科目)			85	—

 工業の「教科及び教科の指導法に関する科目」  
 工業の関連科目

## 情報通信工学科 高（工業教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件	
				開設年次
1年次	電気回路入門	2	必修	
2年次	センサ工学	2	必修	
	熱と流れの力学	2	選択	
	インテリジェントデバイス入門	2	必修	
	情報工学実験	1	必修	
	通信システム	2	選択	
	データサイエンス入門	2	選択	
	工業科指導法Ⅰ	2	必修	
	工業科指導法Ⅱ	2	必修	
	電磁気学	2	選択	
	インターフェース工学	2	選択	
3年次	コミュニケーションロボット工学	2	選択	
	インテリジェントデバイス実験Ⅰ	1	必修	
	通信工学	2	選択	
	応用電子物性	2	選択	
	エネルギー工学	2	選択	
	ロボットプログラミング	2	選択	
	インテリジェントデバイス実験Ⅱ	2	選択	
	情報理論	2	選択	
	スマートエネルギー	2	必修	
	職業指導（工業）Ⅰ	2	必修	
職業指導（工業）Ⅱ	2	選択		
4年次	インテリジェントデバイス実験Ⅲ	2	選択	
計（23科目）		44	—	
1年次	チャンピオンシップ	1	必修	
	基礎工学演習	2	選択	
	数学演習Ⅰ	2	選択	
	数学演習Ⅱ	2	選択	
	コミュニケーション科学の世界	2	必修	
	情報システム入門	2	選択	
	ロボットプロジェクトA	1	選択	
	ロボット入門	1	選択	
	2年次	デジタルシチズンシップ	2	必修
		交流回路	2	選択
		工学倫理	1	選択
		基礎物理学実験	2	選択
		ロボットプロジェクトB	1	選択
	3年次	ブレインサイエンス	2	選択
		インターンシップⅠ	1	選択
		インターンシップⅡ	1	選択
		インターンシップⅢ	1	選択
		インターンシップⅣ	1	選択
	4年次	人工知能	4	選択
計（19科目）		31	—	

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	代数学Ⅰ	2	必修
	解析学Ⅰ	2	必修
	物理学Ⅰ	2	選択
	プログラミングⅠ	2	必修
2年次	プログラミングⅡ	2	必修
	解析学Ⅱ	2	選択
	科学技術英語	2	選択
	確率統計学Ⅰ	2	選択
	フーリエ解析	2	選択
	サイエンスイングリッシュ	4	選択
	数学科指導法Ⅰ	2	選択
	数学科指導法Ⅱ	2	選択
	微分方程式Ⅰ	2	選択
	複素解析Ⅰ	2	選択
確率統計学Ⅱ	2	選択	
微分方程式Ⅱ	2	選択	
幾何学Ⅰ	2	選択	
3年次	キャリアデザイン	2	選択
	数値解析プログラミング	2	選択
	データサイエンスⅠ	2	選択
	応用工学演習	1	選択
	データサイエンスⅡ	2	選択
	レーダ工学	2	選択
	生体情報工学	2	選択
	複素解析Ⅱ	2	選択
	代数学Ⅱ	2	選択
	数学科指導法Ⅲ	2	選択
数学科指導法Ⅳ	2	選択	
4年次	量子セキュリティ	2	選択
	ビッグデータ解析	2	選択
	幾何学Ⅱ	2	選択
	光通信工学	4	選択
	研究室セミナー	2	選択
	卒業プロジェクト	4	必修
計（34科目）		73	—

情報通信工学科工業教育コース以外の科目

数学の「教科及び教科の指導法に関する科目」

数学の関連科目

工業の「教科及び教科の指導法に関する科目」

工業の関連科目

別表第2-①

情報通信工学科科目  
(数学教育コース・工業教育コースを除く)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	1年次		チャンピオンシップ	1
		基礎工学演習	2	選択
		代数学 I	2	必修
		解析学 I	2	必修
		数学演習 I	2	選択
		数学演習 II	2	選択
		物理学 I	2	選択
		コミュニケーション科学の世界	2	必修
		プログラミング I	2	必修
		情報システム入門	2	選択
		電気回路入門	2	必修
		ロボットプロジェクト A	1	選択
		ロボット入門	1	選択
小計 (13科目)			23	—
2年次		プログラミング II	2	必修
		デジタルシチズンシップ	2	必修
		解析学 II	2	選択
		科学技術英語	2	選択
		センサ工学	2	必修
		交流回路	2	選択
		確率統計学 I	2	選択
		工学倫理	1	選択
		熱と流れの力学	2	選択
		インテリジェントデバイス入門	2	必修
		情報工学実験	1	必修
		基礎物理学実験	2	選択
		通信システム	2	選択
		フーリエ解析	2	選択
		データサイエンス入門	2	選択
		工業科指導法 I	—	—
		工業科指導法 II	—	—
		サイエンスイングリッシュ	4	選択
		数学科指導法 I	—	—
		数学科指導法 II	—	—
		微分方程式 I	2	選択
		複素解析 I	2	選択
		確率統計学 II	2	選択
		微分方程式 II	2	選択
		電磁気学	2	選択
		幾何学 I	2	選択
		インターフェース工学	2	選択
		ロボットプロジェクト B	1	選択
小計 (28科目)			47	—

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	3年次		キャリアデザイン	2
		数値解析プログラミング	2	選択
		コミュニケーションロボット工学	2	選択
		ブレインサイエンス	2	選択
		インテリジェントデバイス実験 I	1	必修
		通信工学	2	選択
		応用電子物性	2	選択
		データサイエンス I	2	選択
		エネルギー工学	2	選択
		応用工学演習	1	選択
		インターンシップ I	1	選択
		インターンシップ II	1	選択
		インターンシップ III	1	選択
		インターンシップ IV	1	選択
		ロボットプログラミング	2	選択
		インテリジェントデバイス実験 II	2	選択
		情報理論	2	選択
		データサイエンス II	2	選択
		スマートエネルギー	2	選択
		レーダ工学	2	選択
		生体情報工学	2	選択
		職業指導 (工業) I	—	—
		職業指導 (工業) II	—	—
		複素解析 II	2	選択
		代数学 II	2	選択
		数学科指導法 III	—	—
		数学科指導法 IV	—	—
小計 (27科目)			40	—
4年次		人工知能	4	選択
		インテリジェントデバイス実験 III	2	選択
		量子セキュリティ	2	選択
		ビッグデータ解析	2	選択
		幾何学 II	2	選択
		光通信工学	4	選択
	研究室セミナー	2	選択	
	卒業プロジェクト	4	必修	
小計 (8科目)			22	—

情報通信工学科科目 (数学教育コース・工業教育コースを除く)

別表第2-①  
ソフトウェアサイエンス学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
工学基礎 A	2	選択	
数学演習	2	選択	
物理学 I	2	選択	
プログラミング実験	1	選択	
プログラミング I	2	必修	
代数学 I	2	必修	
解析学 I	2	必修	
デジタルシチズンシップ	2	必修	
プログラミング II	2	必修	
離散数学	2	選択	
解析学 II	2	選択	
経営情報分析	2	選択	
情報処理技術	2	選択	
論理回路	2	選択	
回路基礎	2	選択	
微分方程式 I	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
脳工学	2	選択	
フーリエ解析	2	選択	
シグナルプロセッシング	2	選択	
ネットワーク技術 I	2	必修	
ゲーム企画開発論	2	選択	
アルゴリズムとデータ構造	2	選択	
コンピュータグラフィックス	2	選択	
情報システム	2	選択	
データ通信	2	選択	
ビジネスゲーム	2	選択	
微分方程式 II	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
幾何学 I	2	選択	
数学科指導法 I	2	選択	
情報科指導法 I	2	選択	
数学科指導法 II	2	選択	
情報科指導法 II	2	選択	
複素解析 I	2	選択	
システムプログラミング	2	選択	
コンピュータアーキテクチャ	2	選択	
イメージプロセッシング	2	選択	
機械学習基礎	2	選択	
オペレーティングシステム	2	選択	
ユーザインタフェースデザイン	2	選択	
ネットワークプログラミング	2	選択	
データベース	2	選択	
ネットワーク技術 II	2	選択	
セキュアプログラミング	2	選択	
情報セキュリティマネジメント	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
代数学 II	2	選択	
企業講義	2	選択	
モバイルシステム総合研究	2	選択	
ゲームアニメーションプログラミング	2	選択	
マルチメディア処理	2	選択	
クラウドコンピューティング	2	選択	
プロジェクト研究 A	2	選択	
プロジェクト研究 B	2	選択	
ソフトウェアサイエンス実験	2	必修	
インターンシップ I	1	選択	
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	
インターンシップ IV	1	選択	
複素解析 II	2	選択	
数学科指導法 III	2	選択	
数学科指導法 IV	2	選択	
情報セキュリティ	2	選択	
ソフトウェア工学	2	選択	
数値解析プログラミング	2	選択	
情報理論	2	選択	
アルゴリズム応用	2	選択	
ニューラルネットワーク	2	選択	
幾何学 II	2	選択	
輪講 A	2	選択	
輪講 B	2	選択	
卒業研究	4	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

ソフトウェアサイエンス学科科目  
中・高（数学教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	プログラミング I	2	必修
	代数学 I	2	必修
	解析学 I	2	必修
	プログラミング II	2	必修
2年次	解析学 II	2	選択
	微分方程式 I	2	選択
	確率統計学 I	2	必修
	フーリエ解析	2	選択
	アルゴリズムとデータ構造	2	選択
	微分方程式 II	2	選択
	確率統計学 II	2	選択
	幾何学 I	2	必修
	数学科指導法 I	2	必修
	数学科指導法 II	2	必修
	複素解析 I	2	選択
3年次	代数学 II	2	選択
	複素解析 II	2	選択
	数学科指導法 III	2	必修
	数学科指導法 IV	2	必修
	数値解析プログラミング	2	選択
4年次	幾何学 II	2	選択
計 (21科目)		42	—
1年次	プログラミング実験	1	選択
	離散数学	2	選択
2年次	経営情報分析	2	選択
	回路基礎	2	選択
	シグナルプロセッシング	2	選択
	ビジネスゲーム	2	選択
3年次	インターンシップ I	1	選択
	インターンシップ II	1	選択
	インターンシップ III	1	選択
	インターンシップ IV	1	選択
4年次	情報理論	2	選択
	アルゴリズム応用	2	選択
計 (12科目)		19	—

数学の「教科及び教科の指導法に関する科目」

数学の関連科目

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	工学基礎 A	2	選択
	数学演習	2	選択
	物理学 I	2	選択
	デジタルシチズンシップ	2	必修
2年次	情報処理技術	2	選択
	論理回路	2	選択
	脳工学	2	選択
	ネットワーク技術 I	2	必修
	ゲーム企画開発論	2	選択
	コンピュータグラフィックス	2	選択
	情報システム	2	選択
	データ通信	2	選択
	情報科指導法 I	2	選択
	情報科指導法 II	2	選択
	システムプログラミング	2	選択
	コンピュータアーキテクチャ	2	選択
	イメージプロセッシング	2	選択
	3年次	機械学習基礎	2
オペレーティングシステム		2	選択
ユーザインタフェースデザイン		2	選択
ネットワークプログラミング		2	選択
データベース		2	選択
ネットワーク技術 II		2	選択
セキュアプログラミング		2	選択
情報セキュリティマネジメント		2	選択
企業講義		2	選択
モバイルシステム総合研究		2	選択
ゲームアニメーションプログラミング		2	選択
マルチメディア処理		2	選択
クラウドコンピューティング		2	選択
プロジェクト研究 A		2	選択
プロジェクト研究 B		2	選択
ソフトウェアサイエンス実験		2	必修
情報セキュリティ	2	選択	
ソフトウェア工学	2	選択	
4年次	ニューラルネットワーク	2	選択
	輪講 A	2	選択
	輪講 B	2	選択
	卒業研究	4	必修
計 (39科目)		80	—

情報の「教科及び教科の指導法に関する科目」

情報の関連科目

## ソフトウェアサイエンス学科 高 (情報教育コース)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	ソフトウェアサイエンス学科情報教育コース科目	1年次	デジタルシチズンシップ	2
2年次		情報処理技術	2	必修
		論理回路	2	選択
		ネットワーク技術 I	2	必修
		コンピュータグラフィックス	2	選択
		情報システム	2	必修
		データ通信	2	選択
		情報科指導法 I	2	必修
		情報科指導法 II	2	必修
		イメージプロセッシング	2	選択
3年次		オペレーティングシステム	2	選択
		データベース	2	必修
		ネットワーク技術 II	2	選択
		マルチメディア処理	2	必修
		ソフトウェアサイエンス実験	2	必修
		情報セキュリティ	2	選択
計 (16科目)			32	—
ソフトウェアサイエンス学科情報教育コース関連科目	2年次	ゲーム企画開発論	2	選択
		システムプログラミング	2	選択
		コンピュータアーキテクチャ	2	選択
	3年次	ユーザインタフェースデザイン	2	選択
		ネットワークプログラミング	2	選択
		モバイルシステム総合研究	2	選択
		ゲームアニメーションプログラミング	2	選択
		クラウドコンピューティング	2	選択
		インターンシップ I	1	選択
		インターンシップ II	1	選択
		インターンシップ III	1	選択
	インターンシップ IV	1	選択	
	ソフトウェア工学	2	選択	
	4年次	ニューラルネットワーク	2	選択
	計 (14科目)			24

情報の「教科及び教科の指導法に関する科目」

情報の関連科目

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	ソフトウェアサイエンス学科情報教育コース以外の科目	1年次	工学基礎 A	2
数学演習			2	選択
物理学 I			2	選択
プログラミング実験			1	選択
プログラミング I			2	必修
代数学 I			2	必修
解析学 I			2	必修
プログラミング II			2	必修
離散数学			2	選択
2年次			解析学 II	2
		経営情報分析	2	選択
		回路基礎	2	選択
		微分方程式 I	2	選択
		確率統計学 I	2	選択
		脳工学	2	選択
		フーリエ解析	2	選択
		シグナルプロセッシング	2	選択
		アルゴリズムとデータ構造	2	選択
		ビジネスゲーム	2	選択
		微分方程式 II	2	選択
		確率統計学 II	2	選択
		幾何学 I	2	選択
		数学科指導法 I	2	選択
数学科指導法 II		2	選択	
複素解析 I	2	選択		
3年次	機械学習基礎	2	選択	
	セキュアプログラミング	2	選択	
	情報セキュリティマネジメント	2	選択	
	代数学 II	2	選択	
	企業講義	2	選択	
	プロジェクト研究 A	2	選択	
	プロジェクト研究 B	2	選択	
	複素解析 II	2	選択	
	数学科指導法 III	2	選択	
	数学科指導法 IV	2	選択	
数値解析プログラミング	2	選択		
4年次	情報理論	2	選択	
	アルゴリズム応用	2	選択	
	幾何学 II	2	選択	
	輪講 A	2	選択	
	輪講 B	2	選択	
	卒業研究	4	必修	
	計 (42科目)			85

数学の「教科及び教科の指導法に関する科目」

数学の関連科目



ソフトウェアサイエンス学科科目  
(数学教育コース・情報教育コースを除く)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	ソフトウェアサイエンス学科科目 (数学教育コース・情報教育コースを除く)	1年次	工学基礎 A	2
数学演習			2	選択
物理学 I			2	選択
プログラミング実験			2	選択
プログラミング I			2	必修
代数学 I			2	必修
解析学 I			2	必修
デジタルシチズンシップ			2	必修
プログラミング II			2	必修
離散数学			2	選択
小計 (10科目)		20	—	
2年次		解析学 II	2	選択
		経営情報分析	2	選択
		情報処理技術	2	選択
		論理回路	2	選択
		回路基礎	2	選択
		微分方程式 I	2	選択
		確率統計学 I	2	選択
		脳工学	2	選択
		フーリエ解析	2	選択
		シグナルプロセッシング	2	選択
		ネットワーク技術 I	2	必修
		ゲーム企画開発論	2	選択
		アルゴリズムとデータ構造	2	選択
		コンピュータグラフィックス	2	選択
		情報システム	2	選択
		データ通信	2	選択
		ビジネスゲーム	2	選択
	微分方程式 II	2	選択	
確率統計学 II	2	選択		
幾何学 I	2	選択		
数学科指導法 I	—	—		
情報科指導法 I	—	—		
数学科指導法 II	—	—		
情報科指導法 II	—	—		
複素解析 I	2	選択		
システムプログラミング	2	選択		
コンピュータアーキテクチャ	2	選択		
イメージプロセッシング	2	選択		
小計 (28科目)		48	—	

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
	ソフトウェアサイエンス学科科目 (数学教育コース・情報教育コースを除く)	3年次	機械学習基礎	2
オペレーティングシステム			2	選択
ユーザインタフェースデザイン			2	選択
ネットワークプログラミング			2	選択
データベース			2	選択
ネットワーク技術 II			2	選択
セキュアプログラミング			2	選択
情報セキュリティマネジメント			2	選択
代数学 II			2	選択
企業講義			2	選択
モバイルシステム総合研究			2	選択
ゲームアニメーションプログラミング			2	選択
マルチメディア処理			2	選択
クラウドコンピューティング			2	選択
プロジェクト研究 A			2	選択
プロジェクト研究 B			2	選択
ソフトウェアサイエンス実験			2	必修
インターンシップ I			1	選択
インターンシップ II			1	選択
インターンシップ III			1	選択
インターンシップ IV		1	選択	
複素解析 II		2	選択	
数学科指導法 III		—	—	
数学科指導法 IV		—	—	
情報セキュリティ		2	選択	
ソフトウェア工学		2	選択	
数値解析プログラミング		2	選択	
小計 (27科目)		46	—	
4年次	情報理論	2	選択	
	アルゴリズム応用	2	選択	
	ニューラルネットワーク	2	選択	
	幾何学 II	2	選択	
	輪講 A	2	選択	
	輪講 B	2	選択	
	卒業研究	4	必修	
小計 (7科目)		16	—	

別表第2-①  
マネジメントサイエンス学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
プログラミング I	2	選択	
キャリアデザイン	2	必修	
代数学 I	2	必修	
解析学 I	2	必修	
数学演習 I	2	選択	
数学演習 II	2	選択	
物理学 I	2	選択	
デジタルシチズンシップ	2	必修	
プログラミング II	2	選択	
解析学 II	2	選択	
プロジェクトマネジメント	2	選択	
消費生活科学	2	選択	
微分方程式 I	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
マーケティング論	2	選択	
経営情報処理	2	必修	
データサイエンス基礎演習	2	選択	
原価計算	2	選択	
人間工学	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
幾何学 I	2	選択	
微分方程式 II	2	選択	
複素解析 I	2	選択	
データサイエンス応用演習	2	選択	
数学科指導法 I	2	選択	
数学科指導法 II	2	選択	
数値解析プログラミング	2	選択	
チームマネジメント	2	選択	
生産管理	2	選択	
統計的方法	2	選択	
サービスマネジメント	2	選択	
サービスイノベーション	2	選択	
ビジネスコンテンツ	2	必修	
キャリアとコミュニケーション	2	選択	
代数学 II	2	選択	
コストマネジメント	2	選択	
ベクトル解析	2	選択	
マネジメントサイエンスセミナー A	2	必修	
外書探究	2	選択	
マネジメント事例研究 I	2	必修	
マネジメントサイエンスセミナー B	2	選択	
複素解析 II	2	選択	
代数学 III	2	選択	
管理会計	2	選択	
品質管理	2	選択	
インターンシップ I	1	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	
経済性分析	2	選択	
オペレーションズリサーチ	2	選択	
経営戦略マネジメント	2	選択	
数学科指導法 III	2	選択	
数学科指導法 IV	2	選択	
ユニバーサルデザイン	2	選択	
ファイナンス	2	選択	
計量経済学	2	選択	
情報分析論	2	選択	
社会モデル	2	選択	
幾何学 II	2	選択	
マネジメント事例研究 II	2	必修	
幾何学 III	2	選択	
製品開発実践論	2	選択	
意思決定論	2	選択	
最適化システム	2	選択	
卒業プロジェクト	4	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①  
デザインサイエンス学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
<u>デザインサイエンス入門 (デザイン史を含む)</u>	2	必修	
<u>デザインサイエンス演習 (デッサンを含む)</u>	2	必修	
数学演習	2	選択	
代数学 I	2	必修	
解析学 I	2	必修	
物理学 I	2	選択	
<u>プログラミング I</u>	2	選択	
<u>デザインサイエンスプログラミング</u>	2	選択	
<u>微分方程式 I</u>	2	選択	
<u>確率統計学 I</u>	2	選択	
<u>解析学 II</u>	2	選択	
物理学 II A	2	選択	
物理学 II B	2	選択	
<u>プログラミング II</u>	2	選択	
デジタルシチズンシップ	2	必修	
<u>デジタルファブ리케이션入門</u>	2	必修	
<u>デザインサイエンス実験</u>	1	必修	
<u>スケッチとドラフティング</u>	1	必修	
色彩デザイン学	2	選択	
管理技法	2	選択	
<u>機構デザイン</u>	2	選択	
<u>数学科指導法 I</u>	2	選択	
<u>工業科指導法 I</u>	2	選択	
<u>技術科指導法 I</u>	2	選択	
<u>確率統計学 II</u>	2	選択	
<u>幾何学 I</u>	2	選択	
<u>デジタルファブ리케이션</u>	2	選択	
<u>メカニクス (材料)</u>	2	必修	
人間工学	2	選択	
原価計算	2	選択	
<u>電気回路基礎</u>	2	選択	
化学と環境	2	選択	
<u>数学科指導法 II</u>	2	選択	
<u>工業科指導法 II</u>	2	選択	
<u>技術科指導法 II</u>	2	選択	
<u>データサイエンス I</u>	2	選択	
20世紀の物理学	2	選択	
代数学 II	2	選択	
<u>知的財産権の基礎</u>	2	選択	
<u>メカニクス (機械)</u>	2	選択	
<u>メカニクス (流体)</u>	2	選択	
栽培	2	選択	
工学倫理	1	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
ユニバーサルデザイン	2	選択	
起業プランニング	2	選択	
<u>金属加工実習</u>	2	選択	
<u>ドラフティング応用</u>	1	選択	
<u>バイオメテイクス</u>	2	選択	
<u>自然科学実験</u>	1	選択	
<u>ソフトエネルギー</u>	2	選択	
<u>数学科指導法 III</u>	2	選択	
<u>職業指導 (工業) I</u>	2	選択	
<u>技術科指導法 III</u>	2	選択	
<u>デジタルファブ리케이션演習</u>	2	選択	
デザインサイエンスセミナー I	2	必修	
メカニクス (材料) 演習	1	選択	
デザイン思考	2	選択	
<u>木材加工</u>	2	選択	
海外研修	2	選択	
インターンシップ I	1	選択	
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	
インターンシップ IV	1	選択	
<u>プロダクトデザイン</u>	2	選択	
デザインと経営	2	選択	
<u>管理会計</u>	2	選択	
<u>メカトロニクス</u>	2	選択	
<u>メカトロニクス演習</u>	2	選択	
<u>モデリングとシミュレーション</u>	2	選択	
<u>マテリアルプロセッシング</u>	2	選択	
都市環境デザイン	2	選択	
<u>電気回路演習</u>	1	選択	
デジタル生産加工	2	選択	
<u>数学科指導法 IV</u>	2	選択	
<u>職業指導 (工業) II</u>	2	選択	
<u>技術科指導法 IV</u>	2	選択	
<u>幾何学 II</u>	2	選択	
デザインサイエンスセミナー II	2	必修	
卒業プロジェクト I	2	必修	
卒業プロジェクト II	2	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## デザインサイエンス学科 中・高 (数学教育コース)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
デザインサイエンス学科 数学教育コース科目	1年次	代数学 I	2	必修
		解析学 I	2	必修
		プログラミング I	2	必修
	2年次	確率統計学 I	2	必修
		数学科指導法 I	2	必修
		幾何学 I	2	必修
		数学科指導法 II	2	必修
		微分方程式 I	2	選択
		解析学 II	2	選択
		プログラミング II	2	選択
	3年次	数学科指導法 III	2	必修
		数学科指導法 IV	2	必修
		代数学 II	2	選択
	4年次	管理会計	2	選択
		幾何学 II	2	選択
	計 (16科目)			32
デザインサイエンス学科 数学教育コース 関連科目	1年次	デザインサイエンス入門 (デザイン史を含む)	2	必修
		物理学 I	2	選択
	2年次	デジタルシチズンシップ	2	必修
	3年次	工学倫理	1	選択
		デザインサイエンスセミナー I	2	必修
	4年次	デザインサイエンスセミナー II	2	必修
卒業プロジェクト II		2	必修	
計 (8科目)			15	—

- 数学の「教科に関する専門的事項に関する科目」  
 数学の関連科目  
 各教科の指導法に関する科目

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件		
デザインサイエンス学科 数学教育コース 以外の科目	1年次	デザインサイエンス演習 (デッサンを含む)	□	2	必修	
		数学演習		2	選択	
		デザインサイエンスプログラミング	●□	2	選択	
	2年次	デジタルファブ리케이션入門	●□	2	必修	
		デザインサイエンス実験	●□	1	必修	
		スケッチとドラフティング	●□	1	必修	
		メカニクス (材料)	●□	2	必修	
		物理学 II A		2	選択	
		物理学 II B		2	選択	
		色彩デザイン学		2	選択	
		管理技法		2	選択	
		機構デザイン	□	2	選択	
		工業科指導法 I	□	2	選択	
		技術科指導法 I	●	2	選択	
		デジタルファブ리케이션	□	2	選択	
		人間工学	□	2	選択	
		原価計算		2	選択	
		電気回路基礎		2	選択	
		化学と環境		2	選択	
		工業科指導法 II	□	2	選択	
		技術科指導法 II	●	2	選択	
		3年次	データサイエンス I	●□	2	選択
			20世紀の物理学		2	選択
			知的財産権の基礎	●□	2	選択
			メカニクス (機械)	●□	2	選択
			メカニクス (流体)	●□	2	選択
			栽培	●	2	選択
			ユニバーサルデザイン		2	選択
			起業プランニング		2	選択
			金属加工実習	●□	2	選択
	ドラフティング応用		●□	1	選択	
	バイオメティクス		●□	2	選択	
	自然科学実験		●□	1	選択	
	ソフトエネルギー		●□	2	選択	
	職業指導 (工業) I		□	2	選択	
	技術科指導法 III		●	2	選択	
	デジタルファブ리케이션演習		●□	2	選択	
	メカニクス (材料) 演習			1	選択	
	木材加工		●	2	選択	
	海外研修			2	選択	
	インターンシップ I			1	選択	
	インターンシップ II			1	選択	
	インターンシップ III			1	選択	
	インターンシップ IV			1	選択	
	プロダクトデザイン		●□	2	選択	
	デザインと経営			2	選択	
	メカトロニクス		●□	2	選択	
	メカトロニクス演習		●□	2	選択	
	モデリングとシミュレーション	●□	2	選択		
	マテリアルプロセッシング	●□	2	選択		
	都市環境デザイン		2	選択		
	電気回路演習	●□	1	選択		
	デジタル生産加工		2	選択		
	職業指導 (工業) II	□	2	選択		
	技術科指導法 IV	●	2	選択		
4年次	卒業プロジェクト I	▼◇	2	必修		
計 (55科目)			102	—		

- 技術の「教科及び教科の指導法に関する科目」  
 □ 工業の「教科及び教科の指導法に関する科目」  
 ▼ 技術の関連科目  
 ◇ 工業の関連科目

別表第2-①

## デザインサイエンス学科 (技術・工業教育コース)

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件 技術	履修条件 工業
	1年次	デザインサイエンス入門 (デザイン史を含む)	2	必修	必修
デザインサイエンス演習 (デッサンを含む)		2	必修	必修	
デザインサイエンスプログラミング		2	必修	必修	
2年次	デジタルファブ리케이션入門	2	必修	必修	
	デザインサイエンス実験	1	必修	必修	
	スケッチとドラフティング	1	必修	必修	
	技術科指導法 I	2	必修	選択	
	メカニクス (材料)	2	必修	必修	
	電気回路基礎	2	必修	必修	
	技術科指導法 II	2	必修	選択	
	工業科指導法 I	2	選択	必修	
	工業科指導法 II	2	選択	必修	
	機構デザイン	2	選択	選択	
デジタルファブ리케이션	2	選択	選択		
人間工学	2	選択	選択		
3年次	メカニクス (機械)	2	選択	必修	
	栽培	2	必修	選択	
	金属加工実習	2	必修	選択	
	職業指導 (工業) I	2	選択	必修	
	技術科指導法 III	2	必修	選択	
	木材加工	2	必修	選択	
	メカトロニクス演習	2	必修	選択	
	技術科指導法 IV	2	必修	選択	
	データサイエンス I	2	選択	選択	
	知的財産権の基礎	2	選択	選択	
	メカニクス (流体)	2	選択	選択	
	ドラフティング応用	1	選択	選択	
	バイオメティクス	2	選択	選択	
	自然科学実験	1	選択	選択	
	ソフトエネルギー	2	選択	選択	
	デジタルファブ리케이션演習	2	選択	選択	
	プロダクトデザイン	2	選択	選択	
メカトロニクス	2	選択	選択		
モデリングとシミュレーション	2	選択	選択		
マテリアルプロセッシング	2	選択	選択		
電気回路演習	1	選択	選択		
職業指導 (工業) II	2	選択	選択		
計 (37科目)			69	—	—
技術・工業教育コース デザインサイエンス 関連科目	1年次	物理学 I	2	選択	選択
	2年次	デジタルシチズンシップ	2	必修	必修
	3年次	デザインサイエンスセミナー I	2	必修	必修
		管理会計	2	選択	選択
	4年次	デザインサイエンスセミナー II	2	必修	必修
卒業プロジェクト I	2	必修	必修		
卒業プロジェクト II	2	必修	必修		
計 (7科目)			14	—	—

- 技術・工業の「教科に関する専門的事項に関する科目」  
 技術・工業の関連科目  
 各教科の指導法に関する科目

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件 技術	履修条件 工業
	1年次	代数学 I	★	2	必修
解析学 I		★	2	必修	必修
数学演習			2	選択	選択
プログラミング I		★	2	選択	選択
2年次	微分方程式 I	★	2	選択	選択
	確率統計学 I	★	2	選択	選択
	解析学 II	★	2	選択	選択
	物理学 IIA		2	選択	選択
	物理学 IIB		2	選択	選択
	プログラミング II	★	2	選択	選択
	色彩デザイン学		2	選択	選択
	管理技法		2	選択	選択
	数学科指導法 I	★	2	選択	選択
	確率統計学 II	★	2	選択	選択
	幾何学 I	★	2	選択	選択
	原価計算		2	選択	選択
	化学と環境		2	選択	選択
	数学科指導法 II	★	2	選択	選択
	20世紀の物理学		2	選択	選択
	代数学 II	★	2	選択	選択
工学倫理	▲	1	選択	選択	
ユニバーサルデザイン		2	選択	選択	
起業プランニング		2	選択	選択	
数学科指導法 III	★	2	選択	選択	
メカニクス (材料) 演習		1	選択	選択	
デザイン思考	▲	2	選択	選択	
海外研修		2	選択	選択	
インターンシップ I		1	選択	選択	
インターンシップ II		1	選択	選択	
インターンシップ III		1	選択	選択	
インターンシップ IV		1	選択	選択	
デザインと経営		2	選択	選択	
都市環境デザイン		2	選択	選択	
デジタル生産加工		2	選択	選択	
数学科指導法 IV	★	2	選択	選択	
4年次	幾何学 II	★	2	選択	選択
計 (36科目)			66	—	—

★ 数学の「教科及び教科の指導法に関する科目」

▲ 数学の関連科目

別表第2-①

デザインサイエンス学科科目  
(数学教育コース、技術・工業教育コースを除く)

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	デザインサイエンス入門 (デザイン史を含む)	2	必修
	デザインサイエンス演習 (デッサンを含む)	2	必修
	代数学 I	2	必修
	解析学 I	2	必修
	数学演習	2	選択
	物理学 I	2	選択
	プログラミング I	2	選択
	デザインサイエンスプログラミング	2	選択
小計 (8科目)		16	—
2年次	デジタルシチズンシップ	2	必修
	デジタルファブ리케이션入門	2	必修
	デザインサイエンス実験	1	必修
	スケッチとドラフティング	1	必修
	メカニクス (材料)	2	必修
	微分方程式 I	2	選択
	確率統計学 I	2	選択
	解析学 II	2	選択
	物理学 IIA	2	選択
	物理学 IIB	2	選択
	プログラミング II	2	選択
	色彩デザイン学	2	選択
	管理技法	2	選択
	機構デザイン	2	選択
	数学科指導法 I	—	—
	工業科指導法 I	—	—
	技術科指導法 I	—	—
	確率統計学 II	2	選択
	幾何学 I	2	選択
	デジタルファブ리케이션	2	選択
人間工学	2	選択	
原価計算	2	選択	
電気回路基礎	2	選択	
化学と環境	2	選択	
数学科指導法 II	—	—	
工業科指導法 II	—	—	
技術科指導法 II	—	—	
小計 (27科目)		40	—
3年次	デザインサイエンスセミナー I	2	必修
	データサイエンス I	2	選択
	20世紀の物理学	2	選択
	代数学 II	2	選択
	知的財産権の基礎	2	選択

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
3年次	メカニクス (機械)	2	選択
	メカニクス (流体)	2	選択
	栽培	2	選択
	工学倫理	1	選択
	ユニバーサルデザイン	2	選択
	起業プランニング	2	選択
	金属加工実習	2	選択
	ドラフティング応用	1	選択
	バイオメティクス	2	選択
	自然科学実験	1	選択
	ソフトエネルギー	2	選択
	数学科指導法 III	—	—
	職業指導 (工業) I	2	選択
	技術科指導法 III	—	—
	デジタルファブ리케이션演習	2	選択
	メカニクス (材料) 演習	1	選択
	デザイン思考	2	選択
	木材加工	2	選択
	海外研修	2	選択
	インターンシップ I	1	選択
	インターンシップ II	1	選択
	インターンシップ III	1	選択
	インターンシップ IV	1	選択
	プロダクトデザイン	2	選択
	デザインと経営	2	選択
	管理会計	2	選択
	メカトロニクス	2	選択
	メカトロニクス演習	2	選択
	モデリングとシミュレーション	2	選択
	マテリアルプロセッシング	2	選択
都市環境デザイン	2	選択	
電気回路演習	1	選択	
デジタル生産加工	2	選択	
数学科指導法 IV	—	—	
職業指導 (工業) II	2	選択	
技術科指導法 IV	—	—	
小計 (41科目)		65	
4年次	デザインサイエンスセミナー II	2	必修
	卒業プロジェクト I	2	必修
	卒業プロジェクト II	2	必修
	幾何学 II	2	選択
小計 (4科目)		8	

## 国際経営学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
マクロ経済学	2	必修	
ミクロ経済学	2	必修	
ESS A	1	必修	
ESS B	2	必修	
基礎数学	2	必修	
経営統計学	2	必修	
Intercultural Studies	2	必修	
企業論	2	必修	
基礎ファイナンス	2	必修	
Business English A	4	必修	
Business English B	4	必修	
専門基礎ゼミナール A	2	必修	
専門基礎ゼミナール B	2	必修	
企業倫理	2	必修	
国際会計基礎	4	選択	
マーケティング戦略	4	選択	
EPS A	2	必修	
EPS B	2	必修	
環境経営	2	選択	
人的資源管理	2	選択	
中小企業経営論	2	選択	
Strategic Management	4	選択	
経営塾	4	選択	
Global Business Studies	4	選択	
グローバルビジネスゼミナール A	2	選択	
グローバルビジネスゼミナール B	2	選択	
財務会計論	4	選択	
国際会計理論	4	選択	
国際会計ゼミナール A	2	選択	
国際会計ゼミナール B	2	選択	
パーソナル・ファイナンス	4	選択	
消費者行動論	4	選択	
販売管理・流通	4	選択	
マーケティング・リサーチ	4	選択	
マーケティングゼミナール A	2	選択	
マーケティングゼミナール B	2	選択	
経営法務	4	必修	
コーポレート・ファイナンス	4	選択	
Global Case Studies	4	選択	
グローバルビジネスゼミナール C	2	選択	
グローバルビジネスゼミナール D	2	選択	
管理会計論	4	選択	
国際会計ゼミナール C	2	選択	
国際会計ゼミナール D	2	選択	
Marketing Communication	4	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
New Product Management	4	選択	
マーケティングゼミナール C	2	選択	
マーケティングゼミナール D	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## 教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教育学概論	2	必修		保育内容指導法 (健康)	2	選択	
教職概論	2	必修		保育内容指導法 (人間関係)	2	選択	
教育原理	2	選択		保育内容指導法 (環境)	2	選択	
学習・発達論	2	選択		保育内容指導法 (言葉)	2	選択	
教育の制度と経営	2	選択		保育内容指導法 (表現)	2	選択	
教育方法・技術論	1	選択		国語科指導法	2	選択	
ICT活用の理論と実践	1	選択		社会科指導法	2	選択	
教育哲学	2	選択		算数科指導法	2	選択	
教育社会学	2	選択		理科指導法	2	選択	
教育心理学	2	選択		生活科指導法	2	選択	
発達心理学	2	選択		音楽科指導法	2	選択	
教育方法学	2	選択		家庭科指導法	2	選択	
国語	2	選択		図工科指導法	2	選択	
社会	2	選択		体育科指導法	2	選択	
算数	2	選択		外国語 (英語) 指導法	2	選択	
理科	2	選択		日本史各論 A	2	選択	
生活	2	選択		日本史各論 B	2	選択	
音楽	2	選択		外国史概論	2	選択	
図工	2	選択		外国史各論 A	2	選択	
家庭	2	選択		外国史各論 B	2	選択	
体育 (幼・小)	2	選択		西洋文化史	2	選択	
外国語 (英語)	2	選択		東洋文化史	2	選択	
子どもと健康	1	選択		地理学概論	2	選択	
子どもと環境	1	選択		観光地誌論	2	選択	
子どもと人間関係	1	選択		西洋哲学思想史	2	選択	
子どもと言葉	1	選択		東洋思想史	2	選択	
子どもと表現	1	選択		地球科学	2	選択	
保育内容総論	2	選択		宇宙科学	2	選択	
教育インターンシップ (幼) A	2	選択		体育実技 (水泳)	1	選択	
教育インターンシップ (幼) B	2	選択		体育実技 (ダンス)	1	選択	
教育インターンシップ (幼) C	1	選択		体育実技 (球技 A)	1	選択	
教育インターンシップ (幼) D	1	選択		体育原理	2	選択	
文化人類学	2	選択		体育社会学	2	選択	
民俗学入門	2	選択		生理学 (運動生理学を含む。)	2	選択	
比較文化論	2	選択		衛生学	2	選択	
世界の宗教と文化	2	選択		公衆衛生学	2	選択	
経済学 (国際経済を含む。)	2	選択		学校保健	2	選択	
市民社会と法	2	選択		保健体育科指導法 I	2	選択	
政治学 (国際政治を含む。)	2	選択		保健体育科指導法 II	2	選択	
社会学	2	選択		体育測定評価	2	選択	
生涯学習概論	2	選択		博物館概論	2	選択	
ボランティア概論	2	選択		博物館資料論	2	選択	
日本史概論	2	選択		博物館教育論	2	選択	
体育実技 (体操)	1	選択		現代教育研究 I	2	必修	
体育実技 (陸上)	1	選択		現代教育研究 II	2	必修	
体育実技 (スキー)	1	選択		教育課程編成論	2	選択	
図書館情報資源概論	2	選択		道德教育の理論と方法	2	選択	
図書館情報資源特論	1	選択		生徒・進路指導の理論と方法	2	選択	
全人教育実践演習 A	2	必修		教育相談の理論と方法	2	選択	
全人教育実践演習 B	2	必修		法律学 (国際法を含む。)	2	選択	
特別支援教育	1	必修		日本の伝統文化と歴史	2	選択	
総合的な学習の時間の理論と方法	1	選択		地理情報論	2	選択	
特別活動の理論と方法	1	選択		人文地理学	2	選択	
幼児教育課程論	2	選択		自然地理学	2	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択		地誌学概論	2	選択	
幼児指導論	2	選択		日本と外国の歴史	2	選択	



別表第2-①

## 教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
歴史資料情報論	2	選択	
社会科・公民科指導法 I	2	選択	
社会科・公民科指導法 II	2	選択	
社会科・地理歴史科指導法 I	2	選択	
社会科・地理歴史科指導法 II	2	選択	
世界の教育と文化環境	2	選択	
体育実技 (球技 B)	1	選択	
体育実技 (武道)	1	選択	
運動学 (運動方法学を含む。)	2	選択	
体育心理学	2	選択	
体育経営管理学	2	選択	
栄養学	2	選択	
病理学	2	選択	
保健体育科指導法 III	2	選択	
保健体育科指導法 IV	2	選択	
運動部活動の指導法	2	選択	
現代社会の教育課題	2	選択	
臨床心理学	2	選択	
学習指導と学校図書館	2	選択	
教育実習 (幼・小)	5	選択	
教育実習 (小・中)	5	選択	
教育実習 (中・高)	5	選択	
教育実習 (高等学校)	3	選択	
教育実習 (副)	3	選択	
卒業課題研究 I	2	必修	
卒業課題研究 II	2	必修	
教職実践演習	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①  
乳幼児発達学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教育学概論	2	必修	
保育原理	2	選択	
児童学	2	選択	
子どもの保健	2	選択	
社会福祉	2	選択	
教育原理	2	選択	
保育者論	2	必修	
学習・発達論	2	選択	
保育内容総論	2	選択	
教育の制度と経営	2	選択	
教育の方法と技術	2	選択	
教育哲学	2	選択	
教育社会学	2	選択	
子どもと家庭の発達心理学	2	選択	
教育方法学	2	選択	
子どもと健康	1	選択	
子どもと環境	1	選択	
子どもと人間関係	1	選択	
子どもと言葉	1	選択	
子どもと表現	1	選択	
教育インターンシップ(幼) A	2	選択	
教育インターンシップ(幼) B	2	選択	
教育インターンシップ(幼) C	1	選択	
教育インターンシップ(幼) D	1	選択	
保育インターンシップ A	2	選択	
保育インターンシップ B	2	選択	
保育インターンシップ C	1	選択	
保育インターンシップ D	1	選択	
全人教育実践演習 A	2	必修	
全人教育実践演習 B	2	必修	
保育の心理学	2	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択	
幼児指導論	2	選択	
保育内容指導法(健康)	2	選択	
保育内容指導法(人間関係)	2	選択	
保育内容指導法(環境)	2	選択	
保育内容指導法(言葉)	2	選択	
保育内容指導法(表現)	2	選択	
乳児保育 I	2	選択	
乳児保育 II	1	選択	
子どもの遊びと育ち	2	選択	
子どもの健康と安全	1	選択	
子ども家庭福祉	2	選択	
人間関係論	2	選択	
子ども家庭福祉	2	選択	
人間関係論	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
現代教育研究 I	2	必修	
現代教育研究 II	2	必修	
保育カリキュラム論	2	選択	
子どもの食と栄養	2	選択	
社会的養護	2	選択	
社会的養護演習	1	選択	
特別な支援を必要とする子どもの理解と援助 I	1	選択	
特別な支援を必要とする子どもの理解と援助 II	1	選択	
救急処置法	2	選択	
児童文化	2	選択	
保育実践論 A	2	選択	
教育実習(幼稚園1種)	5	選択	
保育実習指導 I	2	選択	
保育実習 I	4	選択	
卒業課題研究 I	2	必修	
卒業課題研究 II	2	必修	
子育て支援演習	1	選択	
保育実践論 B	2	選択	
保育実践論 C	2	選択	
子ども家庭支援論	2	選択	
子どもと家族の福祉	2	選択	
保育・教職実践演習	2	選択	
保育実習指導 II	1	選択	
保育実習指導 III	1	選択	
保育実習 II	2	選択	
保育実習 III	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

教育学科（幼稚園教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育方法・技術論	1	選択
	ICT活用の理論と実践	1	選択
	教育哲学	2	選択
	教育社会学	2	選択
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	教育方法学	2	選択
	国語	2	選択
	算数	2	選択
	音楽	2	選択
	図工	2	選択
	体育（幼・小）	2	選択
	保育内容総論	2	必修
	教育インターンシップ（幼）A	2	選択
	教育インターンシップ（幼）B	2	選択
	教育インターンシップ（幼）C	1	選択
	教育インターンシップ（幼）D	1	選択
生涯学習概論	2	選択	
2年次	教育原理	2	必修
	学習・発達論	2	必修
	幼児教育課程論	2	必修
	幼児理解と教育相談	2	必修
	幼児指導論	2	必修
	保育内容指導法（健康）	2	必修
	保育内容指導法（人間関係）	2	必修
	保育内容指導法（環境）	2	必修
	保育内容指導法（言葉）	2	必修
	保育内容指導法（表現）	2	必修
3年次	特別支援教育	1	必修
	道德教育の理論と方法	2	選択
	教育実習（幼・小）	5	必修
4年次	教職実践演習	2	必修
小計(35科目)		68	

幼稚園の「領域及び保育内容の指導法に関する科目」  
 幼稚園の「教育の基礎的理解に関する科目」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	社会	2	選択
	理科	2	選択
	生活	2	選択
	家庭	2	選択
	外国語（英語）	2	選択
	文化人類学	2	選択
	民俗学入門	2	選択
	比較文化論	2	選択
	世界の宗教と文化	2	選択
	経済学（国際経済を含む。）	2	選択
	市民社会と法	2	選択
	社会学	2	選択
	ボランティア概論	2	選択
	日本史概論	2	選択
	体育実技（体操）	1	選択
	体育実技（陸上）	1	選択
	体育実技（スキー）	1	選択
	図書館情報資源概論	2	選択
	図書館情報資源特論	1	選択
	幼稚園教育コース以外の科目	全人教育実践演習 A	2
全人教育実践演習 B		2	必修
政治学（国際政治を含む。）		2	選択
総合的な学習の時間の理論と方法		1	選択
特別活動の理論と方法		1	選択
国語科指導法		2	選択
社会科指導法		2	選択
算数科指導法		2	選択
理科指導法		2	選択
生活科指導法		2	選択
音楽科指導法		2	選択
家庭科指導法		2	選択
図工科指導法		2	選択
体育科指導法		2	選択
外国語（英語）指導法		2	選択
日本史各論 A		2	選択
日本史各論 B		2	選択
外国史概論		2	選択
外国史各論A		2	選択
外国史各論B		2	選択
西洋文化史		2	選択
東洋文化史		2	選択
地理学概論		2	選択
観光地誌論		2	選択
西洋哲学思想史		2	選択
東洋思想史		2	選択
地球科学		2	選択
宇宙科学		2	選択
体育実技（水泳）		1	選択
体育実技（ダンス）		1	選択
体育実技（球技 A）		1	選択

- 小学校
- ◆ 社会
- ▲ 公民
- ▼ 保健体育
- 地理歴史

## 教育学科（幼稚園教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2年次	体育原理 ▼	2	選択
	体育社会学 ▼	2	選択
	生理学（運動生理学を含む。） ▼	2	選択
	衛生学 ▼	2	選択
	公衆衛生学 ▼	2	選択
	学校保健 ▼	2	選択
	保健体育科指導法Ⅰ ▼	2	選択
	保健体育科指導法Ⅱ ▼	2	選択
	体育測定評価	2	選択
	博物館概論 □	2	選択
	博物館資料論 □	2	選択
博物館教育論 □	2	選択	
幼稚園教育コース以外の科目 3年次	現代教育研究Ⅰ	2	必修
	現代教育研究Ⅱ	2	必修
	教育課程編成論 ●◆▼▲□	2	選択
	生徒・進路指導の理論と方法 ●◆▼▲□	2	選択
	教育相談の理論と方法 ●◆▼▲□	2	選択
	法律学（国際法を含む。） ◆▲	2	選択
	日本の伝統文化と歴史 □	2	選択
	地理情報論 □	2	選択
	人文地理学 □	2	選択
	自然地理学 □	2	選択
	地誌学概論 ◆□	2	選択
	日本と外国の歴史 ◆□	2	選択
	歴史資料情報論 □	2	選択
	社会科・公民科指導法Ⅰ ◆▲	2	選択
	社会科・公民科指導法Ⅱ ◆▲	2	選択
	社会科・地理歴史科指導法Ⅰ ◆□	2	選択
	社会科・地理歴史科指導法Ⅱ ◆□	2	選択
	世界の教育と文化環境 □	2	選択
	保健体育科指導法Ⅲ ▼	2	選択
	保健体育科指導法Ⅳ ▼	2	選択
	現代社会の教育課題	2	選択
	臨床心理学	2	選択
	体育実技（球技B） ▼	1	選択
	体育実技（武道） ▼	1	選択
	運動学（運動方法学を含む。） ▼	2	選択
	体育心理学 ▼	2	選択
	体育経営管理学 ▼	2	選択
	栄養学 ▼	2	選択
	病理学 ▼	2	選択
	運動部活動の指導法 ▼	2	選択
	学習指導と学校図書館 □	2	選択
教育実習（小・中） ●◆▼	5	—	
教育実習（中・高） ◆▼▲□	5	—	
教育実習（高等学校） ▼▲□	3	—	
教育実習（副） ●◆▼	3	—	
4年次	卒業課題研究Ⅰ	2	必修
	卒業課題研究Ⅱ	2	必修
小計(99科目)		195	

- 小学校
- ◆ 社会
- ▲ 公民
- ▼ 保健体育
- 地理歴史

## 教育学科（小学校教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育方法・技術論	1	選択
	ICT活用の理論と実践	1	選択
	教育哲学	2	選択
	教育社会学	2	選択
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	教育方法学	2	選択
	国語	2	選択
	社会	2	選択
	算数	2	選択
	理科	2	選択
	生活	2	選択
	音楽	2	選択
	図工	2	選択
	家庭	2	選択
	体育（幼・小）	2	選択
	外国語（英語）	2	選択
生涯学習概論	2	選択	
2年次	教育原理	2	必修
	学習・発達論	2	必修
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	国語科指導法	2	必修
	社会科指導法	2	必修
	算数科指導法	2	必修
	理科指導法	2	必修
	生活科指導法	2	必修
	音楽科指導法	2	必修
	家庭科指導法	2	必修
	図工科指導法	2	必修
	体育科指導法	2	必修
	外国語（英語）指導法	2	必修
3年次	特別支援教育	1	必修
	教育課程編成論	2	必修
	道德教育の理論と方法	2	必修
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	現代社会の教育課題	2	選択
	教育実習（幼・小）	5	選択
	教育実習（小・中）	5	選択
4年次	教職実践演習	2	必修
小計(44科目)		89	

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	保育内容総論	2	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）A	2	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）B	2	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）C	1	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）D	1	★ 選択
	文化人類学	2	□ 選択
	民俗学入門	2	◆□ 選択
	比較文化論	2	□ 選択
	世界の宗教と文化	2	□ 選択
	経済学（国際経済を含む。）	2	◆▲ 選択
	市民社会と法	2	□ 選択
	社会学	2	◆▲ 選択
	ボランティア概論	2	◆▲ 選択
	日本史概論	2	◆□ 選択
	体育実技（体操）	1	▼ 選択
	体育実技（陸上）	1	▼ 選択
	体育実技（スキー）	1	▼ 選択
	図書館情報資源概論	2	□ 選択
	図書館情報資源特論	1	□ 選択
	2年次	政治学（国際政治を含む。）	2
全人教育実践演習 A		2	必修
全人教育実践演習 B		2	必修
幼児教育課程論		2	★ 選択
幼児理解と教育相談		2	★ 選択
幼児指導論		2	★ 選択
保育内容指導法（健康）		2	★ 選択
保育内容指導法（人間関係）		2	★ 選択
保育内容指導法（環境）		2	★ 選択
保育内容指導法（言葉）		2	★ 選択
保育内容指導法（表現）		2	★ 選択
日本史各論 A		2	□ 選択
日本史各論 B		2	□ 選択
外国史概論		2	◆□ 選択
外国史各論 A		2	□ 選択
外国史各論 B		2	□ 選択
西洋文化史		2	□ 選択
東洋文化史		2	□ 選択
地理学概論		2	◆□ 選択
観光地誌論		2	□ 選択
西洋哲学思想史	2	◆▲ 選択	
東洋思想史	2	◆▲ 選択	
地球科学	2	□ 選択	
宇宙科学	2	□ 選択	
体育実技（水泳）	1	▼ 選択	
体育実技（ダンス）	1	▼ 選択	

■ 小学校の「教科及び教科の指導法に関する科目」

■ 小学校の「教育の基礎的理解に関する科目」

★ 幼稚園

◆ 社会

▲ 公民

▼ 保健体育

□ 地理歴史

## 教育学科（小学校教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2年次	体育実技（球技 A）	▼	1 選択
	体育原理	▼	2 選択
	体育社会学	▼	2 選択
	生理学（運動生理学を含む。）	▼	2 選択
	衛生学	▼	2 選択
	公衆衛生学	▼	2 選択
	学校保健	▼	2 選択
	保健体育科指導法 I	▼	2 選択
	保健体育科指導法 II	▼	2 選択
	体育測定評価		2 選択
	博物館概論	□	2 選択
	博物館資料論	□	2 選択
	博物館教育論	□	2 選択
3年次	現代教育研究 I		2 必修
	現代教育研究 II		2 必修
	日本の伝統文化と歴史	□	2 選択
	人文地理学	□	2 選択
	日本と外国の歴史	◆□	2 選択
	歴史資料情報論	□	2 選択
	臨床心理学		2 選択
	法律学（国際法を含む。）	◆▲	2 選択
	地理情報論	□	2 選択
	自然地理学	□	2 選択
	地誌学概論	◆□	2 選択
	社会科・公民科指導法 I	◆▲	2 選択
	社会科・公民科指導法 II	◆▲	2 選択
	社会科・地理歴史科指導法 I	◆□	2 選択
	社会科・地理歴史科指導法 II	◆□	2 選択
	世界の教育と文化環境	□	2 選択
	体育実技（球技 B）	▼	1 選択
	体育実技（武道）	▼	1 選択
	運動学（運動方法学を含む。）	▼	2 選択
	体育心理学	▼	2 選択
	体育経営管理学	▼	2 選択
	栄養学	▼	2 選択
	病理学	▼	2 選択
	保健体育科指導法 III	▼	2 選択
	保健体育科指導法 IV	▼	2 選択
	運動部活動の指導法	▼	2 選択
	学習指導と学校図書館	□	2 選択
教育実習（中・高）	◆▼▲□	5 ー	
教育実習（高等学校）	▼▲□	3 ー	
教育実習（副）	★◆▼	3 ー	
4年次	卒業課題研究 I		2 必修
	卒業課題研究 II		2 必修
小計(90科目)		174	

- ★ 幼稚園
- ◆ 社会
- ▲ 公民
- ▼ 保健体育
- 地理歴史

## 教育学科 中 (社会科教育コース)

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育方法・技術論	1	選択
	ICT活用の理論と実践	1	選択
	教育哲学	2	選択
	教育社会学	2	選択
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	教育方法学	2	選択
	日本史概論	2	必修
	民俗学入門	2	選択
	経済学 (国際経済を含む。)	2	選択
	社会学	2	選択
	ボランティア概論	2	選択
	生涯学習概論	2	選択
2年次	教育原理	2	必修
	学習・発達論	2	必修
	政治学 (国際政治を含む。)	2	選択
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	外国史概論	2	必修
	地理学概論	2	必修
	西洋哲学思想史	2	選択
東洋思想史	2	選択	
3年次	特別支援教育	1	必修
	教育課程編成論	2	必修
	道徳教育の理論と方法	2	必修
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	法律学 (国際法を含む。)	2	選択
	地誌学概論	2	必修
	日本と外国の歴史	2	必修
	社会科・公民科指導法 I	2	必修
	社会科・公民科指導法 II	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 I	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 II	2	必修
	現代社会の教育課題	2	選択
教育実習 (中・高)	5	必修	
4年次	教職実践演習	2	必修
小計(40科目)		78	

■ 社会の「教科及び教科の指導法に関する科目」

■ 社会の「教育の基礎的理解に関する科目等」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件	
1年次	国語	2	★● 選択	
	社会	2	● 選択	
	算数	2	★● 選択	
	理科	2	● 選択	
	生活	2	★● 選択	
	音楽	2	★● 選択	
	図工	2	★● 選択	
	家庭	2	● 選択	
	体育 (幼・小)	2	★● 選択	
	外国語 (英語)	2	● 選択	
	保育内容総論	2	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) A	2	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) B	2	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) C	1	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) D	1	★ 選択	
	文化人類学	2	□ 選択	
	比較文化論	2	□ 選択	
	世界の宗教と文化	2	□ 選択	
	市民社会と法	2	□ 選択	
	体育実技 (体操)	1	▼ 選択	
	体育実技 (陸上)	1	▼ 選択	
	体育実技 (スキー)	1	▼ 選択	
	図書館情報資源概論	2	□ 選択	
	図書館情報資源特論	1	□ 選択	
	2年次	全人教育実践演習 A	2	必修
		全人教育実践演習 B	2	必修
		幼児教育課程論	2	★ 選択
幼児理解と教育相談		2	★ 選択	
幼児指導論		2	★ 選択	
保育内容指導法 (健康)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (人間関係)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (環境)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (言葉)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (表現)		2	★ 選択	
国語科指導法		2	● 選択	
社会科指導法		2	● 選択	
算数科指導法		2	● 選択	
理科指導法		2	● 選択	
生活科指導法		2	● 選択	
音楽科指導法		2	● 選択	
家庭科指導法		2	● 選択	
図工科指導法		2	● 選択	
体育科指導法		2	● 選択	
外国語 (英語) 指導法		2	● 選択	
日本史各論 A		2	□ 選択	
日本史各論 B		2	□ 選択	
外国史各論 A		2	□ 選択	
外国史各論 B		2	□ 選択	
西洋文化史		2	□ 選択	
東洋文化史		2	□ 選択	

★ 幼稚園 ▼保健体育 ▲公民

● 小学校 □地理歴史

## 教育学科 中 (社会科教育コース)

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2 年 次	観光地誌論	□	2 選択
	地球科学	□	2 選択
	宇宙科学	□	2 選択
	体育実技 (水泳)	▼	1 選択
	体育実技 (ダンス)	▼	1 選択
	体育実技 (球技 A)	▼	1 選択
	体育原理	▼	2 選択
	体育社会学	▼	2 選択
	生理学 (運動生理学を含む。)	▼	2 選択
	衛生学	▼	2 選択
	公衆衛生学	▼	2 選択
	学校保健	▼	2 選択
	保健体育科指導法 I	▼	2 選択
	保健体育科指導法 II	▼	2 選択
	体育測定評価		2 選択
	博物館概論	□	2 選択
	博物館資料論	□	2 選択
	博物館教育論	□	2 選択
	3 年 次	現代教育研究 I	
現代教育研究 II			2 必修
日本の伝統文化と歴史		□	2 選択
地理情報論		□	2 選択
人文地理学		□	2 選択
自然地理学		□	2 選択
歴史資料情報論		□	2 選択
世界の教育と文化環境		□	2 選択
体育実技 (球技 B)		▼	1 選択
体育実技 (武道)		▼	1 選択
運動学 (運動方法学を含む。)		▼	2 選択
体育心理学		▼	2 選択
体育経営管理学		▼	2 選択
栄養学		▼	2 選択
病理学		▼	2 選択
保健体育科指導法 III		▼	2 選択
保健体育科指導法 IV		▼	2 選択
運動部活動の指導法		▼	2 選択
臨床心理学			2 選択
教育実習 (幼・小)		★●	5 ー
教育実習 (小・中)	●▼	5 ー	
教育実習 (高等学校)	▼▲□	3 ー	
教育実習 (副)	★●	3 選択	
学習指導と学校図書館	□	2 選択	
4 年 次	卒業課題研究 I		2 必修
	卒業課題研究 II		2 必修
小計 (94科目)		185	

★ 幼稚園 ▼保健体育 ▲公民

● 小学校 □地理歴史



教育学科 中高（保健体育教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育方法・技術論	1	選択
	ICT活用の理論と実践	1	選択
	教育哲学	2	選択
	教育社会学	2	選択
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	教育方法学	2	選択
	生涯学習概論	2	選択
	体育実技（体操）	1	必修
	体育実技（陸上）	1	必修
	体育実技（スキー）	1	必修
2年次	教育原理	2	必修
	学習・発達論	2	必修
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	体育実技（水泳）	1	必修
	体育実技（ダンス）	1	必修
	体育実技（球技 A）	1	必修
	体育原理	2	選択
	体育社会学	2	選択
	生理学（運動生理学を含む。）	2	必修
	衛生学	2	必修
	公衆衛生学	2	必修
	学校保健	2	必修
	保健体育科指導法 I	2	必修
保健体育科指導法 II	2	必修	
3年次	特別支援教育	1	必修
	教育課程編成論	2	必修
	道德教育の理論と方法	2	必修
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	体育実技（球技 B）	1	必修
	体育実技（武道）	1	必修
	運動学（運動方法学を含む。）	2	必修
	体育心理学	2	選択
	体育経営管理学	2	選択
	栄養学	2	選択
	病理学	2	選択
	保健体育科指導法 III	2	必修
	保健体育科指導法 IV	2	必修
	運動部活動の指導法	2	選択
	現代社会の教育課題	2	選択
教育実習（中・高）	5	必修	
教育実習（高等学校）	3	選択	
4年次	教職実践演習	2	必修
小計(48科目)		87	選択

保健体育教育コース科目

■ 保健体育の「教科及び教科の指導法に関する科目」  
 ■ 保健体育の「教育の基礎的理解に関する科目等」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	国語	2	★● 選択
	社会	2	● 選択
	算数	2	★● 選択
	理科	2	● 選択
	生活	2	★● 選択
	音楽	2	★● 選択
	図工	2	★● 選択
	家庭	2	● 選択
	体育（幼・小）	2	★● 選択
	外国語（英語）	2	● 選択
	保育内容総論	2	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）A	2	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）B	2	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）C	1	★ 選択
	教育インターンシップ（幼）D	1	★ 選択
	文化人類学	2	□ 選択
	民俗学入門	2	◆□ 選択
	比較文化論	2	□ 選択
	世界の宗教と文化	2	□ 選択
	経済学（国際経済を含む。）	2	◆▲ 選択
	政治学（国際政治を含む。）	2	◆▲ 選択
	市民社会と法	2	□ 選択
	社会学	2	◆▲ 選択
	ボランティア概論	2	◆▲ 選択
	日本史概論	2	◆□ 選択
	図書館情報資源概論	2	□ 選択
図書館情報資源特論	1	□ 選択	
2年次	全人教育実践演習 A	2	必修
	全人教育実践演習 B	2	必修
	幼児教育課程論	2	★ 選択
	幼児理解と教育相談	2	★ 選択
	幼児指導論	2	★ 選択
	保育内容指導法（健康）	2	★ 選択
	保育内容指導法（人間関係）	2	★ 選択
	保育内容指導法（環境）	2	★ 選択
	保育内容指導法（言葉）	2	★ 選択
	保育内容指導法（表現）	2	★ 選択
	国語科指導法	2	● 選択
	社会科指導法	2	● 選択
	算数科指導法	2	● 選択
	理科指導法	2	● 選択
	生活科指導法	2	● 選択
	音楽科指導法	2	● 選択
	家庭科指導法	2	● 選択
	図工科指導法	2	● 選択
	体育科指導法	2	● 選択
	外国語（英語）指導法	2	● 選択
日本史各論 A	2	□ 選択	
日本史各論 B	2	□ 選択	

保健体育教育コース以外の科目

★ 幼稚園 ◆社会 ▲公民  
 ● 小学校 □地理歴史

## 教育学科 中高（保健体育教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件	
2 年 次	外国史概論	◆□	2	選択
	外国史各論 A	□	2	選択
	外国史各論 B	□	2	選択
	西洋文化史	□	2	選択
	東洋文化史	□	2	選択
	地理学概論	◆□	2	選択
	観光地誌論	□	2	選択
	西洋哲学思想史	◆▲	2	選択
	東洋思想史	◆▲	2	選択
	地球科学	□	2	選択
	宇宙科学	□	2	選択
	体育測定評価		2	選択
	博物館概論	□	2	選択
	博物館資料論	□	2	選択
	博物館教育論	□	2	選択
	3 年 次	現代教育研究 I		2
現代教育研究 II			2	必修
法学（国際法を含む。）		◆▲	2	選択
日本の伝統文化と歴史		□	2	選択
地理情報論		□	2	選択
人文地理学		□	2	選択
自然地理学		□	2	選択
地誌学概論		◆□	2	選択
日本と外国の歴史		◆□	2	選択
歴史資料情報論		□	2	選択
社会科・公民科指導法 I		◆▲	2	選択
社会科・公民科指導法 II		◆▲	2	選択
社会科・地理歴史科指導法 I		◆□	2	選択
社会科・地理歴史科指導法 II		◆□	2	選択
世界の教育と文化環境		□	2	選択
臨床心理学			2	選択
学習指導と学校図書館		□	2	選択
教育実習（幼・小）	★●	5	—	
教育実習（小・中）	●◆	5	—	
教育実習（副）	★●	3	—	
4 年 次	卒業課題研究 I		2	必修
	卒業課題研究 II		2	必修
小計(86科目)			176	

★ 幼稚園 ◆社会 ▲公民  
● 小学校 □地理歴史

## 教育学科 高（地理歴史教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育方法・技術論	1	選択
	ICT活用の理論と実践	1	選択
	教育哲学	2	選択
	教育社会学	2	選択
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	教育方法学	2	選択
	民俗学入門	2	選択
	生涯学習概論	2	選択
	日本史概論	2	必修
2年次	教育原理	2	必修
	学習・発達論	2	必修
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	日本史各論 A	2	選択
	日本史各論 B	2	選択
	外国史概論	2	必修
	外国史各論 A	2	選択
	外国史各論 B	2	選択
	西洋文化史	2	選択
	東洋文化史	2	選択
3年次	特別支援教育	1	必修
	教育課程編成論	2	必修
	道德教育の理論と方法	2	選択
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	日本の伝統文化と歴史	2	必修
	地理情報論	2	必修
	人文地理学	2	選択
	自然地理学	2	選択
	地誌学概論	2	必修
	日本と外国の歴史	2	必修
	歴史資料情報論	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 I	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 II	2	必修
	現代社会の教育課題	2	選択
	教育実習（中・高）	5	必修
	教育実習（高等学校）	3	選択
4年次	教職実践演習	2	必修
小計（44科目）		87	

■ 地理歴史の「教科及び教科の指導法に関する科目」

■ 地理歴史の「教育の基礎的理解に関する科目等」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	文化人類学	2	選択
	比較文化論	2	選択
	世界の宗教と文化	2	選択
	市民社会と法	2	選択
	図書館情報資源概論	2	選択
	図書館情報資源特論	1	選択
	2年次	地球科学	2
宇宙科学		2	選択
博物館概論		2	選択
博物館資料論		2	選択
博物館教育論		2	選択
3年次	世界の教育と文化環境	2	選択
	学習指導と学校図書館	2	選択
小計（13科目）		25	

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	国語	2	★●
	社会	2	●
	算数	2	★●
	理科	2	●
	生活	2	★●
	音楽	2	★●
	図工	2	★●
	家庭	2	●
	体育（幼・小）	2	★●
	外国語（英語）	2	●
	保育内容総論	2	★
	教育インターンシップ（幼）A	2	★
	教育インターンシップ（幼）B	2	★
	教育インターンシップ（幼）C	1	★
	教育インターンシップ（幼）D	1	★
	経済学（国際経済を含む。）	2	◆▲
	社会学	2	◆▲
	ボランティア概論	2	◆▲
	体育実技（体操）	1	▼
	体育実技（陸上）	1	▼
	体育実技（スキー）	1	▼
2年次	政治学（国際政治を含む。）	2	◆▲
	全人教育実践演習 A	2	
	全人教育実践演習 B	2	
	幼児教育課程論	2	★
	幼児理解と教育相談	2	★
	幼児指導論	2	★
	保育内容指導法（健康）	2	★
	保育内容指導法（人間関係）	2	★
	保育内容指導法（環境）	2	★

★ 幼稚園 ● 小学校 ◆ 社会

▲ 公民 ▼ 保健体育

## 教育学科 高 (地理歴史教育コース)

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2 年 次	保育内容指導法 (言葉)	★	2 選択
	保育内容指導法 (表現)	★	2 選択
	国語科指導法	●	2 選択
	社会科指導法	●	2 選択
	算数科指導法	●	2 選択
	理科指導法	●	2 選択
	生活科指導法	●	2 選択
	音楽科指導法	●	2 選択
	家庭科指導法	●	2 選択
	図工科指導法	●	2 選択
	体育科指導法	●	2 選択
	外国語 (英語) 指導法	●	2 選択
	西洋哲学思想史	◆▲	2 選択
	東洋思想史	◆▲	2 選択
	体育実技 (水泳)	▼	1 選択
	体育実技 (ダンス)	▼	1 選択
	体育実技 (球技 A)	▼	1 選択
	体育原理	▼	2 選択
	体育社会学	▼	2 選択
	生理学 (運動生理学を含む。)	▼	2 選択
	衛生学	▼	2 選択
	公衆衛生学	▼	2 選択
	学校保健	▼	2 選択
	保健体育科指導法 I	▼	2 選択
	保健体育科指導法 II	▼	2 選択
	体育測定評価		2 選択
	3 年 次	現代教育研究 I	
現代教育研究 II			2 必修
法律学 (国際法を含む。)		◆▲	2 選択
社会科・公民科指導法 I		◆▲	2 選択
社会科・公民科指導法 II		◆▲	2 選択
体育実技 (球技 B)		▼	1 選択
体育実技 (武道)		▼	1 選択
体育心理学		▼	2 選択
体育経営管理学		▼	2 選択
保健体育科指導法 III		▼	2 選択
保健体育科指導法 IV		▼	2 選択
運動部活動の指導法		▼	2 選択
臨床心理学			2 選択
運動学 (運動方法学を含む。)		▼	2 選択
栄養学		▼	2 選択
病理学		▼	2 選択
教育実習 (幼・小)		★●	5 ー
教育実習 (小・中)	●◆▼	5 ー	
教育実習 (副)	★●◆▼	3 選択	
4 年 次	卒業課題研究 I		2 必修
	卒業課題研究 II		2 必修
	小計 (77科目)	151	

★ 幼稚園 ● 小学校 ◆ 社会

▲ 公民 ▼ 保健体育

## 教育学科 高 (公民教育コース)

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育方法・技術論	1	選択
	ICT活用の理論と実践	1	選択
	教育哲学	2	選択
	教育社会学	2	選択
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	教育方法学	2	選択
	生涯学習概論	2	選択
	経済学 (国際経済を含む。)	2	選択
	社会学	2	選択
	ボランティア概論	2	選択
2年次	教育原理	2	必修
	学習・発達論	2	必修
	政治学 (国際政治を含む。)	2	選択
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	西洋哲学思想史	2	選択
	東洋思想史	2	選択
3年次	特別支援教育	1	必修
	教育課程編成論	2	必修
	道德教育の理論と方法	2	選択
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	法律学 (国際法を含む。)	2	選択
	社会科・公民科指導法 I	2	必修
	社会科・公民科指導法 II	2	必修
	現代社会の教育課題	2	選択
教育実習 (中・高)	5	必修	
教育実習 (高等学校)	3	選択	
4年次	教職実践演習	2	必修
小計(33科目)		65	

■ 社会の「教科及び教科の指導法に関する科目」

■ 社会の「教育の基礎的理解に関する科目等」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件	
1年次	国語	2	★● 選択	
	社会	2	● 選択	
	算数	2	★● 選択	
	理科	2	● 選択	
	生活	2	★● 選択	
	音楽	2	★● 選択	
	図工	2	★● 選択	
	家庭	2	● 選択	
	体育 (幼・小)	2	★● 選択	
	外国語 (英語)	2	● 選択	
	保育内容総論	2	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) A	2	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) B	2	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) C	1	★ 選択	
	教育インターンシップ (幼) D	1	★ 選択	
	文化人類学	2	□ 選択	
	民俗学入門	2	□ 選択	
	比較文化論	2	□ 選択	
	世界の宗教と文化	2	□ 選択	
	市民社会と法	2	□ 選択	
	日本史概論	2	◆□ 選択	
	体育実技 (体操)	1	▼ 選択	
	体育実技 (陸上)	1	▼ 選択	
	体育実技 (スキー)	1	▼ 選択	
	図書館情報資源概論	2	□ 選択	
	図書館情報資源特論	1	□ 選択	
	2年次	全人教育実践演習 A	2	必修
		全人教育実践演習 B	2	必修
		幼児教育課程論	2	★ 選択
幼児理解と教育相談		2	★ 選択	
幼児指導論		2	★ 選択	
保育内容指導法 (健康)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (人間関係)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (環境)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (言葉)		2	★ 選択	
保育内容指導法 (表現)		2	★ 選択	
国語科指導法		2	● 選択	
社会科指導法		2	● 選択	
算数科指導法		2	● 選択	
理科指導法		2	● 選択	
生活科指導法		2	● 選択	
音楽科指導法		2	● 選択	
家庭科指導法		2	● 選択	
図工科指導法		2	● 選択	
体育科指導法		2	● 選択	
外国語 (英語) 指導法		2	● 選択	
日本史各論 A	2	□ 選択		
日本史各論 B	2	□ 選択		
外国史概論	2	◆□ 選択		

★ 幼稚園 ● 小学校 ◆ 社会

▼ 保健体育 □ 地理歴史

## 教育学科 高 (公民教育コース)

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2 年 次	外国史各論 A	□	2 選択
	外国史各論 B	□	2 選択
	西洋文化史	□	2 選択
	東洋文化史	□	2 選択
	地理学概論	◆□	2 選択
	観光地誌論	□	2 選択
	地球科学	□	2 選択
	宇宙科学	□	2 選択
	体育実技 (水泳)	▼	1 選択
	体育実技 (ダンス)	▼	1 選択
	体育実技 (球技 A)	▼	1 選択
	体育原理	▼	2 選択
	体育社会学	▼	2 選択
	生理学 (運動生理学を含む。)	▼	2 選択
	衛生学	▼	2 選択
	公衆衛生学	▼	2 選択
	学校保健	▼	2 選択
	保健体育科指導法 I	▼	2 選択
	保健体育科指導法 II	▼	2 選択
	体育測定評価		2 選択
	博物館概論	□	2 選択
博物館資料論	□	2 選択	
博物館教育論	□	2 選択	
3 年 次	現代教育研究 I		2 必修
	現代教育研究 II		2 必修
	日本の伝統文化と歴史	□	2 選択
	地理情報論	□	2 選択
	人文地理学	□	2 選択
	自然地理学	□	2 選択
	地誌学概論	◆□	2 選択
	日本と外国の歴史	◆□	2 選択
	歴史資料情報論	□	2 選択
	社会科・地理歴史科指導法 I	◆□	2 選択
	社会科・地理歴史科指導法 II	◆□	2 選択
	世界の教育と文化環境	□	2 選択
	体育実技 (球技 B)	▼	1 選択
	保健体育科指導法 III	▼	2 選択
	保健体育科指導法 IV	▼	2 選択
	運動部活動の指導法	▼	2 選択
	体育実技 (武道)	▼	1 選択
	運動学 (運動方法学を含む。)	▼	2 選択
	体育心理学	▼	2 選択
	体育経営管理学	▼	2 選択
	栄養学	▼	2 選択
病理学	▼	2 選択	
臨床心理学		2 選択	
学習指導と学校図書館	□	2 選択	
教育実習 (幼・小)	★●	5 ー	
教育実習 (小・中)	●◆▼	5 ー	
教育実習 (副)	★●◆▼	3 ー	
4 年 次	卒業課題研究 I		2 必修
	卒業課題研究 II		2 必修
小計(101科目)		198	

★ 幼稚園 ● 小学校 ◆ 社会

▼ 保健体育 □ 地理歴史

別表第2-①

## 教育学科科目（教員免許取得コースを除く）

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
教育学科科目（免許取得コースを除く）	1年次	教育学概論	2	必修
		教職概論	2	必修
		教育の制度と経営	2	選択
		教育方法・技術論	1	選択
		ICT活用の理論と実践	1	選択
		教育哲学	2	選択
		教育社会学	2	選択
		教育心理学	2	選択
		発達心理学	2	選択
		教育方法学	2	選択
		国語	2	選択
		社会	2	選択
		算数	2	選択
		理科	2	選択
		生活	2	選択
		音楽	2	選択
		図工	2	選択
		家庭	2	選択
		体育（幼・小）	2	選択
		外国語（英語）	2	選択
		保育内容総論	2	選択
		教育インターンシップ（幼）A	2	選択
		教育インターンシップ（幼）B	2	選択
		教育インターンシップ（幼）C	1	選択
		教育インターンシップ（幼）D	1	選択
		文化人類学	2	選択
		民俗学入門	2	選択
		比較文化論	2	選択
		世界の宗教と文化	2	選択
		経済学（国際経済を含む。）	2	選択
		市民社会と法	2	選択
		社会学	2	選択
		生涯学習概論	2	選択
		ボランティア概論	2	選択
		日本史概論	2	選択
		体育実技（体操）	1	選択
体育実技（陸上）	1	選択		
体育実技（スキー）	1	選択		
図書館情報資源概論	2	選択		
図書館情報資源特論	1	選択		

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
教育学科科目（免許取得コースを除く）	2年次	教育原理	2	選択
		学習・発達論	2	選択
		政治学（国際政治を含む。）	2	選択
		全人教育実践演習 A	2	必修
		全人教育実践演習 B	2	必修
		総合的な学習の時間の理論と方法	1	選択
		特別活動の理論と方法	1	選択
		幼児教育課程論	2	選択
		幼児理解と教育相談	2	選択
		幼児指導論	2	選択
		保育内容指導法（健康）	2	選択
		保育内容指導法（人間関係）	2	選択
		保育内容指導法（環境）	2	選択
		保育内容指導法（言葉）	2	選択
		保育内容指導法（表現）	2	選択
		国語科指導法	2	選択
		社会科指導法	2	選択
		算数科指導法	2	選択
		理科指導法	2	選択
		生活科指導法	2	選択
		音楽科指導法	2	選択
		家庭科指導法	2	選択
		図工科指導法	2	選択
		体育科指導法	2	選択
		外国語（英語）指導法	2	選択
		日本史各論 A	2	選択
		日本史各論 B	2	選択
		外国史概論	2	選択
		外国史各論 A	2	選択
		外国史各論 B	2	選択
		西洋文化史	2	選択
		東洋文化史	2	選択
		地理学概論	2	選択
		観光地誌論	2	選択
		西洋哲学思想史	2	選択
		東洋思想史	2	選択
地球科学	2	選択		
宇宙科学	2	選択		
体育実技（水泳）	1	選択		
体育実技（ダンス）	1	選択		
体育実技（球技 A）	1	選択		
体育原理	2	選択		
体育社会学	2	選択		
生理学（運動生理学を含む。）	2	選択		
衛生学	2	選択		
公衆衛生学	2	選択		

別表第2-①

## 教育学科科目（教員免許取得コースを除く）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2年次	学校保健	2	選択
	保健体育科指導法Ⅰ	2	選択
	保健体育科指導法Ⅱ	2	選択
	体育測定評価	2	選択
	博物館概論	2	選択
	博物館資料論	2	選択
	博物館教育論	2	選択
3年次	特別支援教育	1	必修
	現代教育研究Ⅰ	2	必修
	現代教育研究Ⅱ	2	必修
	教育課程編成論	2	選択
	道德教育の理論と方法	2	選択
	生徒・進路指導の理論と方法	2	選択
	教育相談の理論と方法	2	選択
	法律学（国際法を含む。）	2	選択
	日本の伝統文化と歴史	2	選択
	地理情報論	2	選択
	人文地理学	2	選択
	自然地理学	2	選択
	地誌学概論	2	選択
	日本と外国の歴史	2	選択
	歴史資料情報論	2	選択
	社会科・公民科指導法Ⅰ	2	選択
	社会科・公民科指導法Ⅱ	2	選択
	社会科・地理歴史科指導法Ⅰ	2	選択
	社会科・地理歴史科指導法Ⅱ	2	選択
	世界の教育と文化環境	2	選択
	体育実技（球技B）	1	選択
	体育実技（武道）	1	選択
	運動学（運動方法学を含む。）	2	選択
	体育心理学	2	選択
	体育経営管理学	2	選択
	栄養学	2	選択
	病理学	2	選択
	保健体育科指導法Ⅲ	2	選択
	保健体育科指導法Ⅳ	2	選択
	運動部活動の指導法	2	選択
	現代社会の教育課題	2	選択
	臨床心理学	2	選択
学習指導と学校図書館	2	選択	
教育実習（幼・小）	5	—	
教育実習（小・中）	5	—	
教育実習（中・高）	5	—	
教育実習（高等学校）	3	—	
教育実習（副）	3	—	
4年次	卒業課題研究Ⅰ	2	必修
	卒業課題研究Ⅱ	2	必修
	教職実践演習	2	—
小計(134科目)		263	

教育学科科目（免許取得コースを除く）



別表第2-①  
乳幼児発達学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教育学概論	2	必修	
保育原理	2	選択	
児童学	2	選択	
子どもの保健	2	選択	
社会福祉	2	選択	
教育原理	2	選択	
保育者論	2	必修	
学習・発達論	2	選択	
保育内容総論	2	選択	
教育の制度と経営	2	選択	
教育の方法と技術	2	選択	
教育哲学	2	選択	
教育社会学	2	選択	
子どもと家庭の発達心理学	2	選択	
教育方法学	2	選択	
子どもと健康	1	選択	
子どもと環境	1	選択	
子どもと人間関係	1	選択	
子どもと言葉	1	選択	
子どもと表現	1	選択	
教育インターンシップ(幼) A	2	選択	
教育インターンシップ(幼) B	2	選択	
教育インターンシップ(幼) C	1	選択	
教育インターンシップ(幼) D	1	選択	
保育インターンシップ A	2	選択	
保育インターンシップ B	2	選択	
保育インターンシップ C	1	選択	
保育インターンシップ D	1	選択	
全人教育実践演習 A	2	必修	
全人教育実践演習 B	2	必修	
保育の心理学	2	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択	
幼児指導論	2	選択	
保育内容指導法(健康)	2	選択	
保育内容指導法(人間関係)	2	選択	
保育内容指導法(環境)	2	選択	
保育内容指導法(言葉)	2	選択	
保育内容指導法(表現)	2	選択	
乳児保育 I	2	選択	
乳児保育 II	1	選択	
子どもの遊びと育ち	2	選択	
子どもの健康と安全	1	選択	
子ども家庭福祉	2	選択	
人間関係論	2	選択	
子ども家庭福祉	2	選択	
人間関係論	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
現代教育研究 I	2	必修	
現代教育研究 II	2	必修	
保育カリキュラム論	2	選択	
子どもの食と栄養	2	選択	
社会的養護	2	選択	
社会的養護演習	1	選択	
特別な支援を必要とする子どもの理解と援助 I	1	選択	
特別な支援を必要とする子どもの理解と援助 II	1	選択	
救急処置法	2	選択	
児童文化	2	選択	
保育実践論 A	2	選択	
教育実習(幼稚園1種)	5	選択	
保育実習指導 I	2	選択	
保育実習 I	4	選択	
卒業課題研究 I	2	必修	
卒業課題研究 II	2	必修	
子育て支援演習	1	選択	
保育実践論 B	2	選択	
保育実践論 C	2	選択	
子ども家庭支援論	2	選択	
子どもと家族の福祉	2	選択	
保育・教職実践演習	2	選択	
保育実習指導 II	1	選択	
保育実習指導 III	1	選択	
保育実習 II	2	選択	
保育実習 III	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 音楽学科科目

授業科目の名称	単位	履修条件			卒業要件
		演奏・創作	ミュージカル	音楽教育	
芸術概論	2	必修	必修	必修	
音楽理論	2	必修	必修	必修	
ソルフェージュ I	2	必修	必修	必修	
ソルフェージュ II	2	必修	必修	選択	
アンサンブル I	2	選択	必修	選択	
アンサンブル II	2	選択	必修	選択	
音楽専門実技 I	2	必修	選択	選択	
音楽専門実技 II	2	必修	選択	選択	
器楽基礎 A	2	選択	選択	選択	
器楽基礎 B	2	選択	選択	選択	
声楽基礎 A	2	選択	選択	選択	
声楽基礎 B	2	選択	選択	必修	
演技・舞踊入門	2	選択	選択	選択	
演技・舞踊基礎演習	2	選択	選択	選択	
舞台技術基礎演習	2	選択	選択	選択	
上演基礎実習	4	選択	選択	選択	
世界演劇・舞踊史 I	2	選択	選択	選択	
世界演劇・舞踊史 II	2	選択	選択	選択	
鍵盤楽器基礎	2	選択	選択	必修	
和楽器指導法 (管・絃・打)	2	選択	選択	必修	
音楽文化論	2	必修	選択	選択	
和声学 I	2	必修	選択	選択	
和声学 II	2	必修	選択	選択	
アンサンブル III	2	選択	選択	選択	
アンサンブル IV	2	選択	選択	選択	
第九演奏表現 A	2	選択	選択	選択	
音楽専門実技 III	2	選択	選択	選択	
音楽専門実技 IV	2	選択	選択	選択	
器楽基礎 C	2	選択	選択	選択	
器楽基礎 D	2	選択	選択	選択	
声楽基礎 C	2	選択	選択	選択	
声楽基礎 D	2	選択	選択	選択	
ミュージカル表現 I	4	選択	必修	選択	
ミュージカル表現 II	4	選択	必修	選択	
演劇理論	2	選択	選択	選択	
芸術と社会	2	選択	選択	選択	
上演実習 A	4	選択	必修	選択	
上演実習 B	4	選択	選択	選択	
音楽科指導法 I	2	選択	選択	必修	
音楽科指導法 II	2	選択	選択	必修	
創作教育法	1	選択	選択	選択	
器楽教育法 I (管・打・合奏)	2	選択	選択	必修	
日本音楽史	2	選択	選択	選択	

授業科目の名称	単位	履修条件			卒業要件
		演奏・創作	ミュージカル	音楽教育	
民族音楽概説	2	選択	選択	選択	
作家理解と作品講読	2	選択	選択	選択	
歌唱教育法 (合唱)	2	選択	選択	必修	
指揮法	2	選択	選択	必修	
対位法	2	選択	選択	選択	
楽式論	2	選択	選択	選択	
西洋音楽史	2	選択	選択	選択	
現代音楽史	2	選択	選択	選択	
第九演奏表現 B	2	選択	選択	選択	
アンサンブル V	2	選択	選択	選択	
アンサンブル VI	2	選択	選択	選択	
演奏・創作 I	2	必修	選択	選択	
演奏・創作 II	2	必修	選択	選択	
文献資料講読	2	選択	選択	選択	
器楽 I	2	選択	選択	選択	
器楽 II	2	選択	選択	選択	
声楽 I	2	選択	選択	選択	
声楽 II	2	選択	選択	選択	
オーディション演習	2	選択	選択	選択	
劇場接遇演習 (ゲストリレーション)	2	選択	選択	選択	
音楽科指導法 III	2	選択	選択	必修	
音楽科指導法 IV	2	選択	選択	必修	
器楽教育法 II (リコーダー・弦楽器)	2	選択	選択	選択	
鑑賞教育理論 (音楽)	2	選択	選択	選択	
伴奏法	2	選択	選択	選択	
歌曲伴奏法	2	選択	選択	選択	
作曲法 I	2	必修	選択	必修	
作曲法 II	2	必修	選択	選択	
器楽 III	2	選択	選択	選択	
器楽 IV	2	選択	選択	選択	
声楽 III	2	選択	選択	選択	
声楽 IV	2	選択	選択	選択	
アンサンブル VII	2	選択	選択	選択	
アンサンブル VIII	2	選択	選択	選択	
第九演奏表現 C	2	選択	選択	選択	
音楽教育実践法	2	選択	選択	選択	
演奏・創作 III	2	選択	選択	選択	
卒業演奏・卒業創作	2	選択	選択	選択	
卒業創作・研究 A	4	選択	必修	選択	
卒業創作・研究 B	4	選択	選択	選択	
卒業論文執筆法	2	選択	選択	選択	
卒業論文	2	選択	選択	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## アート・デザイン学科科目

授業科目名称	単位	履修条件		卒業要件
		メディア表現	美術教育	
芸術概論	2	必修	必修	
アート・デザイン理論基礎 I	2	必修	選択	
アート・デザイン理論基礎 II	2	必修	選択	
アート・デザイン演習基礎 A	2	選択	選択	
アート・デザイン演習基礎 B	2	選択	選択	
アート・デザイン演習基礎 C	2	必修	選択	
美術理論	2	選択	必修	
絵画基礎	2	選択	必修	
彫刻基礎	2	選択	必修	
デザイン基礎	2	選択	必修	
工芸基礎	2	選択	必修	
映像メディア表現基礎	2	選択	必修	
ドローイング	1	選択	必修	
コンピュータ音楽基礎 A	2	選択	選択	
コンピュータ音楽基礎 B	2	選択	選択	
文化立国論	2	必修	選択	
芸術コミュニケーション論	2	必修	選択	
工芸理論	2	選択	選択	
工芸史	2	選択	選択	
西洋美術史	2	選択	必修	
日本美術史	2	選択	必修	
美術科・工芸科指導法 I	2	選択	選択	
美術科・工芸科指導法 II	2	選択	選択	
デザイン史	2	選択	選択	
音楽分析技法	2	選択	選択	
メディア・デザイン理論 A	2	選択	選択	
メディア・デザイン理論 B	2	選択	選択	
絵画 I	2	選択	選択	
絵画 II	2	選択	選択	
図法・製図	2	選択	選択	
彫刻 I	2	選択	選択	
彫刻 II	2	選択	選択	
デザイン I	2	選択	選択	
デザイン II	2	選択	選択	
工芸 I	2	選択	選択	
工芸 II	2	選択	選択	
コンピュータ・グラフィックス I	2	選択	選択	
コンピュータ・グラフィックス II	2	選択	選択	
映像メディア表現 I	2	選択	選択	
映像メディア表現 II	2	選択	選択	
空間表現 I	2	選択	選択	
空間表現 II	2	選択	選択	
総合造形 I	2	選択	選択	
総合造形 II	2	選択	選択	
コンピュータ音楽 I	2	選択	選択	
コンピュータ音楽 II	2	選択	選択	

授業科目名称	単位	履修条件		卒業要件
		メディア表現	美術教育	
共創芸術プロジェクト A	2	選択	選択	
共創芸術プロジェクト B	2	選択	選択	
Art and Sound Techniques	2	選択	選択	
Art and Sound Design A	2	選択	選択	
Art and Sound Design B	2	選択	選択	
タイポグラフィ基礎演習	2	選択	選択	
デジタルタイポグラフィ	2	選択	選択	
アート・デザイン研究 I	2	必修	必修	
アート・デザイン研究 II	2	必修	必修	
芸術表現学	2	必修	選択	
アート・デザイン理論研究 I	2	必修	選択	
アート・デザイン理論研究 II	2	必修	選択	
鑑賞教育理論 (美術)	2	選択	必修	
デザイン理論	2	選択	選択	
美術科指導法 I	2	選択	選択	
美術科指導法 II	2	選択	選択	
アート・デザイン演習 A	2	選択	選択	
アート・デザイン演習 B	2	選択	選択	
メディア・デザイン理論 C	2	選択	選択	
メディア・デザイン理論 D	2	選択	選択	
情報デザイン I	2	選択	選択	
情報デザイン II	2	選択	選択	
アート・デザイン卒業研究 I	2	必修	必修	
アート・デザイン卒業研究 II	2	必修	必修	
東洋美術史	2	選択	選択	
アートによる社会貢献	2	必修	選択	
アート・デザイン演習 C	2	選択	選択	
アート・デザイン演習 D	2	選択	選択	
エキシビション	2	選択	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## 演劇・舞踊学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
芸術概論	2	必修	
演技・舞踊入門	2	必修	
演技・舞踊基礎演習	2	必修	
舞台技術基礎演習	2	必修	
上演基礎実習	4	必修	
日本文化芸術論	2	選択	
世界演劇・舞踊史 I	2	必修	
世界演劇・舞踊史 II	2	必修	
Performing in English	1	選択	
演技・舞踊演習 I	4	選択	
演技・舞踊演習 II	4	選択	
日本演劇・舞踊史 I	2	必修	
日本演劇・舞踊史 II	2	必修	
演劇理論	2	選択	
芸術と社会	2	選択	
所作・擬闘	2	選択	
シアターデザイン基礎演習 I	2	選択	
シアターデザイン基礎演習 II	2	選択	
メイクアップ	2	選択	
上演実習 A	4	選択	
上演実習 B	4	選択	
舞台創造演習 I	4	選択	
舞台創造演習 II	4	選択	
芸術創造演習 I	4	選択	
芸術創造演習 II	4	選択	
応用演劇演習 I	2	選択	
応用演劇演習 II	2	選択	
芸術プロジェクト A	2	選択	
芸術プロジェクト B	2	選択	
演技・舞踊演習 III	4	選択	
演技・舞踊演習 IV	4	選択	
オーディション演習	2	選択	
上演実習 C	4	選択	
上演実習 D	4	選択	
劇場接遇演習 (ゲストリレーション)	2	選択	
舞台創造演習 III	4	選択	
舞台創造演習 IV	4	選択	
芸術プロジェクト C	2	選択	
芸術プロジェクト D	2	選択	
アナウンス・ナレーション研究	2	選択	
劇空間デザイン研究	2	選択	
舞台芸術研究 I	2	必修	
舞台芸術研究 II	2	必修	
芸術創造演習 III	4	選択	
芸術創造演習 IV	4	選択	
応用演劇演習 III	2	選択	
応用演劇演習 IV	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
芸術プロジェクト E	2	選択	
芸術プロジェクト F	2	選択	
卒業創作・研究 A	4	選択	
卒業創作・研究 B	4	選択	
舞台芸術研究 III	2	必修	
舞台芸術研究 IV	2	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①  
リベラルアーツ学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
リベラルアーツ基礎	1	必修	
こどもと心の科学	2	選択	
パーソナリティ心理学	2	選択	
ブリッジ講座 A	2	必修	
ブリッジ講座 B	2	選択	
現代サブカルチャー論	2	選択	
哲学の諸問題	2	選択	
倫理学の諸問題	2	選択	
宗教学の諸問題	2	選択	
社会分析基礎論	2	選択	
文学と社会	2	選択	
キリスト教思想史	2	選択	
社会心理学	2	選択	
社会調査実習 I	2	選択	
社会調査法	4	選択	
心理学研究法 I	2	選択	
心理学研究法 II	2	選択	
日本語教育概論	2	選択	
日本語教育演習	2	選択	
考現学演習	2	選択	
儀礼文化論	2	選択	
国際関係研究	2	選択	
国際貿易論	2	選択	
リベラルアーツセミナー IA	2	必修	
リベラルアーツセミナー IB	2	選択	
リベラルアーツセミナー IIA	2	必修	
リベラルアーツセミナー IIB	2	選択	
文献講読 A	2	選択	
文献講読 B	2	選択	
フィールドリサーチ	2	選択	
死生論	2	選択	
現代と倫理	2	選択	
心の哲学	2	選択	
哲学特殊研究	2	選択	
法哲学	2	選択	
宗教的人間研究	2	選択	
宗教的文化研究	2	選択	
青年・成人・老年期の心の科学	2	選択	
認知行動科学	2	選択	
言語心理学	2	選択	
児童文学	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
現代文学研究	2	選択	
比較文学	2	選択	
民俗芸能論	2	選択	
民俗文化研究	2	選択	
日本学調査実習	2	選択	
日本語指導法 I	2	選択	
日本語指導法 II	2	選択	
日本語教育実習 A	1	選択	
日本語教育実習 B	2	選択	
日本語教育実習 C	2	選択	
表象文化論	2	選択	
社会学理論	2	選択	
社会調査実習 II	2	選択	
産業・組織心理学	2	選択	
国際関係事例研究 A	2	選択	
国際関係事例研究 B	2	選択	
STEMと現代社会 I	2	選択	
STEMと現代社会 II	2	選択	
リベラルアーツセミナー III	2	選択	
リベラルアーツセミナー IV	2	選択	
リベラルアーツプロジェクト	2	必修	
専門研究 A	2	選択	
専門研究 B	2	選択	
日本思想史	2	選択	
実証的社会学研究	2	選択	
健康心理学	2	選択	
犯罪心理学	2	選択	
日本語教育現場研究	2	選択	
鑑賞批評論	2	選択	
グローバル人材論	2	選択	
環境平和論	2	選択	
STEM文献研究	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 観光学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
ツーリズム概論	4	必修	
Business Communication A	1	必修	
Business Communication B	1	必修	
Intensive English Training A	1	必修	
マネジメント基礎	2	必修	
観光地形成論	2	選択	
日本文化論	2	選択	
研究・調査の方法	1	必修	
Business Communication C	1	必修	
Business Communication D	1	必修	
Intensive English Training B	1	必修	
組織行動とリーダーシップ	2	選択	
ツーリズム・マーケティング入門	2	選択	
グローバル・ツーリズム	2	選択	
観光心理学	2	選択	
ツーリズムとSDGs	2	選択	
観光産業とテクノロジー	2	選択	
留学準備セミナー	1	必修	
English for Study Abroad	2	必修	
Intensive English Training C	1	必修	
Communicative Skills in English A	1	選択	
Communicative Skills in English B	1	選択	
Communicative Skills in English C	1	選択	
Communicative Skills in English D	1	選択	
English for Specific Purposes A	2	選択	
English for Specific Purposes B	2	選択	
English for Specific Purposes C	2	選択	
English for Specific Purposes D	2	選択	
Tourism & Management Studies A	4	選択	
Tourism & Management Studies B	4	選択	
Tourism & Management Studies C	4	選択	
Tourism & Management Studies D	4	選択	
Cross Cultural Research	1	選択	
ツーリズム最新事情	2	選択	
経営戦略とITマネジメント	2	選択	
人材マネジメント論	2	選択	
Globalization & International Management	2	選択	
宿泊事業論	2	選択	
ホスピタリティ・マネジメント	2	選択	
エアライン・オペレーション	2	選択	
MICE事業論	2	選択	
旅行事業論	2	選択	
観光行動論	2	選択	
観光政策論	2	選択	
観光開発論	2	選択	
観光・地域活性化論	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
観光データ・サイエンス	2	選択	
異文化コミュニケーション	2	選択	
観光学ゼミナール I	2	必修	
English for Business Purposes A	2	必修	
外書講読	2	選択	
企業ガバナンスとマネジメント	2	選択	
アントレプレナーシップ	2	選択	
サービス・マーケティング	2	選択	
航空事業論	2	選択	
Revenue Management	2	選択	
Financial Management for Tourism & Hospitality	2	選択	
イベント・マネジメント	2	選択	
地域ブランド論	2	選択	
デスティネーション・マネジメント	2	選択	
国際観光ビジネス実務	2	選択	
デジタル・マーケティング	2	選択	
Tourism & Sustainable Development	2	選択	
観光と国際社会	2	選択	
異文化マネジメント	2	選択	
International Cooperation	2	選択	
観光学ゼミナール II	2	選択	
English for Business Purposes B	2	必修	
Business Case Study	2	選択	
ホスピタリティ産業の戦略	2	選択	
スポーツ地域マネジメント	2	選択	
観光事業のイノベーション	2	選択	
観光学ゼミナール III	2	選択	
卒業論文	2	選択	
English for Business Purposes C	2	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## 教育学科通信教育課程ユニバーシティ・スタンダード科目

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
FYE 科目群 玉川教育・	一年次セミナー 101	2	必修	9 単位
	一年次セミナー 102	2	必修	
	健康教育	1	必修	
	音楽 I	1	必修	
	音楽 II	1	必修	
	全人教育論	2	必修	
人文 科学 科目群	歴史 (世界)	2	選択	16 単位 以上
	歴史 (日本)	2	選択	
	哲学	2	選択	
	宗教学	2	選択	
社会 科学 科目群	コミュニケーション論	2	選択	
	国際関係論	2	選択	
	心理学	2	選択	
自然 科学 科目群	生物学入門	2	選択	
	数学入門	2	選択	
	物理学入門	2	選択	
学際 科目群	環境教育	2	選択	
	健康スポーツ理論	2	選択	
言語 表現 科目群	ELF (通信101)	2	選択	
	ELF (通信102)	2	選択	
	日本語表現	2	選択	

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教職 関連 科目群	教職 (体育実技)	1	選択	学 科 科 目 と 合 わ せ て 99 単 位 以 上
	教職 (健康教育)	1	選択	
	日本国憲法	2	選択	
	情報科学入門	2	選択	
	精神保健	2	選択	
	生命と性の教育	2	選択	
	異文化理解と教育	2	選択	
	資格 関連 科目群	図書館概論	2	
生涯学習と生涯教育		2	選択	
図書館情報技術論		2	選択	
図書館サービス概論		2	選択	
情報サービス論		2	選択	
情報資源組織論		2	選択	
情報資源組織演習 A		1	選択	
情報資源組織演習 B		1	選択	
図書・図書館史		1	選択	
図書館施設論		1	選択	
情報サービス演習 A		1	選択	
情報サービス演習 B		1	選択	
博物館資料保存論		2	選択	
考古学		2	選択	
自然科学史		2	選択	
西洋美術史		2	選択	
日本美術史		2	選択	
文化史		2	選択	
社会教育課題研究		2	選択	
社会教育実習		2	選択	
社会教育経営論 A		2	選択	
社会教育経営論 B		2	選択	
生涯学習支援論 A		2	選択	
生涯学習支援論 B		2	選択	
視聴覚教育メディア論		2	選択	
情報メディアの活用		2	選択	
学校図書館メディアの構成		2	選択	
学習指導と学校図書館		2	選択	
読書と豊かな人間性		2	選択	
学校経営と学校図書館		2	選択	
図書館制度・経営論		2	選択	
児童サービス論		2	選択	
博物館経営論	2	選択		
博物館展示論	2	選択		
博物館情報・メディア論	2	選択		
博物館実習	3	選択		

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 教育学科通信教育課程科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教育学概論	2	必修	
教育原理	2	選択	
教育哲学	2	選択	
教職概論	2	選択	
教育の制度と経営	2	選択	
教育社会学	2	選択	
学習・発達論	2	選択	
教育心理学	2	選択	
発達心理学	2	選択	
ICT活用の理論と実践	1	選択	
教育方法学	2	選択	
教育方法・技術論	1	選択	
保育内容総論	2	選択	
国語	2	選択	
社会	2	選択	
算数	2	選択	
理科	2	選択	
生活	2	選択	
音楽	2	選択	
図工	2	選択	
家庭	2	選択	
体育（幼・小）	2	選択	
外国語（英語）	2	選択	
日本史概論	2	選択	
民俗学入門	2	選択	
社会学	2	選択	
経済学（国際経済を含む。）	2	選択	
ボランティア概論	2	選択	
生涯学習概論	2	選択	
文化人類学	2	選択	
比較文化論	2	選択	
市民社会と法	2	選択	
世界の宗教と文化	2	選択	
図書館情報資源概論	2	選択	
図書館情報資源特論	1	選択	
教育課程編成論	2	選択	
道德教育の理論と方法	2	選択	
総合的な学習の時間の理論と方法	1	選択	
特別活動の理論と方法	1	選択	
生徒・進路指導の理論と方法	2	選択	
教育相談の理論と方法	2	選択	
幼児教育課程論	2	選択	
幼児指導論	2	選択	
保育内容指導法（健康）	2	選択	
保育内容指導法（人間関係）	2	選択	
保育内容指導法（環境）	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
保育内容指導法（言葉）	2	選択	
保育内容指導法（表現）	2	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択	
国語科指導法	2	選択	
社会科指導法	2	選択	
算数科指導法	2	選択	
理科指導法	2	選択	
生活科指導法	2	選択	
音楽科指導法	2	選択	
図工科指導法	2	選択	
体育科指導法	2	選択	
家庭科指導法	2	選択	
外国語（英語）指導法	2	選択	
外国史概論	2	選択	
地理学概論	2	選択	
政治学（国際政治を含む。）	2	選択	
西洋哲学思想史	2	選択	
東洋思想史	2	選択	
日本史各論 A	2	選択	
日本史各論 B	2	選択	
外国史各論 A	2	選択	
外国史各論 B	2	選択	
西洋文化史	2	選択	
東洋文化史	2	選択	
観光地誌論	2	選択	
博物館概論	2	選択	
博物館資料論	2	選択	
博物館教育論	2	選択	
地球科学	2	選択	
宇宙科学	2	選択	
教育実践演習 A	2	必修	
現代教育研究 I	2	必修	
特別支援教育	1	選択	
地誌学概論	2	選択	
法律学（国際法を含む。）	2	選択	
地理情報論	2	選択	
人文地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
日本と外国の歴史	2	選択	
歴史資料情報論	2	選択	
社会科・公民科指導法 I	2	選択	
社会科・公民科指導法 II	2	選択	
社会科・地理歴史科指導法 I	2	選択	
社会科・地理歴史科指導法 II	2	選択	
現代社会の教育課題	2	選択	
臨床心理学	2	選択	



## 別表第2-①

## 教育学科通信教育課程科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
日本の伝統文化と歴史	2	選択	
世界の教育と文化環境	2	選択	
教育実践演習 B	2	必修	
現代教育研究 II	2	必修	
卒業課題研究	4	選択	
教育実習 (幼・小)	5	選択	
教育実習 (小・中)	5	選択	
教育実習 (中・高)	5	選択	
教育実習 (高)	3	選択	
教育実習 (副) (幼・小)	3	選択	
教育実習 (副) (小・中)	3	選択	
教育実習 (副) (中・高)	3	選択	
教職実践演習	2	選択	
代数学 I	2	選択	
代数学 II	2	選択	
幾何学 I	2	選択	
幾何学 II	2	選択	
解析学 I	2	選択	
解析学 II	2	選択	
解析学 III	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
コンピュータ	2	選択	
数学科指導法 I	2	選択	
数学科指導法 II	2	選択	
数学科指導法 III	2	選択	
数学科指導法 IV	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

教育学科通信教育課程（幼稚園教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教育原理	2	必修
	教育哲学	2	選択
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育社会学	2	選択
	学習・発達論	2	必修
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	ICT活用の理論と実践	1	必修
	教育方法学	2	選択
	教育方法・技術論	1	必修
	保育内容総論	2	必修
	国語	2	選択
	算数	2	選択
	生活	2	選択
	音楽	2	選択
	図工	2	選択
	体育（幼・小）	2	選択
生涯学習概論	2	選択	
2年次	道德教育の理論と方法	2	選択
	幼児教育課程論	2	必修
	幼児指導論	2	必修
	保育内容指導法（健康）	2	必修
	保育内容指導法（人間関係）	2	必修
	保育内容指導法（環境）	2	必修
	保育内容指導法（言葉）	2	必修
	保育内容指導法（表現）	2	必修
	幼児理解と教育相談	2	必修
3年次	特別支援教育	1	必修
4年次	教育実習（幼・小）	5	必修
	教育実習（副）（幼・小）	3	必修
	教職実践演習	2	必修
小計(33科目)		67	

幼稚園の「領域及び保育の指導法に関する科目」  
 幼稚園の「教育の基礎的理解に関する科目」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	社会	2	選択
	理科	2	選択
	家庭	2	選択
	外国語（英語）	2	選択
	日本史概論	2	選択
	民俗学入門	2	選択
	社会学	2	選択
	経済学（国際経済を含む。）	2	選択
	ボランティア概論	2	選択
	文化人類学	2	選択
	比較文化論	2	選択
	市民社会と法	2	選択
	世界の宗教と文化	2	選択
	図書館情報資源概論	2	選択
	図書館情報資源特論	1	選択
	代数学 I	2	選択
	解析学 I	2	選択
解析学 II	2	選択	
幼稚園教育コース以外の科目	教育課程編成論	2	選択
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	選択
	特別活動の理論と方法	1	選択
	生徒・進路指導の理論と方法	2	選択
	教育相談の理論と方法	2	選択
	国語科指導法	2	選択
	社会科指導法	2	選択
	算数科指導法	2	選択
	理科指導法	2	選択
	生活科指導法	2	選択
	音楽科指導法	2	選択
	図工科指導法	2	選択
	体育科指導法	2	選択
	家庭科指導法	2	選択
	外国語（英語）指導法	2	選択
	外国史概論	2	選択
	地理学概論	2	選択
	政治学（国際政治を含む。）	2	選択
	西洋哲学思想史	2	選択
	東洋思想史	2	選択
	日本史各論 A	2	選択
	日本史各論 B	2	選択
	外国史各論 A	2	選択
外国史各論 B	2	選択	
西洋文化史	2	選択	
東洋文化史	2	選択	
観光地誌論	2	選択	

● 小学校 □ 地理歴史  
 ◆ 社会 ▲ 公民

## 教育学科通信教育課程（幼稚園教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2年次	博物館概論 □	2	選択
	博物館資料論 □	2	選択
	博物館教育論 □	2	選択
	地球科学 □	2	選択
	宇宙科学 □	2	選択
	確率統計学 I	2	選択
	確率統計学 II	2	選択
	幾何学 I	2	選択
	解析学 III	2	選択
	数学科指導法 I	2	選択
	数学科指導法 II	2	選択
3年次	教育実践演習 A	2	必修
	現代教育研究 I	2	必修
	地誌学概論 ◆□	2	選択
	法学(国際法を含む。)	2	選択
	地理情報論 □	2	選択
	人文地理学 □	2	選択
	自然地理学 □	2	選択
	日本と外国の歴史 ◆□	2	選択
	歴史資料情報論 □	2	選択
	社会科・公民科指導法 I ◆▲	2	選択
	社会科・公民科指導法 II ◆▲	2	選択
	社会科・地理歴史科指導法 I □◆	2	選択
	社会科・地理歴史科指導法 II □◆	2	選択
	現代社会の教育課題	2	選択
	臨床心理学	2	選択
	日本の伝統文化と歴史 □	2	選択
	世界の教育と文化環境 □	2	選択
代数学 II	2	選択	
数学科指導法 III	2	選択	
数学科指導法 IV	2	選択	
4年次	教育実践演習 B	2	必修
	現代教育研究 II	2	必修
	卒業課題研究	4	選択
	教育実習(小・中) ●◆	5	—
	教育実習(中・高) ◆▲□	5	—
	教育実習(高) ▲□	3	—
	教育実習(副)(小・中) ●◆	3	—
	教育実習(副)(中・高) ◆	3	—
	幾何学 II	2	選択
	コンピュータ	2	選択
小計(86科目)		180	

● 小学校 □地理歴史

◆ 社会 ▲公民

教育学科通信教育課程（小学校教育コース）

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件
小学校教育コース科目	1年次	教育学概論	2	必修
		教育原理	2	必修
		教育哲学	2	選択
		教職概論	2	必修
		教育の制度と経営	2	必修
		教育社会学	2	選択
		学習・発達論	2	必修
		教育心理学	2	選択
		発達心理学	2	選択
		ICT活用の理論と実践	1	必修
		教育方法学	2	選択
		教育方法・技術論	1	必修
		国語	2	選択
		社会	2	選択
		算数	2	選択
		理科	2	選択
		生活	2	選択
		音楽	2	選択
		図工	2	選択
	家庭	2	選択	
	体育(幼・小)	2	選択	
	外国語(英語)	2	選択	
	生涯学習概論	2	選択	
	2年次	教育課程編成論	2	必修
		道徳教育の理論と方法	2	必修
		総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
		特別活動の理論と方法	1	必修
		生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
		教育相談の理論と方法	2	必修
		国語科指導法	2	必修
		社会科指導法	2	必修
		算数科指導法	2	必修
		理科指導法	2	必修
		生活科指導法	2	必修
		音楽科指導法	2	必修
		図工科指導法	2	必修
		体育科指導法	2	必修
		家庭科指導法	2	必修
	外国語(英語)指導法	2	必修	
	3年次	特別支援教育	1	必修
		現代社会の教育課題	2	選択
	4年次	教育実習(幼・小)	5	必修
		教育実習(小・中)	5	必修
		教育実習(副)(幼・小)	3	必修
		教育実習(副)(小・中)	3	必修
		教職実践演習	2	必修
小計(46科目)			95	

小学校の「教科及び教科の指導法に関する科目」

小学校の「教育の基礎的理解に関する科目」

	開設年次	授業科目名	単位	履修条件	
小学校教育コース以外の科目	1年次	保育内容総論	2	★	選択
		日本史概論	2	◆□	選択
		民俗学入門	2	◆□	選択
		社会学	2	◆▲	選択
		経済学(国際経済を含む。)	2	◆▲	選択
		ボランティア概論	2	◆▲	選択
		文化人類学	2	□	選択
		比較文化論	2	□	選択
		市民社会と法	2	□	選択
		世界の宗教と文化	2	□	選択
		図書館情報資源特論	1	□	選択
		図書館情報資源概論	2	□	選択
		代数学 I	2		選択
	解析学 I	2		選択	
	解析学 II	2		選択	
	2年次	幼児教育課程論	2	★	選択
		幼児指導論	2	★	選択
		保育内容指導法(健康)	2	★	選択
		保育内容指導法(人間関係)	2	★	選択
		保育内容指導法(環境)	2	★	選択
		保育内容指導法(言葉)	2	★	選択
		保育内容指導法(表現)	2	★	選択
		幼児理解と教育相談	2	★	選択
		外国史概論	2	◆□	選択
		地理学概論	2	◆□	選択
		政治学(国際政治を含む。)	2	◆▲	選択
		西洋哲学思想史	2	◆▲	選択
		東洋思想史	2	◆▲	選択
		日本史各論 A	2	□	選択
		日本史各論 B	2	□	選択
		外国史各論 A	2	□	選択
		外国史各論 B	2	□	選択
西洋文化史		2	□	選択	
東洋文化史		2	□	選択	
観光地誌論	2	□	選択		
博物館概論	2	□	選択		
博物館資料論	2	□	選択		
博物館教育論	2	□	選択		
地球科学	2	□	選択		
宇宙科学	2	□	選択		
確率統計学 I	2		選択		
確率統計学 II	2		選択		
幾何学 I	2		選択		
解析学 III	2		選択		
数学科指導法 I	2		選択		
数学科指導法 II	2		選択		

★ 幼稚園 □地理歴史

◆ 社会 ▲公民

## 教育学科通信教育課程（小学校教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
3 年次	教育実践演習 A	2	必修
	現代教育研究 I	2	必修
	地誌学概論 ◆□	2	選択
	法律学(国際法を含む。) ◆▲	2	選択
	地理情報論 □	2	選択
	人文地理学 □	2	選択
	自然地理学 □	2	選択
	日本と外国の歴史 ◆□	2	選択
	歴史資料情報論 □	2	選択
	社会科・公民科指導演 I ◆▲	2	選択
	社会科・公民科指導演 II ◆▲	2	選択
	社会科・地理歴史科指導演 I ◆□	2	選択
	社会科・地理歴史科指導演 II ◆□	2	選択
	臨床心理学	2	選択
	日本の伝統文化と歴史 □	2	選択
	世界の教育と文化環境 □	2	選択
	代数学 II	2	選択
	数学科指導演 III	2	選択
	数学科指導演 IV	2	選択
4 年次	教育実践演習 B	2	必修
	現代教育研究 II	2	必修
	卒業課題研究	4	選択
	教育実習(中・高) ◆▲□	5	—
	教育実習(高) ▲□	3	—
	教育実習(副)(中・高) ◆	3	—
	幾何学 II	2	選択
	コンピュータ	2	選択
小計(73科目)		152	

★ 幼稚園 □地理歴史

◆ 社会 ▲公民

教育学科通信教育課程（社会科教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教育原理	2	必修
	教育哲学	2	選択
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育社会学	2	選択
	学習・発達論	2	必修
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	ICT活用の理論と実践	1	必修
	教育方法学	2	選択
	教育方法・技術論	1	必修
	日本史概論	2	必修
	民俗学入門	2	選択
	社会学	2	選択
	経済学(国際経済を含む。)	2	選択
	ボランティア概論	2	選択
生涯学習概論	2	選択	
2年次	教育課程編成論	2	必修
	道德教育の理論と方法	2	必修
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	外国史概論	2	必修
	地理学概論	2	必修
	政治学（国際政治を含む。)	2	選択
	西洋哲学思想史	2	選択
東洋思想史	2	選択	
3年次	特別支援教育	1	必修
	地誌学概論	2	必修
	法学(国際法を含む。)	2	選択
	日本と外国の歴史	2	選択
	社会科・公民科指導法 I	2	必修
	社会科・公民科指導法 II	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 I	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 II	2	必修
現代社会の教育課題	2	選択	
4年次	教育実習（小・中）	5	必修
	教育実習（中・高）	5	必修
	教育実習（副）（小・中）	3	必修
	教育実習（副）（中・高）	3	必修
	教職実践演習	2	必修
小計（43科目）		89	

社会の「教科及び教科の指導法に関する科目」

社会の「教育の基礎的理解に関する科目等」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件	
1年次	保育内容総論	2	★ 選択	
	国語	2	★● 選択	
	社会	2	● 選択	
	算数	2	★● 選択	
	理科	2	● 選択	
	生活	2	★● 選択	
	音楽	2	★● 選択	
	図工	2	★● 選択	
	家庭	2	● 選択	
	体育(幼・小)	2	★● 選択	
	外国語(英語)	2	● 選択	
	文化人類学	2	□ 選択	
	比較文化論	2	□ 選択	
	市民社会と法	2	□ 選択	
	世界の宗教と文化	2	□ 選択	
	図書館情報資源特論	1	□ 選択	
	図書館情報資源概論	2	□ 選択	
	代数学 I	2	□ 選択	
	解析学 I	2	□ 選択	
	解析学 II	2	□ 選択	
	2年次	幼児教育課程論	2	★ 選択
		幼児指導論	2	★ 選択
保育内容指導法（健康）		2	★ 選択	
保育内容指導法（人間関係）		2	★ 選択	
保育内容指導法（環境）		2	★ 選択	
保育内容指導法（言葉）		2	★ 選択	
保育内容指導法（表現）		2	★ 選択	
幼児理解と教育相談		2	★ 選択	
国語科指導法		2	● 選択	
社会科指導法		2	● 選択	
算数科指導法		2	● 選択	
理科指導法		2	● 選択	
生活科指導法		2	● 選択	
音楽科指導法		2	● 選択	
図工科指導法		2	● 選択	
体育科指導法		2	● 選択	
家庭科指導法		2	● 選択	
外国語(英語)指導法		2	● 選択	
日本史各論 A		2	□ 選択	
日本史各論 B		2	□ 選択	
外国史各論 A		2	□ 選択	
外国史各論 B		2	□ 選択	
西洋文化史	2	□ 選択		
東洋文化史	2	□ 選択		
観光地誌論	2	□ 選択		
博物館概論	2	□ 選択		
博物館資料論	2	□ 選択		

★ 幼稚園

● 小学校

▲ 公民

□ 地理歴史

## 教育学科通信教育課程（社会科教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2年次	博物館教育論 □	2	選択
	地球科学 □	2	選択
	宇宙科学 □	2	選択
	確率統計学 I	2	選択
	確率統計学 II	2	選択
	幾何学 I	2	選択
	解析学 III	2	選択
	数学科指導法 I	2	選択
数学科指導法 II	2	選択	
3年次	教育実践演習 A	2	必修
	現代教育研究 I	2	必修
	地理情報論 □	2	選択
	人文地理学 □	2	選択
	自然地理学 □	2	選択
	歴史資料情報論 □	2	選択
	臨床心理学	2	選択
	日本の伝統文化と歴史 □	2	選択
	世界の教育と文化環境 □	2	選択
	代数学 II	2	選択
	数学科指導法 III	2	選択
数学科指導法 IV	2	選択	
4年次	教育実践演習 B	2	必修
	現代教育研究 II	2	必修
	卒業課題研究	4	選択
	教育実習（幼・小） ★●	5	—
	教育実習（高） ▲□	3	—
	教育実習（副）（幼・小） ★●	3	—
	幾何学 II	2	選択
コンピュータ	2	選択	
小計（76科目）		158	

★ 幼稚園

● 小学校

▲ 公民

□ 地理歴史

## 教育学科通信教育課程（地理歴史教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教育原理	2	必修
	教育哲学	2	選択
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育社会学	2	選択
	学習・発達論	2	必修
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	ICT活用の理論と実践	1	必修
	教育方法学	2	選択
	教育方法・技術論	1	必修
	日本史概論	2	必修
	民俗学入門	2	選択
	生涯学習概論	2	選択
2年次	教育課程編成論	2	必修
	道徳教育の理論と方法	2	選択
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	外国史概論	2	必修
	地理学概論	2	必修
	日本史各論 A	2	選択
	日本史各論 B	2	選択
	外国史各論 A	2	選択
	外国史各論 B	2	選択
	西洋文化史	2	選択
	東洋文化史	2	選択
	観光地誌論	2	選択
3年次	特別支援教育	1	必修
	地誌学概論	2	必修
	地理情報論	2	必修
	人文地理学	2	選択
	自然地理学	2	選択
	日本と外国の歴史	2	必修
	歴史資料情報論	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 I	2	必修
	社会科・地理歴史科指導法 II	2	必修
	現代社会の教育課題	2	選択
日本の伝統文化と歴史	2	必修	
4年次	教育実習（中・高）	5	必修
	教育実習（高）	3	必修
	教育実習（副）（中・高）	3	必修
	教職実践演習	2	必修
小計（45科目）		90	

地理歴史の「教科及び教科の指導法に関する科目」

地理歴史の「教育の基礎的理解に関する科目等」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	文化人類学	2	選択
	比較文化論	2	選択
	市民社会と法	2	選択
	世界の宗教と文化	2	選択
	図書館情報資源特論	1	選択
	図書館情報資源概論	2	選択
2年次	博物館概論	2	選択
	博物館資料論	2	選択
	博物館教育論	2	選択
	地球科学	2	選択
	宇宙科学	2	選択
3年次	世界の教育と文化環境	2	選択
小計（12科目）		23	

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	保育内容総論	2	★ 選択
	国語	2	★● 選択
	社会	2	● 選択
	算数	2	★● 選択
	理科	2	● 選択
	生活	2	★● 選択
	音楽	2	★● 選択
	図工	2	★● 選択
	家庭	2	● 選択
	体育（幼・小）	2	★● 選択
	外国語（英語）	2	● 選択
	社会学	2	◆▲ 選択
	経済学（国際経済を含む。）	2	◆▲ 選択
	ボランティア概論	2	◆▲ 選択
	代数学 I	2	選択
	解析学 I	2	選択
	解析学 II	2	選択

★幼稚園 ◆社会

●小学校 ▲公民



教育学科通信教育課程（地理歴史教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2 年次	幼児教育課程論 ★	2	選択
	幼児指導論 ★	2	選択
	保育内容指導法（健康） ★	2	選択
	保育内容指導法（人間関係） ★	2	選択
	保育内容指導法（環境） ★	2	選択
	保育内容指導法（言葉） ★	2	選択
	保育内容指導法（表現） ★	2	選択
	幼児理解と教育相談 ★	2	選択
	国語科指導法 ●	2	選択
	社会科指導法 ●	2	選択
	算数科指導法 ●	2	選択
	理科指導法 ●	2	選択
	生活科指導法 ●	2	選択
	音楽科指導法 ●	2	選択
	図工科指導法 ●	2	選択
	体育科指導法 ●	2	選択
	家庭科指導法 ●	2	選択
	外国語（英語）指導法 ●	2	選択
	政治学（国際政治を含む。） ◆▲	2	選択
	西洋哲学思想史 ◆▲	2	選択
	東洋思想史 ◆▲	2	選択
	確率統計学Ⅰ	2	選択
	確率統計学Ⅱ	2	選択
	幾何学Ⅰ	2	選択
	解析学Ⅲ	2	選択
	数学科指導法Ⅰ	2	選択
	数学科指導法Ⅱ	2	選択
	3 年次	教育実践演習 A	2
現代教育研究Ⅰ		2	必修
法律学(国際法を含む。) ◆▲		2	選択
社会科・公民科指導法Ⅰ ◆▲		2	選択
社会科・公民科指導法Ⅱ ◆▲		2	選択
臨床心理学		2	選択
代数学Ⅱ		2	選択
数学科指導法Ⅲ		2	選択
数学科指導法Ⅳ	2	選択	
4 年次	教育実践演習 B	2	必修
	現代教育研究Ⅱ	2	必修
	卒業課題研究	4	選択
	教育実習（幼・小） ★●	5	—
	教育実習（小・中） ●◆	5	—
	教育実習（副）（幼・小） ★●	3	—
	教育実習（副）（小・中） ●◆	3	—
	幾何学Ⅱ	2	選択
コンピュータ	2	選択	
小計（62科目）		134	

★幼稚園 ◆社会

●小学校 ▲公民

教育学科通信教育課程（公民教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教育原理	2	必修
	教育哲学	2	選択
	教職概論	2	必修
	教育の制度と経営	2	必修
	教育社会学	2	選択
	学習・発達論	2	必修
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	ICT活用の理論と実践	1	必修
	教育方法学	2	選択
	教育方法・技術論	1	必修
	社会学	2	選択
	経済学(国際経済を含む。)	2	選択
	ボランティア概論	2	選択
	生涯学習概論	2	選択
2年次	教育課程編成論	2	必修
	道徳教育の理論と方法	2	選択
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	必修
	特別活動の理論と方法	1	必修
	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
	教育相談の理論と方法	2	必修
	政治学(国際政治を含む。)	2	選択
	西洋哲学思想史	2	選択
東洋思想史	2	選択	
3年次	特別支援教育	1	必修
	法律学(国際法を含む。)	2	選択
	社会科・公民科指導法 I	2	必修
	社会科・公民科指導法 II	2	必修
	現代社会の教育課題	2	選択
4年次	教育実習(中・高)	5	必修
	教育実習(高)	3	必修
	教育実習(副)(中・高)	3	必修
	教職実践演習	2	必修
小計(34科目)		68	

社会の「教科及び教科の指導法に関する科目」

社会の「教育の基礎的理解に関する科目等」

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	保育内容総論	2	★ 選択
	国語	2	★● 選択
	社会	2	● 選択
	算数	2	★● 選択
	理科	2	● 選択
	生活	2	★● 選択
	音楽	2	★● 選択
	図工	2	★● 選択
	家庭	2	● 選択
	体育(幼・小)	2	★● 選択
	外国語(英語)	2	● 選択
	日本史概論	2	◆□ 選択
	民俗学入門	2	◆□ 選択
	文化人類学	2	□ 選択
	比較文化論	2	□ 選択
	市民社会と法	2	□ 選択
	世界の宗教と文化	2	□ 選択
	図書館情報資源特論	1	□ 選択
	図書館情報資源概論	2	□ 選択
	代数学 I	2	□ 選択
解析学 I	2	□ 選択	
解析学 II	2	□ 選択	
2年次	公民教育コース以外の科目		
	幼児教育課程論	2	★ 選択
	幼児指導論	2	★ 選択
	保育内容指導法(健康)	2	★ 選択
	保育内容指導法(人間関係)	2	★ 選択
	保育内容指導法(環境)	2	★ 選択
	保育内容指導法(言葉)	2	★ 選択
	保育内容指導法(表現)	2	★ 選択
	幼児理解と教育相談	2	★ 選択
	国語科指導法	2	● 選択
	社会科指導法	2	● 選択
	算数科指導法	2	● 選択
	理科指導法	2	● 選択
	生活科指導法	2	● 選択
	音楽科指導法	2	● 選択
	図工科指導法	2	● 選択
	体育科指導法	2	● 選択
	家庭科指導法	2	● 選択
	外国語(英語)指導法	2	● 選択
	外国史概論	2	◆□ 選択
	地理学概論	2	◆□ 選択
	日本史各論 A	2	□ 選択
	日本史各論 B	2	□ 選択
	外国史各論 A	2	□ 選択
	外国史各論 B	2	□ 選択
西洋文化史	2	□ 選択	
東洋文化史	2	□ 選択	

★幼稚園 ◆社会

●小学校 □地理歴史

教育学科通信教育課程（公民教育コース）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2年次	観光地誌論 □	2	選択
	博物館概論 □	2	選択
	博物館資料論 □	2	選択
	博物館教育論 □	2	選択
	地球科学 □	2	選択
	宇宙科学 □	2	選択
	確率統計学Ⅰ	2	選択
	確率統計学Ⅱ	2	選択
	幾何学Ⅰ	2	選択
	解析学Ⅲ	2	選択
	数学科指導法Ⅰ	2	選択
	数学科指導法Ⅱ	2	選択
	3年次	教育実践演習 A	2
現代教育研究Ⅰ		2	必修
地誌学概論 ◆□		2	選択
地理情報論 □		2	選択
人文地理学 □		2	選択
自然地理学 □		2	選択
日本と外国の歴史 ◆□		2	選択
歴史資料情報論 □		2	選択
社会科・地理歴史科指導法Ⅰ ◆□		2	選択
社会科・地理歴史科指導法Ⅱ ◆□		2	選択
臨床心理学		2	選択
日本の伝統文化と歴史 □		2	選択
世界の教育と文化環境 □		2	選択
代数学Ⅱ		2	選択
数学科指導法Ⅲ		2	選択
数学科指導法Ⅳ	2	選択	
4年次	教育実践演習 B	2	必修
	現代教育研究Ⅱ	2	必修
	卒業課題研究	4	選択
	教育実習（幼・小） ★●	5	—
	教育実習（小・中） ●◆	5	—
	教育実習（副）（幼・小） ★●	3	—
	教育実習（副）（小・中） ●◆	3	—
	幾何学Ⅱ	2	選択
コンピュータ	2	選択	
小計（85科目）		179	

★幼稚園 ◆社会  
●小学校 □地理歴史

公民教育コース以外の科目

教育学科通信教育課程（教員免許取得コースを除く）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
1年次	教育学概論	2	必修
	教育原理	2	選択
	教育哲学	2	選択
	教職概論	2	選択
	教育の制度と経営	2	選択
	教育社会学	2	選択
	学習・発達論	2	選択
	教育心理学	2	選択
	発達心理学	2	選択
	ICT活用の理論と実践	1	選択
	教育方法学	2	選択
	教育方法学・技術論	1	選択
	保育内容総論	2	選択
	国語	2	選択
	社会	2	選択
	算数	2	選択
	理科	2	選択
	生活	2	選択
	音楽	2	選択
	図工	2	選択
	家庭	2	選択
	体育	2	選択
	外国語（英語）	2	選択
	日本史概論	2	選択
	民俗学入門	2	選択
	社会学	2	選択
	経済学（国際経済を含む。）	2	選択
	ボランティア概論	2	選択
	生涯学習概論	2	選択
	文化人類学	2	選択
	比較文化論	2	選択
	市民社会と法	2	選択
	世界の宗教と文化	2	選択
	図書館情報資源特論	1	選択
図書館情報資源概論	2	選択	
代数学 I	2	選択	
解析学 I	2	選択	
解析学 II	2	選択	

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
2年次	教育課程編成論	2	選択
	道德教育の理論と方法	2	選択
	総合的な学習の時間の理論と方法	1	選択
	特別活動の理論と方法	1	選択
	生徒・進路指導の理論と方法	2	選択
	教育相談の理論と方法	2	選択
	幼児教育課程論	2	選択
	幼児指導論	2	選択
	保育内容指導法（健康）	2	選択
	保育内容指導法（人間関係）	2	選択
	保育内容指導法（環境）	2	選択
	保育内容指導法（言葉）	2	選択
	保育内容指導法（表現）	2	選択
	幼児理解と教育相談	2	選択
	国語科指導法	2	選択
	社会科指導法	2	選択
	算数科指導法	2	選択
	理科指導法	2	選択
	生活科指導法	2	選択
	音楽科指導法	2	選択
	家庭科指導法	2	選択
	図工科指導法	2	選択
	体育科指導法	2	選択
	外国語（英語）指導法	2	選択
	外国史概論	2	選択
	地理学概論	2	選択
	政治学（国際政治を含む。）	2	選択
	西洋哲学思想史	2	選択
	東洋思想史	2	選択
	日本史各論 A	2	選択
	日本史各論 B	2	選択
	外国史各論 A	2	選択
	外国史各論 B	2	選択
	西洋文化史	2	選択
東洋文化史	2	選択	
観光地誌論	2	選択	
博物館概論	2	選択	
博物館資料論	2	選択	
博物館教育論	2	選択	
地球科学	2	選択	
宇宙科学	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
幾何学 I	2	選択	
解析学 III	2	選択	
数学科指導法 I	2	選択	
数学科指導法 II	2	選択	

教育学科科目（教員免許取得コースを除く）

教育学科科目（教員免許取得コースを除く）

教育学科通信教育課程（教員免許取得コースを除く）

開設年次	授業科目名	単位	履修条件
3 年次	教育実践演習 A	2	必修
	現代教育研究 I	2	必修
	特別支援教育	1	選択
	地誌学概論	2	選択
	法律学(国際法を含む。)	2	選択
	地理情報論	2	選択
	人文地理学	2	選択
	自然地理学	2	選択
	日本と外国の歴史	2	選択
	歴史資料情報論	2	選択
	社会科・公民科指導法 I	2	選択
	社会科・公民科指導法 II	2	選択
	社会科・地理歴史指導法 I	2	選択
	社会科・地理歴史指導法 II	2	選択
	現代社会の教育課題	2	選択
	臨床心理学	2	選択
	日本の伝統文化と歴史	2	選択
	世界の教育と文化環境	2	選択
	代数学 II	2	選択
	数学科指導法 III	2	選択
数学科指導法 IV	2	選択	
4 年次	教育実践演習 B	2	必修
	現代教育研究 II	2	必修
	卒業課題研究	4	—
	教育実習 (幼・小)	5	—
	教育実習 (小・中)	5	—
	教育実習 (中・高)	5	—
	教育実習 (高)	3	—
	教育実習 (副) (幼・小)	3	—
	教育実習 (副) (小・中)	3	—
	教育実習 (副) (中・高)	3	—
	教職実践演習	2	—
	幾何学 II	2	選択
	コンピュータ	2	選択
合計 (119科目)		247	

教育学科科目（教員免許取得コースを除く）

## 別表第2-②

## 芸術専攻科芸術専攻

授業科目	単位数	備考
A群《共通必修科目》		
芸術専攻演習 I	2	
芸術専攻演習 II	2	
修了研究	6	
B群《共通選択科目》		
芸術特別研究 A (音楽系)	2	
芸術特別研究 B (舞台美術系)	2	
芸術特別研究 C (美術系)	2	
芸術教育研究	2	
C群《選択必修》		
芸術専門研究 I	4	
芸術専門研究 II	4	
専門特殊研究 I	4	
専門特殊研究 II	4	
実技専門研究 I (音楽)	8	
実技専門研究 II (音楽)	8	
実技専門研究 I (美術)	8	
実技専門研究 II (美術)	8	
実技専門研究 I (舞台芸術)	8	
実技専門研究 II (舞台芸術)	8	

## 履修方法

- (1) A群《共通必修科目》を履修し、10単位を修得しなければならない。
- (2) B群《共通選択科目》より科目を選択し、4単位を修得しなければならない。
- (3) C群《選択必修科目》より各々の専門分野に従い16単位を修得しなければならない。
- (4) 本専攻科を修了するには、上記第1項、第2項及び第3項の要件を満たし、合計30単位以上を修得しなければならない。

別表第3-①

学部	学科	免許状の種類	教科
文学部	国語教育学科	中学校教諭1種免許状	国語
		高等学校教諭1種免許状	国語
	英語教育学科	中学校教諭1種免許状	英語
		高等学校教諭1種免許状	英語
農学部	生産農学科	中学校教諭1種免許状	理科
		高等学校教諭1種免許状	理科・農業
工学部	情報通信工学科	中学校教諭1種免許状	数学
		高等学校教諭1種免許状	数学・工業
	ソフトウェアサイエンス学科	中学校教諭1種免許状	数学
		高等学校教諭1種免許状	数学・情報
	マネジメントサイエンス学科	中学校教諭1種免許状	数学
		高等学校教諭1種免許状	数学
	デザインサイエンス学科	中学校教諭1種免許状	数学・技術
		高等学校教諭1種免許状	数学・工業
教育学部	教育学科	幼稚園教諭1種免許状	
		小学校教諭1種免許状	
		中学校教諭1種免許状	社会・保健体育
		高等学校教諭1種免許状	地理歴史・公民・保健体育
	乳幼児発達学科	幼稚園教諭1種免許状	
芸術学部	音楽学科	中学校教諭1種免許状	音楽
		高等学校教諭1種免許状	音楽
	アート・デザイン学科	中学校教諭1種免許状	美術
		高等学校教諭1種免許状	美術・工芸
教育学部	教育学科 通信教育課程	幼稚園教諭1種免許状	
		小学校教諭1種免許状	
		中学校教諭1種免許状	社会
		高等学校教諭1種免許状	地理歴史・公民

別表第3-②

専攻科名	免許状の種類	教科
芸術専攻科芸術専攻	中学校教諭専修免許状	音楽
		美術
	高等学校教諭専修免許状	音楽
		美術

## 履修方法

免許状の種類	基礎資格	専攻科における修得単位数
中学校教諭専修免許状（音楽）	中学校教諭1種免許状（音楽）	24単位以上
中学校教諭専修免許状（美術）	中学校教諭1種免許状（美術）	
高等学校教諭専修免許状（音楽）	高等学校教諭1種免許状（音楽）	24単位以上
高等学校教諭専修免許状（美術）	高等学校教諭1種免許状（美術）	



## 別表第4-①

## 令和5年度新入生 学費等納付金一覧表

(単位は円)

		文学部		農学部			工学部	経営学部	教育学部	芸術学部	リベラルアーツ学部	観光学部
		国語教育学科	*英語教育学科	生産農学科	*環境農学科	先端食農学科	情報通信工学科 ソフトウェアサイエンス学科 マネジメントサイエンス学科 デザインサイエンス学科	国際経営学科	教育学科 乳幼児発達学科	音楽学科 アート・デザイン学科 演劇・舞踊学科	リベラルアーツ学科	*観光学科
授業料	1年次	1,029,000	1,029,000	1,053,000	1,053,000	1,053,000	1,109,000	1,029,000	1,029,000	1,199,000	1,029,000	1,029,000
	2年次	1,039,000	1,039,000	1,063,000	1,063,000	1,063,000	1,119,000	1,039,000	1,039,000	1,209,000	1,039,000	1,039,000
	3年次	1,049,000	1,049,000	1,073,000	1,073,000	1,073,000	1,129,000	1,049,000	1,049,000	1,219,000	1,049,000	1,049,000
	4年次	1,059,000	1,059,000	1,083,000	1,083,000	1,083,000	1,139,000	1,059,000	1,059,000	1,229,000	1,059,000	1,059,000
教育研究諸料	1年次	223,100	223,100	299,400	299,400	301,500	299,400	223,100	233,100	269,400	223,100	223,100
	2年次	223,100	223,100	299,400	299,400	301,500	299,400	223,100	233,100	269,400	223,100	223,100
	3年次	223,100	223,100	299,400	299,400	301,500	299,400	223,100	233,100	269,400	223,100	223,100
	4年次	223,100	223,100	299,400	299,400	301,500	299,400	223,100	233,100	269,400	223,100	223,100
施設設備金	1年次	200,000	200,000	250,000	250,000	256,800	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
	2年次	200,000	200,000	250,000	250,000	256,800	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
	3年次	200,000	200,000	250,000	250,000	256,800	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
	4年次	200,000	200,000	250,000	250,000	256,800	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
特別プログラム費用	1年次											
	2年次		61,150 (備考7)		142,300 (備考7)							139,500 (備考7)
	3年次		61,150 (備考7)									139,500 (備考7)
	4年次											
入学金		250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
入学検定料		35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000

## 備考

- 休学期間中の在籍料は、玉川大学休学に関する在籍料取扱要領による。
- 留学(SAE)期間中は、在籍料として当該年次の教育研究諸料、施設設備金を納入するものとする。
- 玉川学園女子短期大学卒業生及び本大学からの編入生は入学金を徴収しない。
- 卒業延期者の納付金は、授業料、教育研究諸料及び施設設備金を原則セメスター単位で徴収する。
- 大学入学共通テスト利用入学試験【3教科型】、大学入学共通テスト利用入学試験【5教科型】、  
TOEIC®スコア利用入学試験及び本学が指定する資格・検定取得者並びに併願受験の際の入学検定料については、別途に定める。
- 教職課程の受講料及び学芸員資格取得に関する費用は、別途に定める。
- \*学科の特別プログラム費用の最終決定は、留学当該年の留学先の授業料と2月の為替レートを円換算し決定される。  
(参考) \*英語教育学科 2年次の留学費用は、680,650円。内訳は、授業料・施設設備金の1/2および特別プログラム費用61,150円。  
\*英語教育学科 3年次の留学費用は、685,650円。内訳は、授業料・施設設備金の1/2および特別プログラム費用61,150円。  
\*環境農学科 2年次の国内外研修費用は、580,000円。内訳は、授業料・施設設備金の4/12および特別プログラム費用142,300円。  
\*観光学科 2年次の留学費用は、759,000円。内訳は、授業料・施設設備金の1/2および特別プログラム費用139,500円。  
\*観光学科 3年次の留学費用は、764,000円。内訳は、授業料・施設設備金の1/2および特別プログラム費用139,500円。
- 経済事情変動に伴い若干変更する場合がある。

## 別表第4-①

## 教育学部教育学科通信教育課程

(単位は円)

課程 費目	正科生	科目等履修生	備考
入学選考料	20,000	20,000	
入学金	30,000	—	
編入料	10,000	—	
登録料	—	15,000	
授業料	125,300	8,000	
学修料	8,000	8,000	

1. 科目等履修生授業料は科目等履修料と読み替えるものとする。
2. 科目等履修生の科目等履修料は1単位分である。
3. 休学期間中は、在籍料として当該年次の授業料、学修料の2分の1相当額を徴収する。
4. 所定の年限を経てなお在学する場合の授業料は別途定める。
5. 玉川大学・玉川学園女子短期大学卒業生及び玉川大学大学院修了者の正科生入学金・編入料、科目等履修生登録料は徴収しない。
6. インターネットによる出願にあたっては、入学選考料・編入料は2分の1相当額、学修料は2,000円を差し引いた金額を徴収する。

別表第4-②

(単位は円)

専攻	項目	授業料	教育研究諸料	施設設備金	入学金	入学検定料
	芸術専攻科芸術専攻	1,169,000	199,400	160,000	150,000	35,000

- 備考 1. 休学期間中は、在籍料として別途定める額を納入するものとする。
2. 玉川大学からの進学者は、入学金を徴収しない。

日付：令和4年1月17日

## ○玉川大学学位規程

平成14年10月1日制定

## 改正

平成15年4月1日  
 平成16年4月1日  
 平成17年4月1日  
 平成18年4月1日  
 平成19年4月1日  
 平成20年4月1日  
 平成21年4月1日  
 平成22年4月1日  
 平成23年4月1日  
 平成24年4月1日  
 平成25年4月1日  
 平成26年4月1日  
 平成27年4月1日  
 平成29年4月1日

## 玉川大学学位規程

## (目的)

第1条 この規程は、学位規則第13条及び玉川大学学則（以下「大学学則」という。）第21条第4項及び玉川大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第16条から第19条に基づき、玉川大学（以下「本大学」という。）において授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

## (学位の名称)

第2条 本大学において授与する学位は、学士、修士、博士及び教職修士（専門職）とし、それぞれ次の各号による。

## (1) 学士

文学部 学士（文学）：Bachelor of Arts

農学部 学士（農学）：Bachelor of Agriculture

工学部 学士（工学）：Bachelor of Engineering

経営学部 学士（経営学）：Bachelor of Business Administration

教育学部 学士（教育学）：Bachelor of Education

芸術学部 学士（芸術学）：Bachelor of Fine Arts

リベラルアーツ学部 学士（リベラルアーツ）：Bachelor of Arts

観光学部 学士（観光学）：Bachelor of Arts in Tourism

## (2) 修士

文学研究科 修士（文学）：Master of Arts

農学研究科 修士（農学）：Master of Science in Agriculture

工学研究科 修士（工学）：Master of Science in Engineering

マネジメント研究科 修士（マネジメント）：Master of Arts in Management

教育学研究科教育学専攻 修士（教育学）：Master of Arts in Education

脳科学研究科 修士（工学）／修士（学術）：Master of Science in Engineering／Master of Science in Neurosciences

## (3) 博士

農学研究科 博士（農学）：Doctor of Philosophy in Agriculture

工学研究科 博士（工学）：Doctor of Philosophy in Engineering

脳科学研究科 博士（工学）／博士（学術）：Doctor of Philosophy in Engineering／Doctor of Philosophy in Neurosciences

## (4) 教職修士（専門職）

教育学研究科教職専攻 教職修士（専門職）：Master of Education in Teaching Profession

（学士の学位の授与要件）

第3条 学士の学位は、本大学の学部学科を卒業した者に授与する。

（修士の学位の授与要件）

第4条 修士の学位は、本大学院修士課程を修了した者に授与する。

（博士の学位の授与要件）

第5条 博士の学位は、本大学院博士課程後期を修了した者に授与する（以下「課程博士」という。）。

2 前項の定めにかかわらず、本大学院の課程を経ない者であっても、研究科会の承認を得て博士論文を提出し、その審査及び所定の試験に合格し、かつ専攻学術に関し、前項と同等以上の学識があると認められた場合には、博士の学位を授与することができる（以下「論文博士」という。）。ただし、学部卒業後7年以上、または修士課程修了後4年以上の研究歴を有することを条件とする。

（教職修士（専門職）の学位の授与要件）

第6条 教職修士（専門職）の学位は、教育学研究科教職専攻（教職大学院）を修了した者に授与する。

（課程による学位の申請）

第7条 第4条の規定に基づく修士の学位の申請は、所定の期日までに当該研究科長に論文題目届を提出し、かつ、学位論文正本1部、副本1部以上に審査票を添え、研究科会の議を経て、学長に提出しなければならない。

2 第5条第1項に基づく博士の学位の申請は、本規程別表第2に定める学位論文審査願に学位論文正本1部・副本2部、4,000字以内の論文要旨5部を添え研究科会を経て、学長に提出しなければならない。

3 前項の論文に、共著又は共同研究の内容が含まれる場合は、各共著者又は各共同研究者から、別表第4に定める共著論文使用承諾書を提出するものとする。ただし、各共著者又は各共同研究者が死亡している等、共著論文使用承諾書を提出できない特別な事情がある場合は、当該研究科長はこれを認めることができる。

4 第1項、第2項による論文には、参考として他の論文等を添付することができる。添付にあたっては5部提出するものとする。

5 審査のため必要がある場合は、学位論文の副本、訳本、模型又は標本を提出させることがある。

6 提出した論文は返却しない。

（論文による博士の学位の申請）

第8条 第5条第2項に基づく博士の学位の申請は、別表第2に定める学位申請書に、学位論文正本1部・副本2部、4,000字以内の論文要旨5部、履歴書及び別に定める審査料を添え、研究科会を経て、学長に提出しなければならない。

2 前項による論文には、参考として他の論文等を添付することができる。添付にあたっては5部提出するものとする。

3 前項の論文に、共著又は共同研究の内容が含まれる場合は、各共著者又は各共同研究者から、別表第4に定める共著論文使用承諾書を提出するものとする。ただし、各共著者又は各共同研究者が死亡している等、共著論文使用承諾書を提出できない特別な事情がある場合は、当該研究科長はこれを認めることができる。

4 審査のため必要がある場合は、学位論文の副本、訳本、模型又は標本を提出させることがある。

5 提出した論文は返却しない。

(論文による博士の学位申請の特例)

第9条 本大学院博士課程後期に3年以上在学し、博士論文の作成等に対する指導を受け、かつ修了に必要な所定の単位を修得した後に退学した者が、退学後3年以内に博士の学位を申請する場合は、下記のとおりとする。

(1) 審査料については、第11条第1項第2号に定める。

(2) 審査基準については、第16条第2項第1号に定める。

(学位申請に関する事項)

第10条 本大学において授与する修士及び博士の学位について必要な事項に関しては、第7条、第8条、第9条に定める規定のほか各研究科の定めるところによる。

(審査料)

第11条 学位授与を申請する場合の審査料は次のとおりとする。

(1) 大学院学則第18条の規定による場合 200,000円

(2) 第9条に規定する退学後3年以内の場合 免除

(3) 第9条に規定する退学後3年を超えた場合 70,000円

(4) 学校法人玉川学園教職員の場合 70,000円

2 納付した審査料は、返還しない。

(審査委員会等)

第12条 学長に提出のあった学位論文は、研究科会の審査に付さなければならない。

2 研究科会は、前項により審査に付されたときは、当該研究科研究指導担当教員のうちから2名以上(少なくとも教授を1名含まなければならない)の審査委員を選出して審査委員会(主査及び副査)を組織する。ただし、必要がある場合には、当該研究科・当該専攻以外の他研究科・他専攻研究指導担当教員を審査委員会に加えることができる。

3 必要がある場合には、他の大学院、研究所等の教員等及び本大学院の非常勤教員(以下「学外審査委員」という。)を審査委員会に加えることができる。

4 前項に定める学外審査委員を委嘱する条件は、次のとおりとし、主査は、別表第3に定める「学外審査委員の委嘱について(お願い)」及び「略歴および研究業績書」を提出し、研究科会の審議を経て大学院研究科長会で承認を得ることとする。

(1) 他の大学院に所属する教員の場合は、本務校で「研究指導担当教員」と同等の資格を有する者

(2) 企業・研究所等に所属する場合は、博士号を有するか、それと同等の学識を有する者

5 審査委員会は、論文の審査及びこれに関連する試験等を行う。

(審査委員の手当等)

第13条 審査委員への審査手当及び面接試問手当は、学校法人玉川学園給与規程別表第3—8に基づき支給する。

2 学外審査委員への審査手当は、論文1通につき次のとおりとする。

(1) 博士論文 20,000円

(2) 修士論文 10,000円

3 学外審査委員への交通費は、実費支給する。

4 審査に関連して、予備的検討会等に学外審査委員を依頼した場合は、学校法人玉川学園給与規程別表第6—6に基づき、6コマを上限として手当及び交通費を支給することができる。

(厳正な学位審査体制等)

第14条 審査委員は、公正な判断をもって論文審査にあたる責務を担う。また、いかなる場合も本学諸規程に定められた手当以外の金品の授受を行ってはならない。

(審査の期間)

第15条 修士論文の審査は、提出者の在学期間中に終了するものとする。

2 博士論文の審査及び博士の学位授与に関する最終試験は、論文を受理後1年以内に終了するものとする。ただし、特別の事情があるときは、研究科会の議を経て審査期間を延長することができる。

(学位論文評価基準)

第16条 学位論文の評価は、研究課題の意義、目的、手法等を正しく、十分理解し、目的達成にむけ

での十分な努力と成果、将来に向けての発展性等を考慮し、2項に定める基準とする。

- 2 博士の学位の審査は、主論文の研究分野の発展に大きく寄与する研究成果を得ており、自立した研究活動を行うに十分な能力を有しているか、すでに自立して研究活動を行っていることを基準とする。

審査を実施する条件は、次のとおりとする。

- (1) 第5条第1項に基づく博士の学位の申請の場合は、学会誌又は学術雑誌に1編以上発表済みであること。
- (2) 第5条第2項に基づく博士の学位の申請の場合は、学会誌又は学術雑誌に3編以上発表済みであること。
- (3) 予備検討会にて論文受理について適格であると判断されていること。  
(最終試験)

第17条 大学院学則第16条及び第17条に定める最終試験は、学位論文の審査終了後に、学位論文を中心として、これに関連ある科目について、口述試問又は筆答試問により行う。

(学識の確認)

第18条 第5条第2項及び大学院学則第18条に定める学識の確認のために行う所定の試験は、口述試問とする。ただし、研究科会が必要と認めるときは、筆答試問を併せ行うことができる。

- 2 前項に定める試問は、次のとおりとする。

- (1) 学位論文を中心として、広く専攻学術に関する科目についての試問
- (2) 外国語(英語)に関する試問

(審査結果の報告)

第19条 審査委員会は、学位論文の審査及び第17条の最終試験又は第18条の所定の試験が終了したときは、直ちにその結果を研究科会に報告しなければならない。

(研究科会の審議・判定)

第20条 研究科会は、前条の報告に基づいて審議し、学位の授与について判定する。

- 2 前項の判定には、委員の3分の2以上の出席を必要とし、学位の授与の議決には出席委員の3分の2以上の賛成がなければならない。
- 3 第1項の判定に委員が欠席する場合は、論文審査の合否を明らかにした内容を含む委任状をもって、出席委員の数に含めることができる。
- 4 研究科会が必要と認めるときは、第1項の研究科会に第12条第3項に基づき委嘱した審査委員を加え、意見を聞くことができる。ただし、出席委員の数には含めない。

(審議結果の報告)

第21条 研究科長は、第20条の議決について、学位論文審査の要旨及び最終試験又は第18条の所定の試験結果の要旨等を遅滞なく学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第22条 学長は、前条の報告に基づき、大学院研究科長会の議を経て学位を授与し、学位記を交付する。

- 2 学位を授与できない者には、その旨を通知する。

(学位論文要旨の公表)

第23条 本大学は、博士の学位を授与したとき、当該博士の学位を授与した日から3か月以内に、その論文の内容及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

第24条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位の授与を受けた日から1年以内にその論文の全文を公表するものとする。ただし、当該学位を授与される前に既に公表したときは、この限りではない。

- 2 前項の規定により公表する場合には、その学位論文に「玉川大学審査学位論文」と明記しなければならない。
- 3 第1項の規定にかかわらず、やむを得ない事由がある場合には、本大学の承認を受けて当該論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本大学は当該論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
- 4 博士の学位を授与された者が行う第23条及び第24条の規定による公表は、本大学の機関リポジト

りにより行うものとする。

5 博士の学位を授与された者は、別表第5に定める学位論文（博士）の公表に関する同意書を本大学に提出するものとする。

6 第3項の場合は、別表第6に定める博士の学位を授与された者は、学位論文（博士）の要約の公表に関する同意書を本大学に提出するものとする。

（学位の表示）

第25条 学位の授与を受けた者が学位の名称を用いるときは、学位の後にこれを授与した本大学名「（玉川大学）」を付記するものとする。

（学位授与の報告）

第26条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から3か月以内に、学位授与報告書を文部科学大臣に提出するものとする。

（学位の取消し）

第27条 学位を授与された者が、次の各号の一に該当するときは、学長は大学院研究科長会の議を経て、既に授与した学位を取り消し、学位記を還付させ、かつ、その旨を公表するものとする。

（1）不正の方法により、学位の授与を受けた事実が判明したとき

（2）学位を授与された者がその名誉を汚辱する行為があったとき

2 大学院研究科長会において前項の議決をするには、委員の3分の2以上の出席を必要とし、かつ、出席委員の3分の2以上の賛成がなければならない。

（学位記の再交付）

第28条 学位記の再交付を受けようとするときは、その事由を付し、所定の手数料を添えて学長に願い出なければならない。

（学位記及び申請書類等の様式）

第29条 学位記及び学位申請関係の書類の様式は、別表第1、第2による。

（規程の改廃）

第30条 この規程の改廃は、大学院研究科長会及び大学部長会の議を経て学長が行う。

（その他）

第31条 この規程に関する事務主管は、教学部とする。

附 則

この規程は、平成14年10月1日から施行する。

附 則（平成15年4月1日）

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年4月1日）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成17年4月1日）

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年4月1日）

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成21年4月1日）

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月1日）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月1日）

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日）

この規程は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学生から適用する。

附 則（平成25年4月1日）



この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年4月1日）

この規程は、平成26年4月1日から施行し、平成26年度入学生から適用する。

附 則（平成27年4月1日）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成29年4月1日）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

別表第1 学位記の様式

(1) 学士（大学学則第21条・学位規程第3条）

第	号	Degree Number: 000
	学 位 記	Tamagawa University hereby certifies that
	氏名	氏名（英文）
大学印	年 月 日生	has fulfilled all the requirements for the Bachelor's program
本大学〇〇学部〇〇学科所定の課程を修めたので卒業と認め学士（〇〇）の学位を授与する		in the（学科）,（学部）, and thus has been conferred the Degree of Bachelor of（学位）.
	年 月 日	On 年月日（英文）
玉川大学長 氏名	Ⓜ	学長氏名（英文） President Tamagawa University

(2) 修士（大学院学則第16条・学位規程第4条）

第	号	Degree Number: 000
	学 位 記	Tamagawa University hereby certifies that
	氏名	氏名（英文）
大学印	年 月 日生	has fulfilled all the requirements for the Master's program
本大学大学院〇〇研究科〇〇専攻の修士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査および最終試験に合格したので修士（〇〇）の学位を授与する		in the（専攻名）,（研究科名）, and thus has been conferred the Degree of Master（学位）.
	年 月 日	On 年月日（英文）
玉川大学長 氏名	Ⓜ	学長氏名（英文） President Tamagawa University

## (3) 課程博士 (大学院学則第17条・学位規程第5条第1項)

第 号	Degree Number: 000
学 位 記	Tamagawa University hereby certifies that 氏名 (英文)
氏名 大学印 年 月 日生	has fulfilled all the requirements for the Doctor's program in the (専攻名), (研究科名), and has successfully completed (the final examination and) defended his/her thesis.
本大学大学院○○研究科○○専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査および最終試験に合格したので博士 (○○) の学位を授与する	It is therefore that s/he has been conferred the Degree of Doctor of Philosophy in (学位) .
年 月 日	On 年月日 (英文)
玉川大学長 氏名	学長氏名 (英文) President Tamagawa University

## (4) 論文博士 (大学院学則第18条・学位規程第5条第2項)

第 号	Degree Number: 000
学 位 記	Tamagawa University hereby certifies that 氏名 (英文)
氏名 大学印 年 月 日生	has fulfilled all the requirements for the Doctor's program in the (専攻名), (研究科名), and has successfully completed (the final examination and) defended his/her thesis.
本大学に学位論文を提出し所定の審査および試験に合格したので博士 (○○) の学位を授与する	It is therefore that s/he has been conferred the Degree of Doctor of Philosophy in (学位) .
年 月 日	On 年月日 (英文)
玉川大学長 氏名	学長氏名 (英文) President Tamagawa University

## (5) 教職修士 (大学院学則第19条・学位規程第6条)

第	号	Degree Number: 000
	学位記	Tamagawa University hereby certifies that
	氏名	氏名 (英文)
大学印	年 月 日生	has fulfilled all the requirements for the Master's program
本大学大学院○○研究科○○専攻の専門職 学位課程を修了したので○○修士 (専門職) の学位を授与する		in the (専攻名), (研究科名), and thus has been conferred the Degree of Master's (学位).
	年 月 日	On 年月日 (英文)
玉川大学長 氏名	Ⓢ	学長氏名 (英文) President Tamagawa University

別表第2 学位申請関係の書類の様式

(1) 第7条による学位論文審査願の様式(用紙 A4)

年 月 日

玉川大学長 ○○○○殿

学籍番号

氏名

㊦

学 位 論 文 審 査 願

学位規程第7条の規定に基づき、下記書類を提出いたしますので審査くださるようお願いいたします。

記

学位論文	3部(正本1、副本2)
論文要旨	5部

## (2) 第9条による学位申請書の様式(用紙 A 4)

	年 月 日
玉川大学長 ○○○○殿	
現住所	
氏名	㊟
学 位 申 請 書	
貴学学位規程第9条の規定に基づき、下記の書類に審査料 円を添え、博士(○○)の学位の授与を申請します。	
記	
学位論文	3部(正本1、副本2)
論文要旨	5部
履 歴 書	1部

別表第3

年 月 日

研究科長 殿

主査教員名：

学外審査委員の委嘱について（お願い）

本学学位規程に基づき、学位論文審査に際して、下記のとおり学外審査委員の委嘱をお願いいたしたく申請いたします。

記

学外審査委員 ○○

所 属 ○○

※詳細は、「略歴および研究業績書」参照

審査委員委嘱条件 （該当する方の番号に○を付けること）

1. 本務校で「研究指導担当教員」と同等の資格を有する者
2. 企業・研究所等に所属し、博士号を有するか、それと同等の学識を有する者

学位申請者： ○○

学位論文題目：○○

主 査：○○

副 査：○○

別表第4

## 共 著 論 文 使 用 承 諾 書

\_\_\_\_\_氏の学位論文（博士）作成にあたり、私と共著の下記論文に含まれる内容について、同氏の学位申請として使用することを承諾いたします。

## 記

1. Author list, "Title," *Journal* Vol: start\_page-end\_page, Year.
2. 著者リスト, "タイトル," 掲載誌名 巻: 最初の頁-最後の頁, 掲載年.

\_\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

共著者

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

( 自 署 )

## Letter of Consent

I permit Dr. Mr./Ms.○○○○ to include the contents of the following publication(s) to satisfy in part requirements for attaining his/her doctoral dissertation.

1. Author list, "Title," *Journal* Vol: start\_page-end\_page, Year.
2. Author list, "Title," *Journal* Vol: start\_page-end\_page, Year.
3. Author list, "Title," *Journal* Vol: start\_page-end\_page, Year.

Date: \_\_\_\_\_

Coauthor Signature

Print Name

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## ◎ 共著者同意承諾書

- (1) 年月日は、承諾年月日としてください。
  - (2) 署名は必ず自署し、捺印もれのないようにしてください。
  - (3) 共著者が外国人の場合には、サインを捺印の代わりとしますが、その際氏名の部分はタイプ打ちしてください。
  - (4) 用紙の大きさは、A-4判とします。
  - (5) 同意承諾書は、博士論文の基礎となる論文の共著者1名につき1枚ずつ作成し、原本もしくはpdf形式で提出してください。
  - (6) 参考論文の共著者（共同研究者）については、同意承諾書を必要としません。
- 別表第5



## 学位論文（博士）の公表に関する同意書

玉川大学長 殿

私 \_\_\_\_\_ は、 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日学位授与学位論文（博士）『 \_\_\_\_\_ 』に関し、  
玉川大学学位規程第23条・第24条および玉川大学学術リポジトリ運用指針にしたがい、  
本文全体を公表することに同意します。

年 月 日

住所

氏名 \_\_\_\_\_ 印

別表第6

## 学位論文（博士）の要約の公表に関する同意書

玉川大学長 殿

私 \_\_\_\_\_ は、 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 学位授与学位論文  
 （博士）『 \_\_\_\_\_ 』に関し、  
 玉川大学学位規程第23条・第24条および玉川大学学術リポジトリ運用指針にしたがい、  
 下記の理由により、本文全体を公表せず、論文の内容の要約を公表することに同意しま  
 す。

また、下記の公開可能日を経過した場合は、他の理由がない限り、自動的に学位論文  
 （博士）の全文が公表されることに同意します。

## 記

理由

公開可能日 \_\_\_\_\_（学位授与日から最長3年）

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

以 上

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

住所

氏名 \_\_\_\_\_ 印